ユーザーズガイド

9050 / 7250 / 7250A / 7200 / 7200L

本機の操作や設定、日常の管理方法、
取り扱い上の注意について説明しています。

050-36003-504

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って、正しい取り扱いをしてください。

本装置は、高調波電流規格「JIS C 61000-3-2」に適合しています。

お読みになったあとは、いつでも取り出せるように所定の場所に保管してください。

安全のため、ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。

本書について

はじめに

このたびは、ORPHIS X シリーズをご採用いただき、まことにありがとうございます。
ORPHIS X シリーズは、ネットワーク対応で高速カラー印刷をおこなうインクジェットプリンタです。
パソコンから、データの出力やプリンタのモニタリングなどさまざまな機能を利用することができます。
また、スキャナー（オプション）と組み合わせてご使用いただくことにより、原稿のコピー、スキャンデータの保存と活用など、さまざまな機能を利用していただくことができます。

本機の取扱説明書は、次の 4 冊から構成されています。

● **らくらく使いかたガイド**
プリンタ、コピー、スキャナーの基本的な使いかたや、消耗品の交換について説明しています。
まずはこのガイドからお読みください。

● **ユーザーズガイド（本書）**
取り扱い上の注意、仕様、各種機能の操作や設定について説明しています。
本機について詳しく知りたいときに、このガイドをお読みください。

● **管理者ガイド**
管理者を対象とした本機の設定について説明しています。

● **こんなときには**
故障かな？と思ったときや紙づまりなどのトラブルの対処方法について説明しています。

取扱説明書の記述内容について

（1） 本書の内容の一部または全部を、無断で転載することは固くお断りいたします。
（2） 本書の内容につきましては、商品の改良等のため、将来予告なしに変更する場合がございます。
（3） 本書および本機を運用した結果の影響につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。

商標について

Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
ColorSet は米国の特許商標局で登録される Monotype Imaging 社の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
Intel、Celeron は、アメリカ合衆国およびその他の国における Intel Corporation の商標です。
FeliCa は、ソニー株式会社の登録商標です。
ORPHIS、FORCEJET は、理想科学工業株式会社の商標です。
RISO は理想科学工業株式会社の登録商標です。
本書に記載されているその他の製品名、会社名は、各社の商標または登録商標です。

カラーユニバーサルデザイン認証を取得
ORPHIS X シリーズ（本体および取扱説明書）は、NPO法人カラーユニバーサルデザイン機構（CUDO）により、カラーユニバーサルデザインが実現できていると認定されました。

表記について

■ 本文中で使用されるマークについて

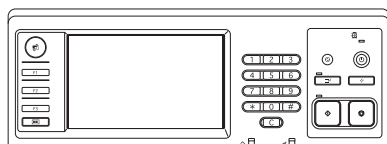
　安全にご利用いただくための注意事項が書かれています。

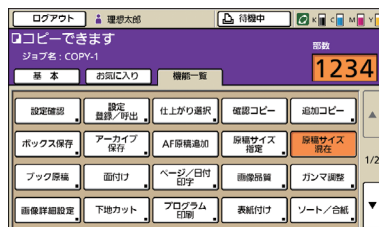
　操作上守っていただきたいことなどの重要事項が書かれています。

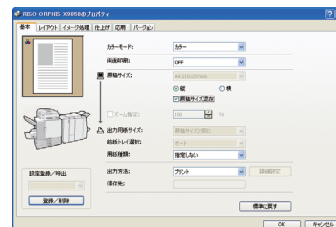
　覚えておくと便利なことや補足説明が書かれています。

■ 記載方法について

このガイドの中で操作パネルなどのハードキーは［　］キー、タッチパネル画面のボタンや、パソコン操作画面のボタン／項目名については、ボタン名称を［　］で括って表しています。

● 操作パネル

例：[ストップ] キーを押します。

● タッチパネル画面

例：［原稿サイズ混在］を押します。

● パソコン操作画面

例：［原稿サイズ混在］にチェックを入れます。

■ オプション名の表記

本書では、オプションを以下のように表記しています。それぞれに固有の事項を説明する場合には、個別の名称を表記しています。

表記	オプション名称
RISO フィニッシャー	RISO フィニッシャー M（中とじ機能つき） RISO フィニッシャー S
排紙台	排紙台 W RISO オートフェンス排紙台

■ 本文中の画面について

本書に掲載している画面やイラストは、本体の機種、オプション機器の装着状況など、ご使用の環境によって異なる場合があります。

ORPHIS X7200L では、使用するインクがブラックとマゼンタ（赤）になるため、以下の画面表示が異なる場合があります。

- プリンタドライバ画面およびコピーモード画面のカラーモード
- 各モード画面のインク残量表示
- 一般情報画面

RISO コンソール画面も同様に異なります。

目次

安全上のご注意

ここでは本機を設置する場所や電源に関する注意など、ご使用前に必ず知っておいていただきたいことを記述しています。ご使用前に必ずお読みください。

警告表示／絵表示

本機を正しくお使いいただき、人体への危害や財産への損害を未然に防止するため、以下のような警告表示を使用しています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を説明しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を説明しています。

絵表示の例

	⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。 図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

設置場所

⚠注意

■ **傾いたところや不安定な場所には置かないでください。**
傾いたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。

■ **スキャナーを専用架台を使用せずに設置する場合は、他の機械の振動が伝わるところなど、振動しがちな場所では使用しないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。**

■ **機械には通気口があります。機械は壁から 100mm 以上離して設置してください。**
通気口をふさぐと内部に熱がこもり火災の原因となるおそれがあります。

■ **湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災、感電の原因となることがあります。**

電源の接続

⚠警告

■ 電源 90V ～ 100V の範囲内で、電流 12A 以上の電源をご使用ください。火災、感電のおそれがあります。

■ 分岐コンセントのご使用、タコ足配線はおやめください。延長コードが必要なときは、125V/12A 以上の規格のケーブルを使用し、5m 以上延長しないようにしてください。
火災、感電のおそれがあります。

■ 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また重いものをのせたり、引っぱったり、無理に曲げたりすると電源コードをいため、火災、感電のおそれがあります。

■ 同梱されている電源コードは本機専用です。他の電気製品には使用しないでください。
火災、感電のおそれがあります。

■ プリンター本体のスキャナー用ソケットには、スキャナー以外の電源コードを接続しないでください。

■ ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電のおそれがあります。

⚠注意

■ 電源プラグ部の接触不良がないように、プラグはコンセントに確実に接続してください。

■ 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っぱらないでください。コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。

■ 連休などで長期間、本機をご使用にならない場合は、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

■ 電源プラグは年 1 回以上コンセントから抜いて、プラグの刃の周辺部分を清掃してください。
ほこりがたまると、火災の原因となることがあります。

アースの接続

⚠警告

■ アース線を必ず接続してください。アースの接続は、電源プラグを電源に接続する前に行ってください。
また、アース接続を外す場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。
万一、アースを接続しないで漏電した場合、火災や感電のおそれがあります。
なお、アース接続できない場合は、販売会社（あるいは保守・サービス会社）にご相談ください。

■ 以下のようなところには、絶対にアース線を取り付けないでください。火災、感電のおそれがあります。
- ガス管
- 電話専用アース線
- 避雷針
- 途中がプラスチックになっている水道管や蛇口

■ アース線は以下の場所に取り付けてください。
- 電源コンセントのアース端子
- 銅片などを 65cm 以上地中に埋めたもの
- 接地工事（第 1 種〜第 3 種）が行われている接地端子
- 水道局がアースの対象物として承認した水道管

本機の取り扱い

⚠警告

■ 本機の上に水などの入った容器または金属物を置かないでください。こぼれたり、本機の内部に入ったりした場合、火災、感電のおそれがあります。

■ 本機のすきまなどから内部に金属類や燃えやすいものなど異物を差し込んだり、落としたりしないでください。火災、感電のおそれがあります。

■ 本機のカバーは、外さないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電のおそれがあります。

■ 本機を分解したり改造したり、しないでください。火災、感電のおそれがあります。

■ 万一、発熱している、煙が出ている、変なにおいがするなどの異常状態のまま使用すると、火災、感電のおそれがあります。すぐに［主電源］スイッチを切り、その後、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、販売会社（あるいは保守・サービス会社）にご連絡ください。

■ 万一、異物が本機の内部に入った場合はまず本機の［主電源］スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売会社（あるいは保守・サービス会社）にご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電のおそれがあります。

■ IC カードリーダー接続時
IC カードリーダーは常に弱い電波を発しています。心臓ペースメーカーをご使用の方は、異常を感じたらすぐに本製品から離れてください。その後ただちに医師にご相談ください。

⚠注意

■ 給紙台や排紙台まわりのすきまには、絶対に指などを差し込まないでください。けがの原因となることがあります。

■ 本機の内部にはインクがついていることがあります。手や衣服などが触れないように注意してください。インクがついた場合は、早めに洗剤で洗い落としてください。

■ 本機を移動する場合は、販売会社（あるいは保守・サービス会社）にご連絡ください。無理に移動させると、本機が横転してけがの原因となることがあります。

インクについて

⚠注意

■ 目や皮膚にインクが接触しないようにしてください。目に入った場合はすみやかに多量の水でよく洗い流してください。また、皮膚についた場合は、せっけんなどでよく洗ってください。

■ プリント中は充分な換気を行ってください。気分が悪くなった場合は、直ちに空気の新鮮な場所に移動してください。

■ 万一、異常を感じた場合は、直ちに医師の診断を受けてください。

■ プリント以外の用途には使用しないでください。

■ 使用済みのインクカートリッジを火の中にいれないでください。インクは可燃性のため炎が大きくなり、火傷のおそれがあります。

■ インクカートリッジは、小さなお子さまの手の届かないところに保管してください。

■ インクは可燃性の液体です。火災時は、霧状の強化液、泡、粉末、または炭酸ガス消火剤を使用してください。

ご使用の前に

本機を使用するときに、注意していただきたいことを記述しています。

機種別構成表

本体の機種により、装備や機能が異なります。お使いの機種名で機能をご確認ください。

項目　　機種名	ORPHIS X9050 / X7250 / X7250A	ORPHIS X7200	ORPHIS X7200L
最大プリント可能範囲	314mm × 548mm	310mm × 544mm	310mm × 544mm
プリント領域（周囲余白）	3mm（標準） 1mm（最大）	5mm（標準） 3mm（最大）	5mm（標準） 3mm（最大）
USB ポート （USB メモリへのデータ保存機能）	あり	なし	なし
用紙トレイ 1/2/3 （原稿サイズ混在／合紙／表紙付け）	あり	なし*	なし*
RISO フィニッシャー（オプション）の接続（小冊子製本、ステープル／パンチ、紙折り機能など）	可	不可	不可
外部コントローラIS900C（オプション）の接続	可	可	不可
RISO セキュリティパッケージ（オプション）	可	可	不可

＊　スキャナーモードの「原稿サイズ混在」機能は使用できます。

プリント面積、プリント領域の詳細については、「最大プリント可能範囲について」（p. 18）を参照してください。

設置場所と使用環境

以下のことに注意してください。

■ **設置場所につきましては、納入時にお客様とご相談の上、決定させていただきます。**

■ **本機を移動される場合は、販売会社（あるいは保守・サービス会社）にご連絡ください。**

■ **以下の条件下では使用しないでください。誤動作、故障、事故の原因となる場合があります。**
- ・直射日光のあたる場所や、窓際などの明るい場所
（やむを得ない場合は、窓にカーテンなどを付けてください。）
- ・温度が急激に変化する場所
- ・高温多湿、低温少湿な場所
- ・火気、熱気のある場所
- ・クーラーなどの冷風、ストーブなどの温風、輻射熱などが直接あたる場所
- ・通気性、換気性の悪い場所
- ・ほこりの多い場所
- ・振動の多い場所

■ **本機の水平度が以下の範囲内になる場所が設置の条件です。**
設置水平度：2 度以下

■ **適正環境は以下の通りです。**
温度範囲：15 ℃ ～ 30 ℃
湿度範囲：40% ～ 70%（結露しないこと）

電源の接続

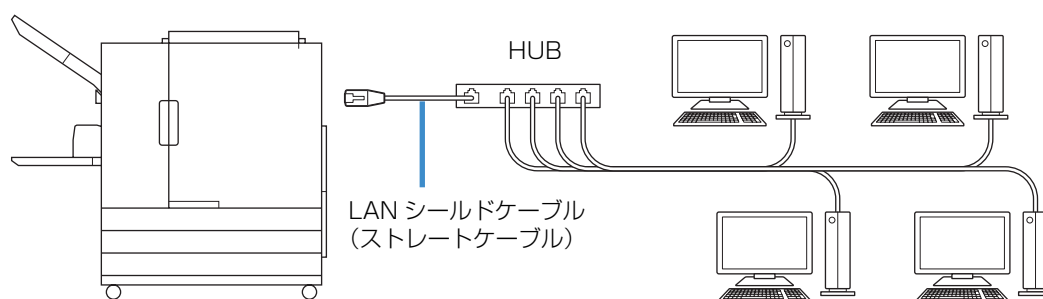
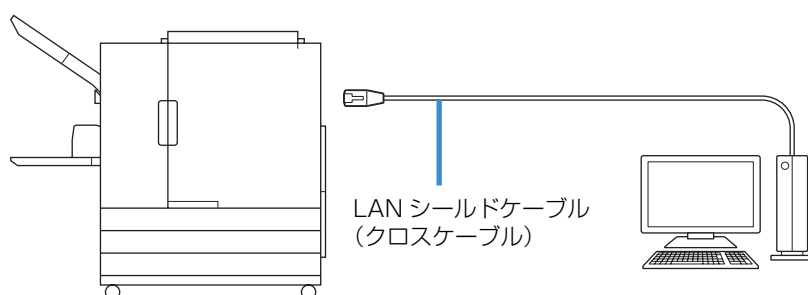
以下のことに注意してください。

■ 電源プラグ部の接触不良がないように、プラグはコンセントに確実に接続してください。

■ 本機はコンセントの近くに設置してください。

■ 本機のスキャナー接続用ソケットにスキャナーを接続すると、スキャナーの電源は、
本機の電源と連動して ON/OFF します。

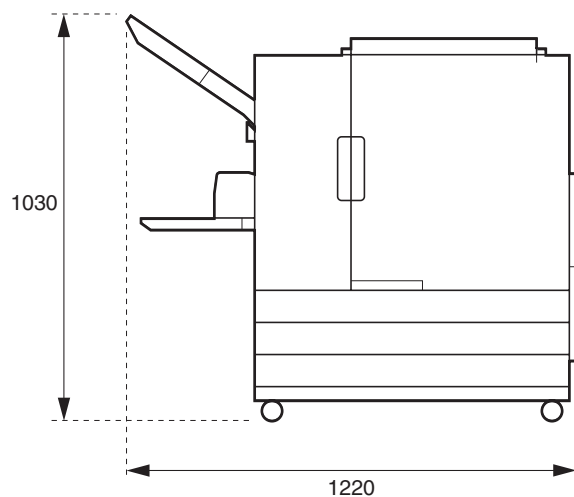
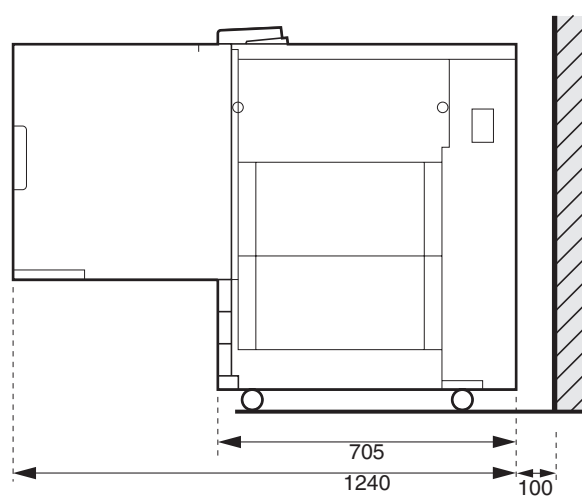
パソコンとの接続

■ 複数台のパソコンと接続する場合

■ 1 台のパソコンと接続する場合

● LAN ケーブルは、市販のシールドケーブルを使用してください。
お使いのネットワーク環境に応じて、以下の各カテゴリーのシールドケーブルを推奨しています。
・ 100BASE の環境で使用する場合は、CAT5 （CAT5E）
・ 1000BASE の環境 で使用する場合は、CAT6

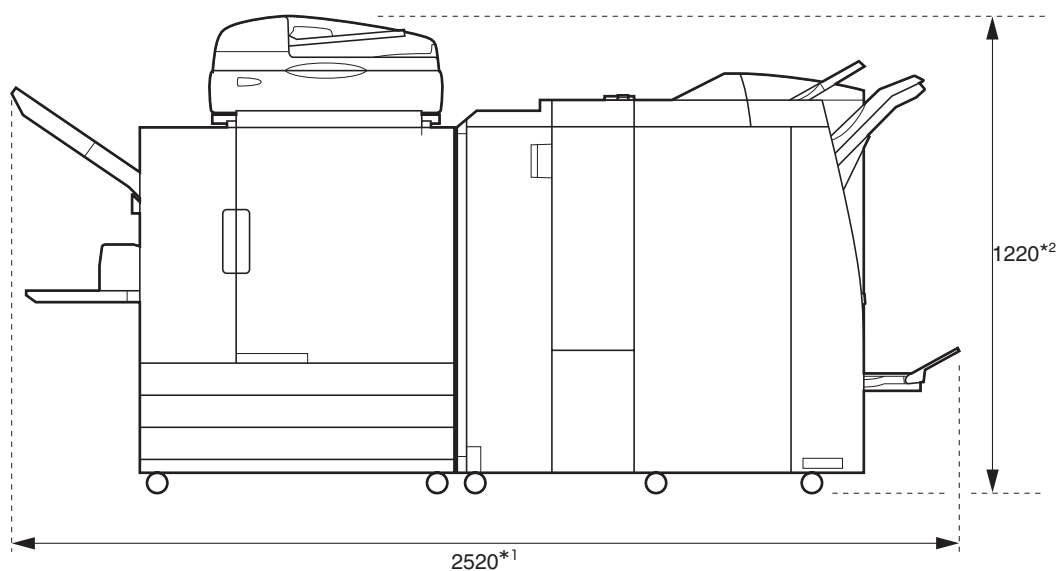
● パソコンからプリントする場合は、プリンタドライバのインストールが必要です。インストールの方法は
「らくらく使いかたガイド」の「プリンタドライバのインストール」を参照してください。

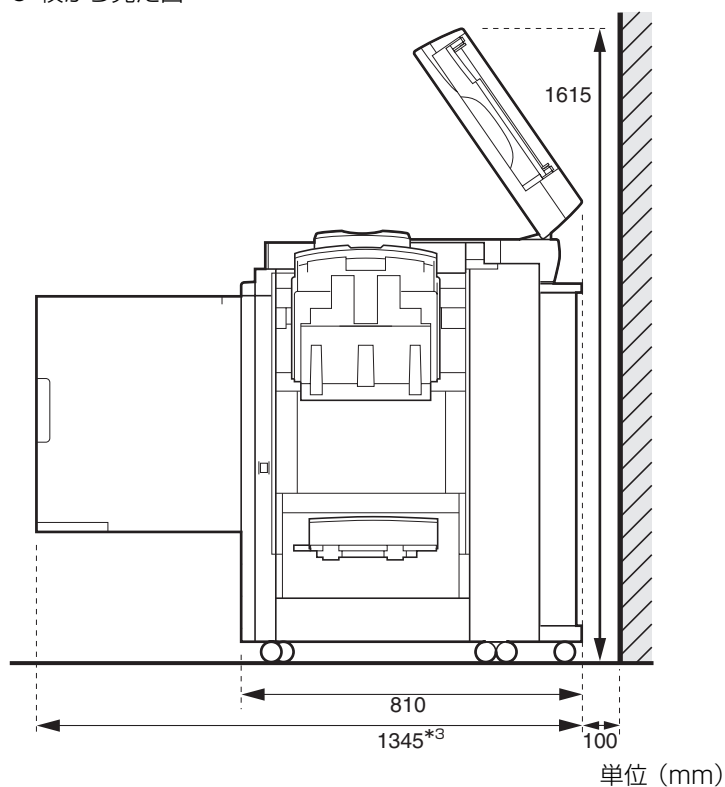
専有面積

■ 本体

給紙台や前カバーを開くためのスペースが必要になります。

単位（mm）

■ 本体＋オプション

給紙台や前カバー、原稿カバーを開くためのスペースが必要になります。

単位（mm）

● 横から見た図

オプションの設置状態により、サイズが異なります。

＊1 幅	オプションなし	1,220mm
	＋スキャナー（専用スキャナースタンド使用時）	1,225mm
	＋ RISO オフセット排紙トレイ	1,205mm
	＋排紙台 W	1,845mm
	＋ RISO オートフェンス排紙台	1,705mm
	＋ RISO オフセット排紙トレイ＋排紙台 W	1,840mm
	＋ RISO オフセット排紙トレイ＋ RISO オートフェンス排紙台	1,695mm
	＋ RISO フィニッシャー M ＋紙折りユニット	2,520mm
	＋ RISO フィニッシャー M	2,315mm
	＋ RISO フィニッシャー S ＋紙折りユニット	2,515mm
	＋ RISO フィニッシャー S	2,310mm

＊2 高さ	オプションなし	1,030mm
	＋スキャナー（専用スキャナースタンド使用時）	1,220mm
	＋ RISO フィニッシャー	1,130mm
	＋ RISO オフセット排紙トレイ	1,110mm

＊3 奥行	オプションなし	1,240mm
	＋スキャナー（専用スキャナースタンド使用時）	1,345mm
	+RISO フィニッシャー	1,280mm
	+RISO フィニッシャー＋紙折りユニット	1,340mm

本機の取り扱い

■ 動作中に［主電源］スイッチを OFF にしたり、電源プラグをコンセントから抜いたりしないでください。

■ 動作中に、各部のカバーを開けないでください。

■ 本機を移動させないでください。

■ 内部には精密部品や駆動機構部がありますので、取扱説明書に書かれていること以外は行わないでください。

■ 本機の上に重い物を載せたり、本機に強い衝撃を与えたりしないでください。

■ 各部のカバーは、静かに開け閉めしてください。

■ 本機の［主電源］スイッチを OFF にしてから再び［主電源］スイッチを ON にするときは、
［主電源］ランプが消灯してから行ってください。

■ 長期間使用しない場合または使用しなかった場合は、必ずヘッドクリーニングを行ってください。
本体内部のインク送液経路でインクの劣化や乾燥が起こり、ヘッドが目づまりしてしまいます。
これらの障害を防ぐためにも、定期的なご使用をおすすめします。

■ 故障や画像劣化の原因となるので、プリントヘッド部には、絶対に触らないでください。

■ 本機は、常にすべてのインクカートリッジをセットした状態で設置してください。ご使用にならない場合でも、
インクカートリッジをはずした状態で放置しないでください。

紙原稿について

オプションのスキャナーが接続されている場合に、原稿を原稿台ガラスやオートフィーダーから読み取って、コピーやスキャンができます。
本機に適さない原稿を使うと、紙づまりや汚れ、故障などの原因となることがあります。

原稿の基本仕様

	原稿台ガラス	オートフィーダー
サイズ	最大 303mm × 432mm	100mm × 148mm ～ 297mm × 432mm
重さ	ー＊1	$52g/m^2$ ～ $128g/m^2$
種類	ー	普通紙
最大積載枚数	ー	100 枚＊2

＊1　原稿台ガラスの耐荷量：200N（A3 サイズ）
＊2　A4 サイズ　$80g/m^2$ 以下の場合、B4 サイズ以上の場合は 60 枚（$80g/m^2$ 以下）

原稿に関する注意

インクや修正液を使用した原稿は、よく乾かしてからセットしてください。

上記仕様範囲内であっても、以下の原稿は、オートフィーダーを使った読み取りはできません。
原稿台ガラスにセットしてください。

・切り貼りしている原稿
・しわ、カールが激しい原稿
・折れ曲がっている原稿
・のり付けされている原稿
・穴があいている原稿
・破れていたり、先端がぎざぎざになっている原稿
・OHP フィルム、トレーシングペーパーなど透明度が高い原稿
・アート紙、コート紙など、表または裏がコーティングされている原稿
・ファクシミリやワープロ用の感熱紙
・表面の凹凸が大きい原稿

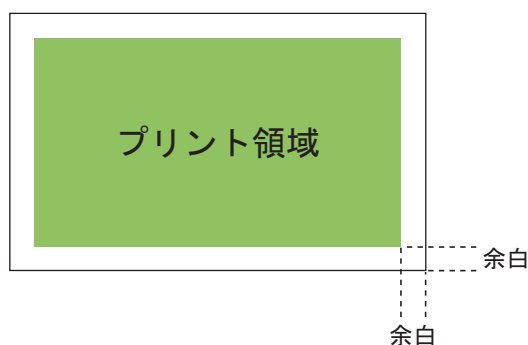
最大プリント可能範囲について

プリンタドライバからプリントする場合と、スキャナー（オプション）で読み込んでコピーする場合で、最大プリント可能範囲（サイズ）が異なります。

■ 最大プリントとプリント領域

機種名	最大プリント可能範囲		プリント領域（周囲余白）	
	プリント	コピー（オートフィーダー使用時）	標準	最大
ORPHIS X9050 / X7250 / X7250A	314mm × 548mm	295mm × 430mm *	3mm	1mm
ORPHIS X7200 / X7200L	310mm × 544mm	295mm × 430mm *	5mm	3mm

＊ 原稿台ガラス使用時：303mm × 432mm

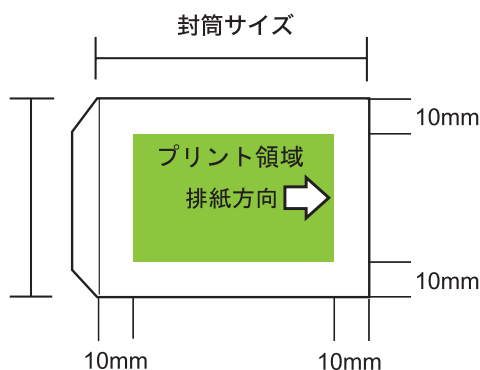
縁なし印刷はできません。必ず用紙の周囲に余白が付きます。

原稿のデータサイズにかかわらず、印刷する用紙の周囲にはプリントできない部分があります。
用紙の周囲内側が、保証プリント領域です。周囲の余白は、機種により異なります。

- ［管理者設定］の［プリント領域切替］を［最大］に設定すると、プリント領域が用紙の周囲から 1mm に変更できます。原稿の内容によっては、文字や画像の欠け、にじみなどが発生する場合があります。
- 用紙サイズが最大プリント面積内の場合でも、必ず 3mm（または 1mm）の余白が付きます。
- コピーする場合、原稿用紙の周囲 1mm は読み取ることができません。

■ 封筒のプリント領域

プリントできる封筒のサイズは次のとおりです。（フタ部分を除く）
定型サイズ以外の封筒を使用する場合は、事前に「用紙サイズ」の登録を行ってください。（p. 1-30「用紙サイズ登録」）

- 角 0：287mm × 382mm
- 角 1：270mm × 382mm
- 角 2：240mm × 332mm
- 角 3：216mm × 277mm
- 長 3：120mm × 235mm
- 長 4：90mm × 205mm（オプションの RISO フィニッシャーが接続されている場合は使用できません。）

封筒にプリントできる領域は、封筒サイズの周囲から 10mm 内側の範囲です。
画像がプリント領域に収まらない場合、はみ出した部分はプリントされません。

- 封筒は、オプションの排紙台を接続してプリントすることをお勧めします。
- フタ部分にもプリントするときは、フタ部分を含めたサイズで用紙登録を行う必要があります。詳しくは、お買い上げの販売会社（あるいは、保守・サービス会社）にご連絡ください。
- 封筒には、両面印刷はできません。

印刷用紙

■ **本機に適さない用紙を使うと、紙づまりや汚れ、故障などの原因となることがあります。機械の性能やインクの特性を十分にいかすため、理想用紙の使用をお勧めします。**

■ **用紙トレイと給紙台では、セットできる用紙の仕様が異なります。**

用紙の基本仕様

	用紙トレイ	給紙台
サイズ	182mm × 182mm ～ 297mm × 420mm	90mm × 148mm ～ 340mm × 550mm
重さ	52g/m^2 ～ 104g/m^2 （45kg ～ 90kg　連量：四六判）	46g/m^2 ～ 210g/m^2 （40kg ～ 180kg　連量：四六判）
種類	普通紙、再生紙、理想用紙各種	普通紙、再生紙、封筒、郵便事業会社製はがき（普通紙／インクジェット用）、理想用紙各種
最大積載枚数	各トレイ500枚*（または、積載高さ50mm以下）	1000 枚*（または、積載高さ 110mm 以下）

＊　理想用紙 IJ の場合

■ **排紙先によって、使用できる用紙サイズが異なります。**

排紙先の用紙サイズ

フェイスダウン排紙トレイ	90mm × 148mm ～ 340mm × 550mm *
RISO オフセット排紙台	ノンソート時：90mm × 148mm ～ 340mm × 550mm * （オフセット時：用紙幅 131mm ～ 305mm *）
RISO オートフェンス排紙台	100mm × 148mm ～ 320mm × 432mm （432mm を超える用紙は、ストッパーを倒して使用）
排紙台 W	90mm × 148mm ～ 340mm × 550mm

＊　封筒を除く

RISO フィニッシャーの各トレイについては、「仕様」の「RISO フィニッシャー S/RISO フィニッシャー M（オプション）」（p. 6-7）を参照してください。

仕様内の「サイズ」および「重さ」であっても、紙質・環境・保管状態等により通紙できない場合があります。あらかじめ、ご了承ください。詳しくは、お買い上げの販売会社（あるいは、保守・サービス会社）にご相談ください。

■ 以下のような用紙は、紙づまりや故障などの原因となりますので使用しないでください。

・ 基本仕様の条件にあてはまらない用紙
・ 感熱紙やカーボン紙など、表面を加工処理した用紙
・ そり（カール）のある用紙（3mm 以上）
・ しわのある用紙
・ 折れ曲がっている用紙
・ 破れている用紙
・ 波打っている用紙
・ アート紙など、コーティングされている用紙
・ 先端がぎざぎざになっている用紙
・ のり付けされている用紙
・ 穴があいている用紙
・ フォト用光沢紙
・ OHP シート
・ ユポ紙

■ 必ず未開封の用紙を使用してください。

■ プリント終了後、給紙台に残った用紙は包装紙に包んで保管してください。給紙台に載せたままにしておくと、「そり（カール）」が生じて紙づまりの原因となることがあります。

■ 裁断がよくない紙や表面がざらざらした画用紙などは、よくさばいてから使用してください。

■ 用紙は、高温、多湿、直射日光を避けて、水平な状態で保管してください。

印刷物について

■ 両面印刷時に、原稿によっては用紙の端（縁）が汚れる場合があります。

■ 印刷物は、空気中に含まれるさまざまな成分や光の影響で退色（変色）してきます。
印刷物を十分乾燥させた後、ガラス付き額縁に入れたり、ラミネート加工して保存したりすると、
変色しにくくなります。

■ 印刷物をクリアファイルに入れて保管するときは、PET 製のものをお使いください。

■ 印刷物は、水ぬれや汗によって脱色します。水滴のかかる場所での保管は避けてください。
また、油性ペンで記入すると、にじむことがあります。

■ 印刷直後と 24 時間経過後の印刷物では、印字濃度が異なります。
時間の経過と共に印字濃度が低下していきますが、ご了承ください。

■ 印刷物をレーザープリンタやコピー機などのトナーを使用した印刷物と重ねないでください。
トナー印字部分に用紙が貼り付いたり、印刷物にトナーが転写する場合があります。

複写に関する注意

■ 個人が利用する場合でも、自由に何でも複写してよいというわけではありません。特に、単にその印刷物を所有しているだけでも、法律的に罰せられる種類の印刷物がありますので、十分ご注意ください。
次の文書は、法律で印刷を禁止されています。
- 紙幣、貨幣、政府発行の有価証券、国債証券、地方債証券（たとえ「見本」の印があっても複写することは禁じられています）
- 外国において流通する紙幣、貨幣、証券類
- 未使用郵便切手、日本郵政公社製はがきの類で、政府の模造許可をとっていない場合
- 政府発行の印紙、酒税法などで規定されている証紙類

関係法律
- 通貨及証券模造取締法
- 外国ニ於イテ流通スル貨幣紙幣銀行券証券偽造変造及ビ模造ニ関スル法律
- 郵便切手類模造等取締法
- 印紙等模造取締法
- 紙幣類似証券取締法

■ 次のような複写はおやめください。
- 民間発行の有価証券（株券、手形、小切手など）、定期券、回数券などの、事業会社が業務に使用する最低必要部数以外の複写
- 政府発行のパスポート、公共機関や民間団体発行の免許証、許可証、身分証明書や通行券、食券などの切符類の複写
- 書籍、音楽、絵画、版画、地図、図面、写真など著作権の対象となっているものの複写（個人的または家庭内、あるいはこれに準ずる限られた範囲内で使用する場合以外、複写することを禁じられています。）

インクカートリッジの保管方法と取り扱いについて

本インクカートリッジは、「紙」でできているため、保管方法・環境によっては、変形して使えなくなる場合があります。「保管方法」に従って、適切に保管してください。

● 保管方法

■ インクカートリッジは、梱包箱に入れた状態で、記載されている「天地マーク」に従い、水平に保管してください。

■ 凍結、直射日光を避け、5 ℃以上 35 ℃以下の場所で保管してください。
また、温度変化の激しいところでの保管は避けてください。

■ ビニール袋開封後のインクを保管する場合は、保管方向を守り、なるべく早く本体にセットしてください。

● 取り扱いについて

■ 使用前に振らないでください。気泡が発生し、印字不良の原因となることがあります。

■ インクを注ぎ足さないでください。

■ インクカートリッジは、本体にセットする直前に箱から出し、ビニール袋を開封してください。

■ 本機の適正使用温度は、15 ℃〜 30 ℃です。
適正使用温度範囲外での使用は、印字不良（吐出量低下）の原因となることがあります。
インクジェットプリンタは、インクの粘度で噴射特性が変わります。特に低温では粘性が高くなり、ヘッドが目づまりする原因となります。使用環境および保管温度を守り、製造年月日をご確認の上、お早めにご使用ください。

■ 一度、キャップを外したインクが、長時間使い切らずに残っていると、空気中に含まれるさまざまな成分で劣化することがあります。
劣化・変質したインクを使用すると、プリントヘッドや、インク流路の故障の原因となることがあります。

■ インクカートリッジ内に残ったインクは、下水道に流さないでください。

■ インクは、可燃性の液体です。
火災時は、霧状の強化液、泡、粉末、または炭酸ガス消火剤を使用してください。

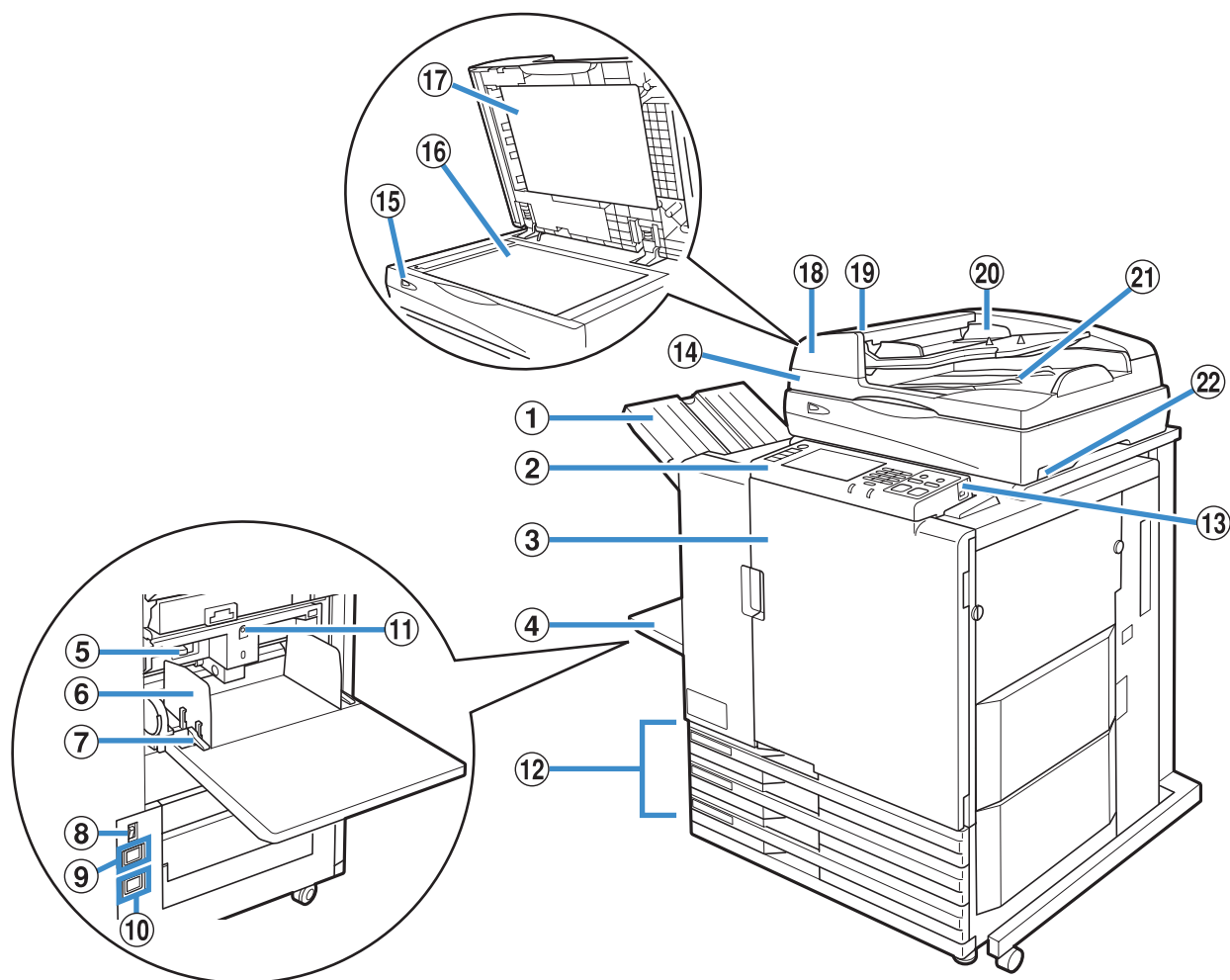
インクカートリッジとクリーニングタンクの回収について

■ 使用済みのインクカートリッジは、お買い上げの販売会社（あるいは、保守・サービス会社）にご返送ください。

■ カートリッジのインク供給口からインクが漏れることがあります。返送時にはキャップを付け、内袋および梱包材に入れてください。

■ 使用済みクリーニングインクタンクは、お買い上げの販売会社（あるいは、保守・サービス会社）が交換いたします。

各部の名称とはたらき

本体とスキャナー（オプション）

①フェイスダウン排紙トレイ
印刷物がフェイスダウンで、排出されます。オプションの RISO オフセット排紙トレイを装着している場合は、プリント単位ごとに排紙位置をずらしてオフセット排紙できます。

②操作パネル
操作や設定をするときに使用します。

③前カバー
用紙がつまったときや、インクカートリッジの交換のときに開けます。

通常時（紙づまりなどのトラブルがない場合）は開けられません。開けたい場合は、［前扉ロック解除］を ON にします。

④給紙台
特殊用紙（厚紙・封筒など）をセットします。普通紙をセットすることもできます。

⑤給紙圧調節レバー
給紙台にセットした用紙の紙質に合わせて、給紙の圧力を調節します。

⑥給紙フェンス
給紙台にセットした用紙がずれるのを防ぎます。

⑦給紙フェンスレバー
給紙フェンスをスライドするときや、固定するときに使用します。給紙フェンスの両側（2 箇所）にあります。

⑧主電源スイッチ
主電源を ON ／ OFF します。通常は ON のままにしておきます。

⑨スキャナー用ソケット
スキャナーの電源コードを接続します。

⑩本体用ソケット
本体の電源コードを接続します。

⑪給紙台上下ボタン
給紙台の用紙を交換／追加するときなどに、給紙台を上下させます。

⑫用紙トレイ
プリントする用紙をセットします。厚紙など特殊な用紙はセットできません。

⑬ USB ポート
USB メモリを接続して、スキャンデータを保存できます。

USBメモリは、マスストレージクラスおよびUSB1.1/2.0 に対応したものを使用してください。

⑭スキャナー（オプション）
原稿を原稿台ガラスやオートフィーダーから読み取ってコピーやスキャンすることができます。

⑮スキャナーランプ（緑／赤）
スキャナーが使用可能な状態のときは緑色に点灯します。起動中や読み取り動作中は緑色に点滅し、エラーが発生したときは赤色に点滅します。

⑯原稿台ガラス
左上の矢印の位置に合わせて、原稿を下向きにセットします。

⑰原稿カバー
原稿台で原稿を読み取るときに開閉します。

⑱オートフィーダー
最大約 100 枚の原稿を自動で送ることができます。

⑲原稿ユニットレバー
原稿がつまったときはこのレバーを上に引いて、原稿ユニットカバーを開きます。

⑳原稿フェンス
原稿の幅に合わせてスライドさせます。

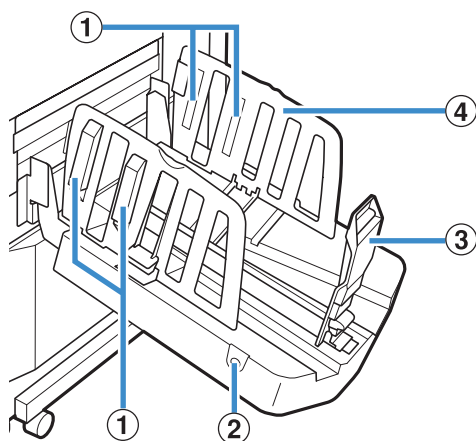
㉑原稿排紙トレイ
オートフィーダーで読み取った原稿が排出されます。

㉒スキャナー電源スイッチ
スキャナーの電源を ON/OFF します。
通常は ON のままにしておきます。

排紙台（オプション）

オプションの排紙台には、RISO オートフェンス排紙台と排紙台 W があります。

・RISO オートフェンス排紙台の場合は、排紙フェンスが、用紙サイズに合わせて自動で移動します。
・排紙台 W の場合は、排紙フェンス（サイド・エンド）を、用紙サイズに合わせて移動させてください。

＜イラストは、RISO オートフェンス排紙台です。＞

①紙揃えプレートノブ
排紙された用紙がきれいに揃うように、紙質に合わせてセットします。

②排紙フェンスオープンボタン
ボタンを押すと、排紙フェンスが広がります。用紙のあり・なしで動作が異なります。

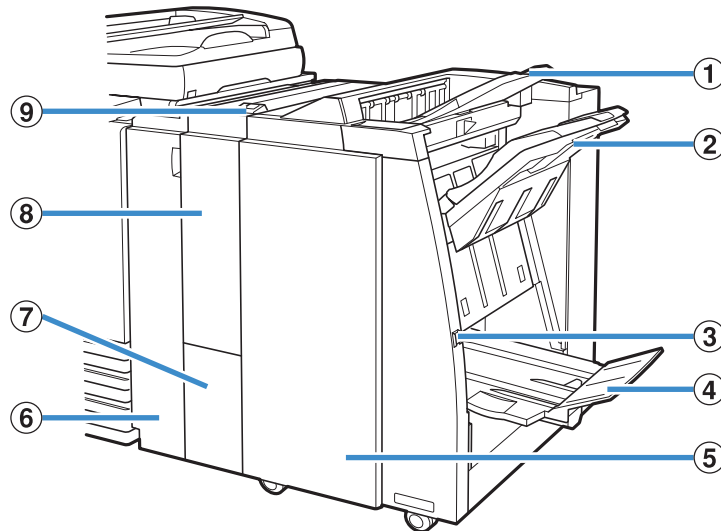
- 本機が待機中で、排紙台に用紙がない場合は、収納位置まで開きます。
- 本機が待機中で、排紙台に用紙がある場合は、排紙フェンスが広がり、用紙が取り出しやすくなります。ボタンを押したときに、広がるフェンスは、管理者設定により異なります。

このボタンは、排紙台 W にはありません。

③排紙フェンス（エンド）
④排紙フェンス（サイド）
排紙された用紙がずれるのを防ぎます。

フィニッシャー（オプション）

オプションの RISO フィニッシャーを接続すると、プリントされた用紙にステープル／パンチをしたり、小冊子を作成したりすることができます。

<イラストは、RISO フィニッシャー M（紙折りユニット付き）です。>

①トップトレイ
パンチ機能を使用する場合、印刷物はここに排出されます。

②スタックトレイ
ステープルやオフセット排紙機能を使用する場合、印刷物はここに排出されます。

③排出ボタン *
小冊子トレイに排出された印刷物を取り出すときに押すと、印刷物が取り出しやすい位置まで移動します。

④小冊子トレイ *
小冊子や二つ折りにされた印刷物は、ここに排出されます。

⑤右カバー
ステープルカートリッジの交換時や、紙づまりが発生した場合などに、このカバーを開けて処理します。

⑥左カバー
プリンターからフィニッシャーへの用紙搬送時に紙づまりが発生した場合に、このカバーを開けてつまった用紙を取り除きます。

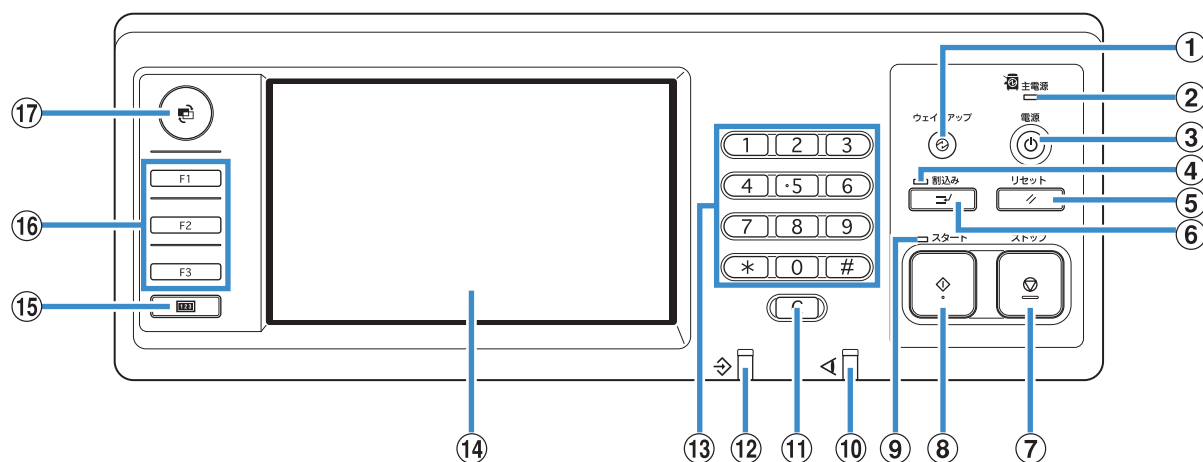
⑦三つ折りトレイ *
三つ折りされた印刷物は、ここに排出されます。

⑧紙折りユニット *
外三つ折り、内三つ折り、Z 折りができます。

⑨三つ折りトレイ引き出しボタン *
三つ折りの印刷物を取り出すときに押します。三つ折りトレイが手前に開きます。

＊ フィニッシャーにより、実装されていない場合があります。

操作パネル

操作パネルを使っていろいろな操作や設定をします。
ランプの色と点灯／点滅状態で、紙づまりなどのエラーや本機の状態を知ることもできます。

①ウェイクアップキー
本機がスリープ状態またはバックライトオフのときに点灯します。キーを押すと、本機の操作が可能になります。ジョブ終了後にキーを押すことで、強制的にスリープ状態に移行させることができます。

②主電源ランプ
主電源が「ON」の状態のときに点灯します。

③副電源キー
電源の ON/OFF を切り替えます。ON の場合に点灯します。OFF に切り替える場合は、長押しします。

④割込みランプ
割込みコピー中に点灯します。

⑤リセットキー
設定した内容を、初期値に戻すときに押します。

⑥割込みキー
進行中のコピーを一旦停止して、違うコピーを実行するときに押します。

⑦ストップキー
進行中のジョブを停止するときに押します。

⑧スタートキー
動作を開始するときに押します。

⑨スタートランプ
スタートキーが使用可能なときに点灯します。

⑩エラーランプ
エラーが発生したときに点滅します。

⑪クリアキー
入力した文字や数字を取り消すときに押します。

⑫データ受信ランプ
データの受信中に点滅します。

⑬テンキー
数値を入力するときに押します。

⑭タッチパネル
操作や設定をするときに使用します。
また、エラーメッセージや確認メッセージなども表示されます。(p. 27「タッチパネル画面」)

⑮カウンターキー
コピーやプリントの総枚数を表示するときに押します。

⑯ファンクションキー
各モードや機能を登録することで、短縮キーとして活用できます。登録は、管理者設定で行います。

⑰モードキー
モード選択画面に切り替えるときに押します。

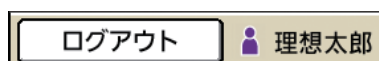
タッチパネル画面

● モード選択画面

一番初めに表示される画面です。この画面から各モードを選択して、設定や操作をします。
この画面は、操作パネルの［モード］キーを押すと表示されます。

表示される画面は、ご使用の機種、接続されているオプションや設定内容により異なります。

① ［ログイン］
ログインするときに押します。

ログイン中は［ログアウト］と表示され、ボタンの横に現在ログインしているユーザー名が表示されます。

②プリンタステータスボタン
現在の本機の状況を「待機中」「プリント中」「エラー」「オフライン」のいずれかで表示します。
ボタンを押すと、プリンターモード画面に移行します。

③ FORCEJET™ リンクマーク
プリントに関わる各部が、正常に機能しているかどうかを表すマークです。適正なカラーマネージメントが行えない場合は、グレーアウトします。

④インク残量表示
各インクの残量を表示します。残量が 10% 未満になると、点滅します。点滅している色のインクカートリッジを準備してください。

⑤モード選択ボタン
これらのボタンを押して、各モードの画面に移行します。
ボタンの左上に鍵マークが表示されている場合は、そのモードに入る前にログインする必要があります。

- 各モードに必要なオプション機器が接続されていない場合は、そのモードのボタンは表示されません。
- ログイン中のユーザーに、アクセス権のないモードのボタンは、グレーアウトされます。

⑥［状態確認］
一般情報、システム情報、およびユーザー情報を確認することができます。

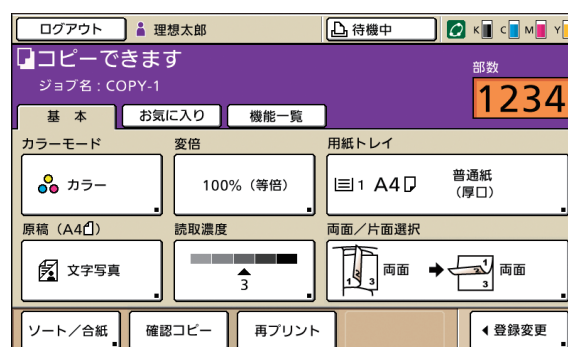
● 各モード画面

モード選択画面でモード選択ボタンを押すと、各モードの画面に移行します。

■ プリンターモード画面

ボックスジョブや、パソコンから送信したプリントジョブを操作／確認することができます。

■ コピーモード画面（オプション）

コピー機能は、この画面から操作します。

■スキャナーモード画面（オプション）

スキャナー機能は、この画面から操作します。

■状態確認画面

● 一般情報画面

用紙やインクなどの消耗品の状態を確認することができます。

● システム情報画面

本機の機種名などの情報を確認することができます。

● ユーザー情報画面

ログインしたユーザー名と所属グループを確認することができます。ログインしていない状態では、［ユーザー情報］は表示されません。

● 著作権情報画面

本製品で使用されているシステムの著作権情報を確認することができます。

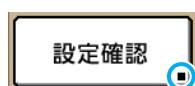
タッチパネルの使いかた

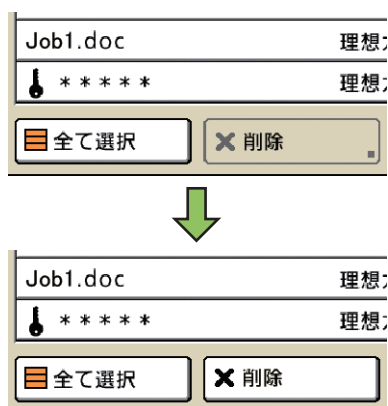
本機の操作や設定は、タッチパネルで行います。画面に表示されるボタンを、指でタッチして操作します。
画面のボタンにタッチする操作を、本書では「押す」と表記しています。

タッチパネルについて

タッチパネルを操作する上での注意点を説明します。

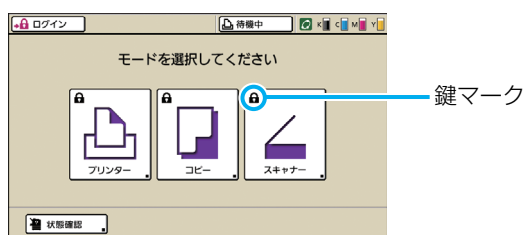
■ ボタンの選択

タッチパネル上のボタンを選択するには、指でそのボタンを押します。
右下に「■」が表示されているボタンは、そのボタンを押すと別画面が表示され、その画面で設定をします。

「■」が表示されていないものは、そのボタンを押すことでON/OFFができ、ONの場合にオレンジ色で表示されます。

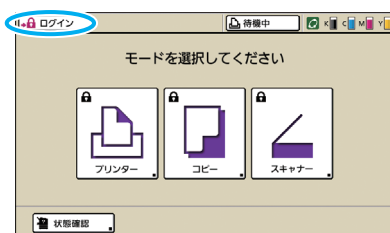
ある一定の条件を満たさないと使用できないボタンはグレーアウトされ、選択できない状態になっています。条件を満たすと、選択できるようになります。

■ 設定の確定と取り消し

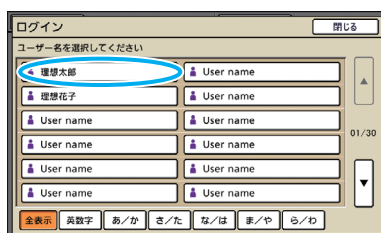
設定している画面上に［確定］が表示されている場合、設定内容を保存するためには［確定］を押す必要があります。［確定］を押さないと設定内容がキャンセルされてしまうことがあります。
設定した内容を取り消したい場合は、［取消］を押します。

ログインについて

モード選択ボタンの左上に鍵マークが表示されている場合は、そのモードに入る前にログインする必要があります。

● ログインのしかた

オプションの IC カードリーダーをご使用の場合は、カードリーダーに IC カードをかざすと、ログインできます。

1 ［ログイン］を押す

2 ［ログイン］画面でユーザー名を選択する

右側の［▲］［▼］でスクロールするか、画面下の見出しボタンからユーザー名を表示させて検索します。

ユーザー名を選択すると、［パスワード入力］画面が表示されます。

3 パスワードを入力し、［確定］を押す

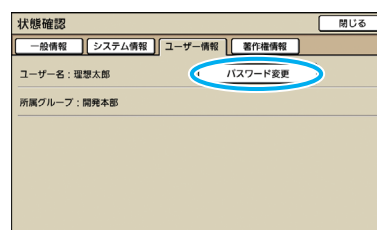
ログインしたモードの画面が表示されます。

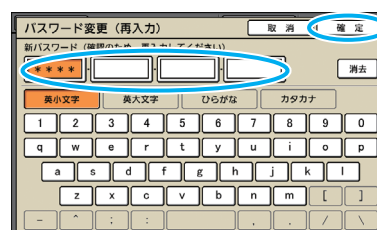
操作が終了したら、必ず［ログアウト］を押してください。

ユーザー名が見当たらないときや、パスワードを忘れてしまったときは、管理者にお問い合わせください。

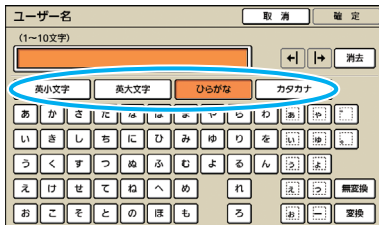
● ログインパスワードの変更

1 ログインした状態で、モード選択画面の［状態確認］を押す

2 ［ユーザー情報］画面の［パスワード変更］を押す

3 新しいパスワードを入力し、［次へ］を押す

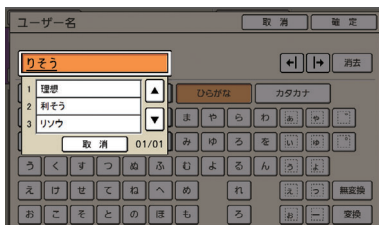
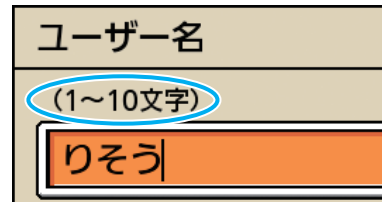
4 ［パスワード変更（再入力）］画面で、新しく設定したパスワードを再度入力し、［確定］を押す

文字入力のしかた

ユーザー名やパスワードの登録などをするときは、文字入力画面から必要な情報を入力します。

1 入力する文字の種類を選択する

パスワードなど使用できる文字が限られている場合、使用できない種類の文字のボタンはグレーアウトされます。

2 入力したい文字を一文字ずつ押す

［⬅|］［|➡］を押すと、カーソル位置を移動できます。また［消去］を押すと、カーソルの左側にある文字を一文字消去できます。

漢字へ変換する場合は、ひらがなまたはカタカナで入力し、右下にある［変換］を押します。変換候補リストから、変換したい漢字を選択します。

入力文字の制限数は、文字入力欄の上に表示されます。

3 入力が終わったら、［確定］を押す

［取消］を押すと、入力した内容は取り消されます。

各モードでの設定項目一覧

● プリンタドライバ

設定項目	説明	参照ページ
[基本] タブ		
カラーモード	カラーモードを設定します。	p. 1-7
両面印刷	プリントする面を設定します。	p. 1-7
原稿サイズ	原稿の用紙サイズと方向を設定します。	p. 1-8
原稿サイズ混在＊1	原稿データに、複数の原稿サイズが混在する場合に設定します。	p. 1-8
ズーム指定	拡大／縮小してプリントするときに設定します。	p. 1-9
出力用紙サイズ	プリントする用紙のサイズを設定します。	p. 1-9
給紙トレイ選択＊1	プリントする用紙がセットされているトレイを設定します。	p. 1-9
用紙種類	用紙の種類を設定します。	p. 1-10
出力方法	パソコンから送った原稿データの出力方法（プリントまたはボックス保存）を選択します。	p. 1-10
保存先	「出力方法」でボックス保存を選択した場合の保存先が表示されます。	p. 1-10
設定登録／呼出	よく使う設定の登録と呼び出しをします。	p. 1-11
[レイアウト] タブ		
面付け	面付けの種類を設定します。	p. 1-12
画像回転	プリントの向きを設定します。	p. 1-14
画像位置調整	プリントの位置を調整するときに設定します。	p. 1-14
設定登録／呼出	よく使う設定の登録と呼び出しをします。	p. 1-14
[イメージ処理] タブ		
原稿モード＊2	写真と文字のどちらの品質を優先してプリントするかを設定します。	p. 1-15
文字スムージング処理	文字やイラストの輪郭をなめらかに加工するときに選択します。	p. 1-15
ガンマ調整	明度、彩度、コントラスト、RGB のガンマ値を調整します。	p. 1-15
スクリーニング	ハーフトーンの処理方法を設定します。	p. 1-16
画像品質	解像度を設定します。	p. 1-16
プリント濃度	プリントの濃度を設定します。	p. 1-16
設定登録／呼出	よく使う設定の登録と呼び出しをします。	p. 1-16
[仕上げ] タブ		
ソート	複数部数をプリントするときの出力方法を設定します。	p. 1-17
合紙＊1	合紙を入れる位置を設定します。	p. 1-17
オフセット排紙	排紙位置のずらし方を設定します。（オプションの RISO フィニッシャーまたは RISO オフセット排紙トレイ接続時）	p. 1-18
表紙付け＊1	表紙、裏表紙を付ける時に設定します。	p. 1-18
小冊子製本＊1	製本方法を設定します。（オプションの RISO フィニッシャー M 接続時）	p. 1-18
とじ位置＊1	ステープル、パンチのとじ位置を設定します。（オプションの RISO フィニッシャー接続時）	p. 1-20

設定項目	説明	参照ページ
ステープル＊[1]	ステープルの位置を設定します。 （オプションの RISO フィニッシャー接続時）	p. 1-21
パンチ＊[1]	パンチの位置を設定します。（オプションのRISOフィニッシャー接続時）	p. 1-22
紙折り＊[1]	用紙の折り方を設定します。（オプションの RISO フィニッシャー M、 または RISO フィニッシャーに紙折りユニット接続時）	p. 1-22
排紙先	排紙するトレイを設定します。 （オプションの RISO フィニッシャーまたは排紙台接続時）	p. 1-24
設定登録／呼出	よく使う設定の登録と呼び出しをします。	p. 1-24
［応用］タブ		
印刷部数	プリントする部数を設定します。	p. 1-24
確認プリント	仕上がりを確認するために、1 部だけプリントして停止します。	p. 1-24
プログラム印刷	異なる部数を多数のグループに配布する場合に設定します。	p. 1-25
白紙節約	原稿データ中の白紙ページをプリントしない場合に設定します。	p. 1-25
連続排紙	排紙先の排紙量が上限に達したときに自動的に排紙先を切り替える場合に選択します。（オプションの RISO フィニッシャーまたは RISO オートフェンス排紙台接続時）	p. 1-26
ウォーターマーク	プリントに入れる透かし（ウォーターマーク）を設定します。	p. 1-26
ページ／日付印字	ヘッダーやフッターに、ページ数や日付を印字します。	p. 1-27
暗証番号をつける	プリントまたはボックス保存するデータに暗証番号をつけます。	p. 1-28
設定登録／呼出	よく使う設定の登録と呼び出しをします。	p. 1-28

＊ 1 ORPHIS X7200 / X7200L では使用できません。
＊ 2 ORPHIS X7200L では選択できません。

● コピーモード

	設定項目	説明	参照ページ
[基本]	カラーモード	コピーする色を選択します。	p. 2-8
	変倍	拡大コピー、縮小コピーができます。	p. 2-9
	用紙トレイ	コピーする用紙によって、用紙トレイ、用紙の種類、給紙設定を変更します。	p. 2-9
	原稿	適切な画像処理をしてからプリントするために、原稿の種類を選択します。	p. 2-12
	読取濃度	原稿を読み取るときの濃度を調整します。	p. 2-13
	両面／片面選択	読み取る面とコピーする面を設定します。	p. 2-14
	POP 機能登録＊ 2	よく使う機能を、POP エリアに４個まで登録することができます。	p. 2-17
[お気に入り]	お気に入り機能登録＊ 2	よく使う機能を、お気に入り画面に 16 個まで登録することができます。	p. 2-17
[機能一覧]	設定確認	現在の設定値の確認と、設定内容のプリントをします。	p. 2-18
	設定登録／呼出	よく使う設定内容を、10 件まで登録しておくことができます。	p. 2-19
	仕上がり選択	ステープル、パンチなどの仕上がりイメージを、イラストを見ながら設定できます。	p. 2-22
	確認コピー	部数の多いコピーをするときに、仕上がりを確認するために、1 部だけコピーして停止します。	p. 2-23
	追加コピー＊ 2	直前にコピーした原稿データを再度プリントします。	p. 2-24
	ボックス保存＊ 2	読み取った原稿をデータとして、本機に保存します。必要なときに呼び出してプリントできます。	p. 2-24
	アーカイブ保存＊ 3	読み取った原稿をデータとして、外部コントローラに保存します。必要なときに呼び出してプリントできます。（オプションの ComucolorExpress IS900C 接続時）	p. 2-26
	AF 原稿追加	原稿の枚数が多く、数回に分けてセットした場合でも、1 ジョブとしてコピーすることができます。	p. 2-27
	原稿サイズ指定	原稿の読取サイズを設定します。	p. 2-27
	原稿サイズ混在＊ 1	原稿データに複数の原稿サイズが混在する場合に設定します。	p. 2-28
	ブック原稿	本などの中央（とじ部分）にできる影を消去します。	p. 2-29
	面付け	N アップコピー（連続したページを 1 枚の用紙に並べる）や、連写コピー（あるページを 1 枚の用紙に複数枚並べる）をします。	p. 2-30
	ページ／日付印字	ページ数と日付を、ヘッダーやフッターに印字します。	p. 2-31
	画像品質	原稿を読み取るときの解像度を設定します。	p. 2-33
	ガンマ調整	読み取ったデータの色バランス（CMYK）を調整します。	p. 2-34
	画像詳細設定	原稿の画像処理を設定します。	p. 2-35

	設定項目	説明	参照ページ
[機能一覧]	下地カット	文字が読みにくい場合に、背景色（地色）だけを薄くします。	p. 2-35
	プログラム印刷	必要な部数が異なる多数のグループ（部署やクラス）がある場合に設定します。必要な部数を必要な組数だけ手早くプリントできます。	p. 2-36
	表紙付け＊1	印刷物の前後に、表紙、裏表紙をつけるときに設定します。	p. 2-40
	ソート／合紙＊1	ソートや合紙の設定をします。	p. 2-41
	オート回転	原稿と用紙の向きが一致しない場合、自動的に画像を 90 度回転します。	p. 2-43
	ステープル／パンチ＊1	ステープル（とじる）やパンチ（穴を開ける）を設定します。（オプションの RISO フィニッシャー接続時）	p. 2-43
	紙折り＊1	紙の折り方、折り方向などを設定します。 （オプションの RISO フィニッシャー M または RISO フィニッシャーに紙折りユニット接続時）	p. 2-45
	小冊子＊1	小冊子にするための面付けや紙折りなどを設定します。 （オプションの RISO フィニッシャー M 接続時）	p. 2-47
	排紙先選択	排紙先のトレイと連続排紙を設定します。 （オプションのRISO フィニッシャーまたは排紙台接続時）	p. 2-49
	排紙フェンス調整	RISO オートフェンス排紙台の排紙フェンスの位置を調整します。 （オプションの RISO オートフェンス排紙台接続時）	p. 2-50
	排紙ウイング特殊	排紙ウイングの位置を調整します。 （オプションの排紙台接続時）	p. 2-51
	ヘッドクリーニング	インクヘッドのクリーニングをします。	p. 2-51
	前扉ロック解除	本機の前扉ロックを解除します。	p. 2-52

＊1　ORPHIS X7200 / X7200L では使用できません。
＊2　管理者設定によっては、このボタンは表示されません。
＊3　ORPHIS X7200L では対応していません。

スキャナーモード

	設定項目	説明	参照ページ
[基本]	保存形式	スキャンしたデータの保存形式を設定します。	p. 3-9
	変倍	スキャンしたデータを拡大または縮小します。	p. 3-10
	保存サイズ	スキャンしたデータの保存サイズを設定します。	p. 3-10
	カラーモード	スキャンするデータのカラーモードを設定します。	p. 3-11
	読取濃度	原稿を読み取るときの濃度を調整します。	p. 3-12
	両面／片面選択	原稿の読み取り面を設定します。	p. 3-12
[機能一覧]	設定確認	現在の設定値を確認／登録し、設定内容をプリントします。	p. 3-13
	設定登録／呼出	よく使う設定内容を、10 件まで登録しておくことができます。	p. 3-13
	原稿	適切な画像処理をしてから保存するために、原稿の種類を選択します。	p. 3-13
	ブック原稿	本などの中央（とじ部分）にできる影を消去します。	p. 3-14
	原稿サイズ指定	スキャンする原稿の読み取りサイズを設定します。	p. 3-14
	原稿サイズ混在	原稿データに複数の原稿サイズが混在する場合に設定します。	p. 3-14
	ガンマ調整	読み取ったデータの色バランス（CMYK）を調整します。	p. 3-14
	画像詳細設定	原稿の画像処理を設定します。	p. 3-14
	下地カット	文字が読みにくい場合に、背景色（地色）だけを薄くします。	p. 3-14
	暗証番号をつける	スキャンジョブを本機内蔵ハードディスクに保存するときに、暗証番号をつけます。	p. 3-15
	前扉ロック解除	本機の前扉ロックを解除します。	p. 3-15

● プリンターモード

	設定項目	説明	参照ページ
[処理中]	削除、プリント、詳細表示	処理中ジョブの詳細確認、プリント、削除などの操作をします。	p. 4-6
[指示待ち]		指示待ちジョブの詳細確認、プリント、削除などの操作をします。	p. 4-7
[終了]		終了ジョブの詳細確認、プリント、削除などの操作をします。	p. 4-8
[ボックス]		ボックスジョブの詳細確認、プリント、コピーなどの操作をします。	p. 4-9
[機能一覧]	オンライン	オンライン／オフラインを切り替えます。	p. 4-14
	用紙トレイ設定	各用紙トレイについて、用紙トレイ、用紙サイズ、給紙設定、重送検知を設定します。	p. 4-14
	ヘッドクリーニング	インクヘッドのクリーニングをします。	p. 4-15
	排紙フェンス調整	オート排紙代の排紙フェンス位置を調整します。（オプションの RISO オートフェンス排紙台接続時）	p. 4-15
	排紙ウイング特殊	排紙ウィングの位置を調整します。（オプションの排紙台接続時）	p. 4-15
	前扉ロック解除	本機の前扉ロックを解除します。	p. 4-15

プリント前の準備

プリントを行う前に、用紙、排紙台（オプション）などをセットして、本機を使用可能な状態にします。

- 用紙トレイを使用する場合は、給紙台をセットする必要はありません。
- RISO コンソールを起動すると、パソコンの画面で、本機の状態を確認することができます。（p. 5-1「RISO コンソール」）

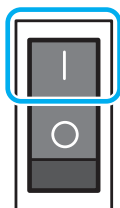
電源を ON/OFF にする

本機には、［主電源］スイッチと［副電源］キーの 2 つの電源があります。［主電源］スイッチはプリンター全体の電源を ON/OFF します。
［副電源］キーは、本機を動作させるときに押します。ON の場合は、ボタンが点灯します。

オプションのスキャナーや RISO フィニッシャーを接続した場合、オプション機器の電源は本機の主電源と連動して ON/OFF します。

電源を ON にする

1 電源プラグがコンセントに差し込まれているか確認する

2 ［主電源］スイッチを ON にする

操作パネルの［主電源］ランプが点灯します。

3 本機の［副電源］キーを押す

ON になると点灯します。

電源を OFF にする

1 ［副電源］キーを長押しする

OFF になると消灯します。

2 ［副電源］キーが消灯していることを確認し、［主電源］スイッチを OFF にする

［主電源］ランプが消灯します。

- 再び［主電源］スイッチを ON にするときは、主電源ランプが消灯してから行ってください。
- 電源プラグを抜く場合は、［主電源］スイッチを OFF にしてから抜いてください。

■ 省電力機能について

本機を一定時間操作しない場合、管理者の設定により自動的に省電力モードに移行します。

省電力モードには、バックライトオフとスリープ状態があり、それぞれのモードへの移行時間は、管理者により設定されています。

省電力モードに移行すると、タッチパネルが消灯し、[ウェイクアップ] キーが点灯します。

[ウェイクアップ] キーを押すことで省電力モードから復帰します。

スリープ状態は、バックライトオフよりも省電力状態になるため、復帰に、より長い時間がかかります。

用紙をセットする

用紙は、用紙トレイおよび給紙台にセットします。

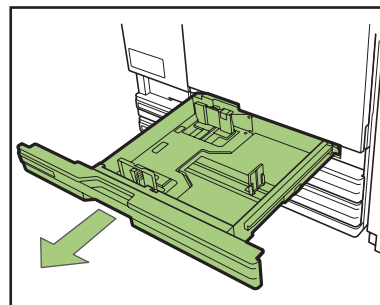
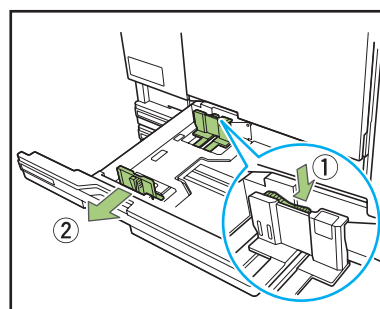
通常使用する用紙は、用紙トレイにセットすることをお勧めします。

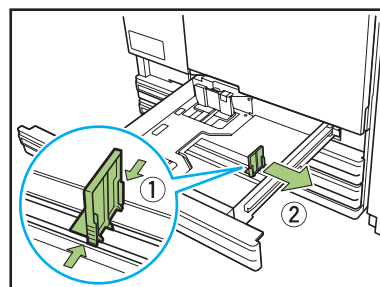
以下のような用紙は、給紙台にセットしてください。

- 厚紙など、特殊な用紙
- 片面がプリント済みの用紙
- 郵便事業会社製はがき
- 封筒

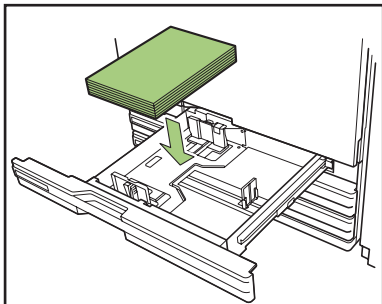
詳しくは「印刷用紙」(p. 19) を参照してください。

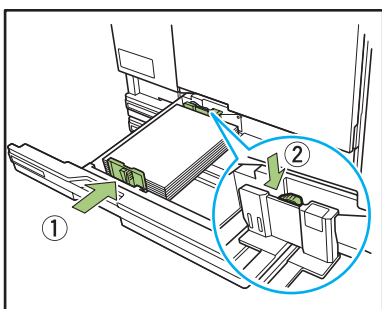
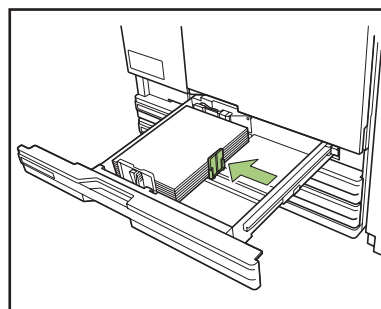
● 用紙トレイにセットする

1 トレイを手前に引き出す

2 奥にあるロックレバーの「フリー」側を押し、手前のつまみでフェンスを外側いっぱいに広げる

3 ストッパーを広げる

ストッパーの両サイドをおさえて動かします。

4 用紙をセットする

表と裏の質に差がある用紙は、プリントする面を下にしてセットします。積載高さ上限のシールを超えないようにしてください。

用紙の端がフェンスなどに当たって折れ曲がらないようにしてください。

5 フェンスを用紙のサイズにぴったりと合わせる

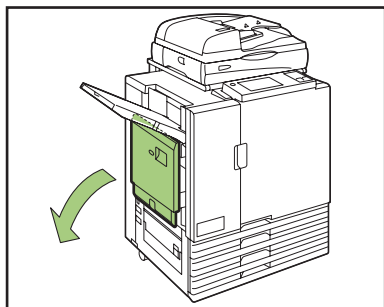
用紙の幅にフェンスをスライドさせてぴったりと合わせ、ロックレバーの「ロック」側を押してフェンスを固定します。

6 ストッパーを用紙のサイズにぴったりと合わせる

本機は、ストッパーの位置で用紙サイズを検知しています。必ず用紙にぴったりと合わせてください。

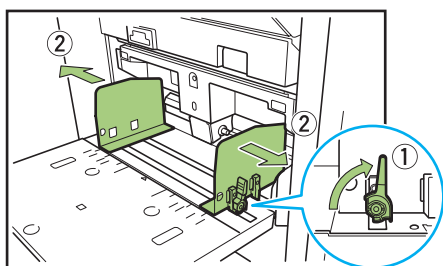
7 トレイを戻す

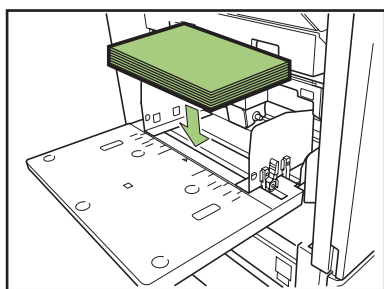
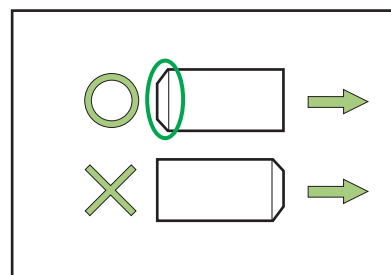
8 操作パネルでトレイの設定を確認する

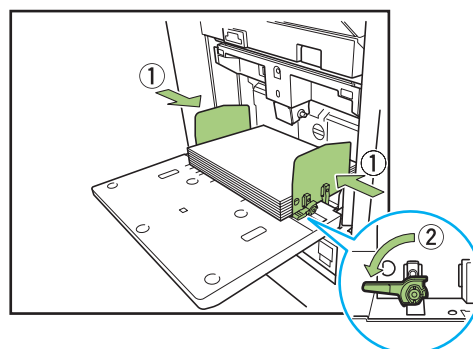
用紙のサイズや種類を変更した場合は、用紙トレイ設定の内容を変更します。（p. 2-9「用紙トレイ」）

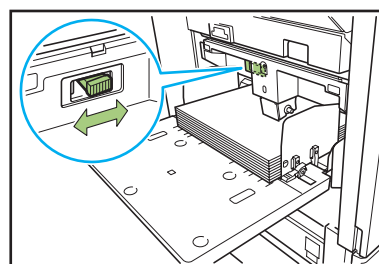
● 給紙台にセットする

1 給紙台を矢印の方向に、止まるまで開く

2 フェンスを広げる

給紙フェンスレバー（両側 2 箇所）をフリーにして、フェンスをスライドさせます。

3 用紙をセットする

プリントする面を上にしてセットします。

- 封筒は、オプションの排紙台を接続してプリントすることをお勧めします。
- 封筒をセットする場合は、必ずフタを開いた状態で、封筒の底側から給紙されるようにセットします。

4 フェンスを用紙のサイズにぴったりと合わせる

用紙の幅にフェンスをスライドさせてぴったりと合わせ、給紙フェンスレバーをロックしてフェンスを固定します。

5 給紙圧調節レバーをセットする

通常は「標準」で使用し、封筒などの場合は「厚紙」にセットします。

6 操作パネルでトレイの設定を確認する

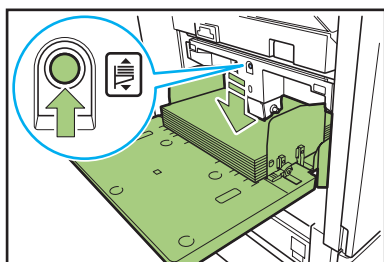
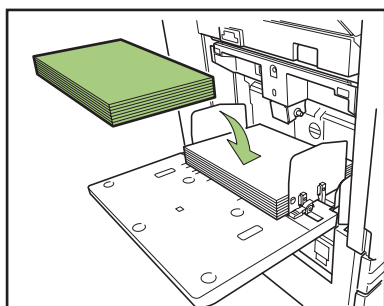
用紙のサイズや種類を変更した場合は、用紙トレイ設定の内容を変更します。（p. 2-9「用紙トレイ」）

パソコンから封筒にプリントする場合は、
［画像回転］を使うと便利です。

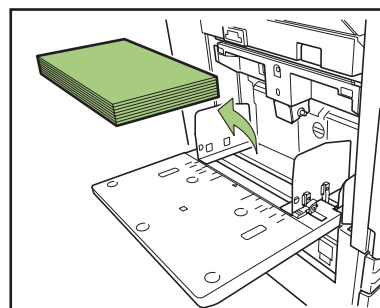
● 給紙台に用紙を追加する／載せ替える

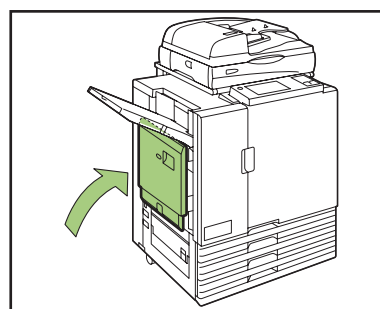
セットされている用紙を追加する、または違うサイズの用紙に載せ替えるときは、給紙台上下ボタンを使用します。また、給紙台の用紙をすべて取り除くと自動的に下がります。

1 給紙台上下ボタンを押して、給紙台を下げる

下げたい位置までボタンを押し続けます。

2 用紙を追加、または載せ替える

● 給紙台を閉じる

1 セットされている用紙を取り除く

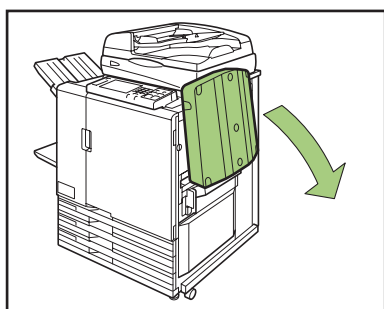
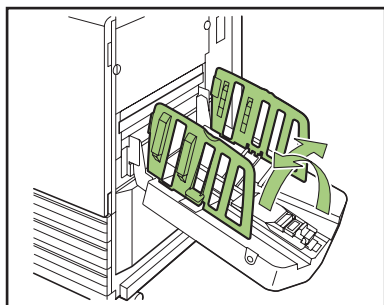
給紙台が下がり始めます。

電源が ON になっていることを確認してください。

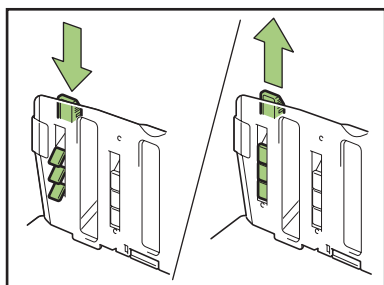
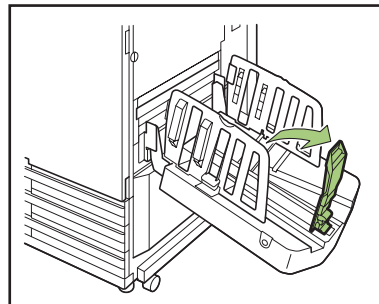
2 給紙台を閉じる

給紙台が最下部まで下がっていることを確認してから、閉じてください。

排紙台（オプション）をセットする

排紙台をセットします。用紙サイズや紙質によって紙揃えプレートの調節も行います。

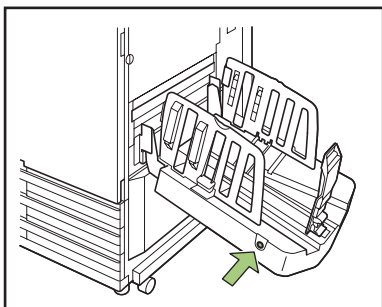
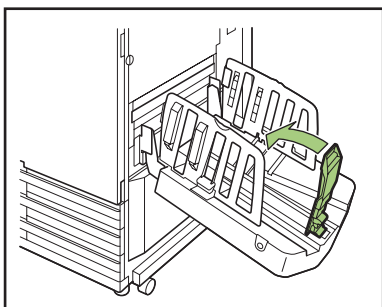
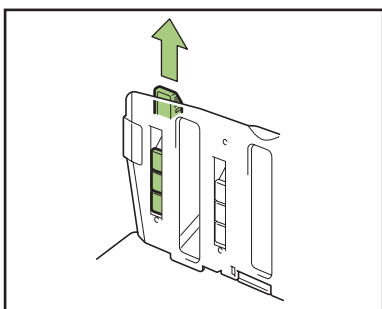
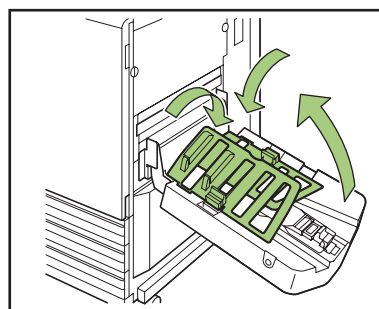
- イラストは、RISO オートフェンス排紙台です。
- 排紙台 W の場合は、排紙フェンス（サイド・エンド）の位置を、用紙サイズに合わせて手動で調節してください。

1 排紙台を矢印の方向に、止まるまで開く

2 排紙フェンス（サイド）を立てる

3 紙揃えプレートを調節する

通常は、B4 サイズ以下の用紙へのプリント時に、紙揃えプレートを出して使用します。コシの強さなどによって、用紙は揃う状態が異なりますので、必要に応じて調節してください。

4 排紙フェンス（エンド）を立てる

320mm × 432mm よりも大きなサイズの用紙にプリントするときは、排紙フェンスをすべてたたんだ状態で使用します。

● 排紙台を閉じる

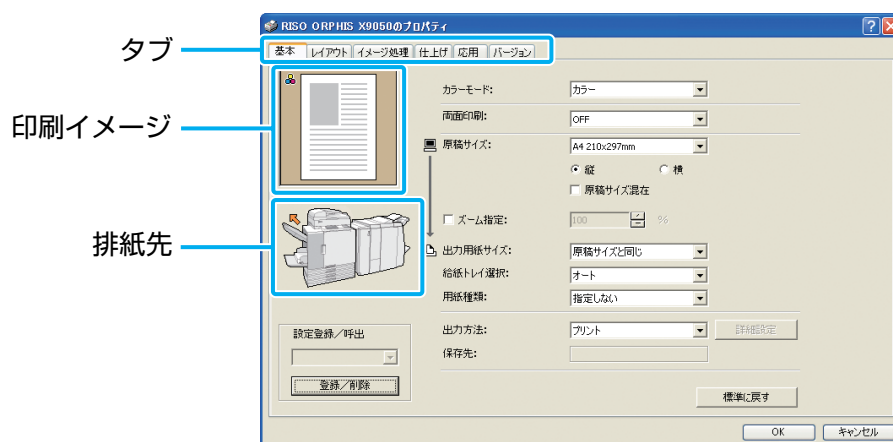
1 **印刷物がないことを確認し、排紙フェンスオープンボタンを押す**

排紙フェンス（サイド）と排紙フェンス（エンド）が収納位置まで移動します。

2 **排紙フェンス（エンド）を排紙台内側に倒し、たたむ**

3 **紙揃えプレートをたたむ**

4 **排紙フェンス（サイド）を内側に倒し、排紙台を閉じる**

プリンタドライバ

プリント操作の概要

ここでは、本機とパソコンをネットワーク接続して、プリンターとして使用する場合のパソコンからの操作について説明しています。

プリンタドライバ画面

各種の設定は、プリンタドライバ画面から行います。

- タブ　：クリックして画面を切り替えます。
- 印刷イメージ　：仕上がりイメージが、イラストで表示されます。左上にはカラーモードアイコンが表示されます。(「オート」のときには表示されません。)
- 排紙先　：排紙先が、オレンジの矢印で表示されます。

プリンタドライバ画面は、次のように構成されています。

タブ	説明	参照ページ
基本	カラーモードや用紙など、印刷の基本的な情報を設定します。	p. 1-7
レイアウト	面付けや画像回転を設定します。	p. 1-12
イメージ処理	画質や濃度を設定します。	p. 1-15
仕上げ	ソートや製本方法など、仕上げについて設定します。	p. 1-17
応用	暗証番号や確認プリントなど、応用的な機能を設定します。	p. 1-24
バージョン	プリンタドライバ情報が表示されます。	p. 1-28

- 選択している内容や管理者の設定内容により、表示される設定項目は異なります。
- 設定に必要なオプションが接続されていない場合は、その設定項目は表示されません。
- 本書の操作説明には、Windows XP の画面を使用しています。

- ［標準に戻す］をクリックすると、プリンタドライバ画面での設定がすべて初期値に戻ります。
- ［環境］タブの［プリンタ構成］で、接続しているオプションの設定を行わないと使用できない機能があります。使用できない機能はグレーアウトされて選択できません。（p. 1-29「［環境］タブ」）

手順

プリント操作の流れは、次のとおりです。

1　プリンタドライバ画面を表示させる

2　必要に応じて設定を行う

3　［OK］をクリックする

4　［印刷］をクリックする

● 1　プリンタドライバ画面を表示させる

1 パソコンのアプリケーション画面で、印刷メニューを選択する

印刷ダイアログボックスが表示されます。

2 ［プリンタ名］を確認し、［プロパティ］または［詳細設定］をクリックする

クリックするボタン名は、アプリケーションによって異なります。

● 2　必要に応じて設定を行う

設定できる項目については、「設定項目一覧」（p. 1-5）を参照してください。

・プリンタドライバ画面でのすべての設定を初期値に戻すには、［標準に戻す］をクリックしてください。
・設定を中止するときは、［キャンセル］をクリックしてください。

- **フィニッシャーを接続している場合**
  仕上げタブの「ステープル」や「パンチ」などが、グレーアウトしているときは、「環境設定」の「プリンタの構成」が正しく設定されているか確認してください。（p. 1-29「環境設定」）
- **プリンタドライバの［原稿モード］と［用紙種類］の設定は、プリントの品質に大きく影響します。使用条件に応じて、設定を変更してください。**

● 3　［OK］をクリックする

印刷ダイアログボックスに戻ります。

印刷ダイアログボックスに「部単位で印刷」チェックボックスがある場合は、チェックをはずしてください。はずさないと、部数と同じ回数のデータ送信が行われます。

・部単位で印刷する場合は、［仕上げ］タブの［ソート］を［部ごと］に設定してください。

● 4　［印刷］または［OK］をクリックする

プリントが開始されます。

設定項目一覧

プリンタドライバ画面での設定項目についての一覧を、以下に示します。

- 選択した項目や管理者の設定により、画面に表示される設定項目は変わります。
- 設定に必要なオプションが接続されていない場合、そのオプションに関連する項目は表示されません。

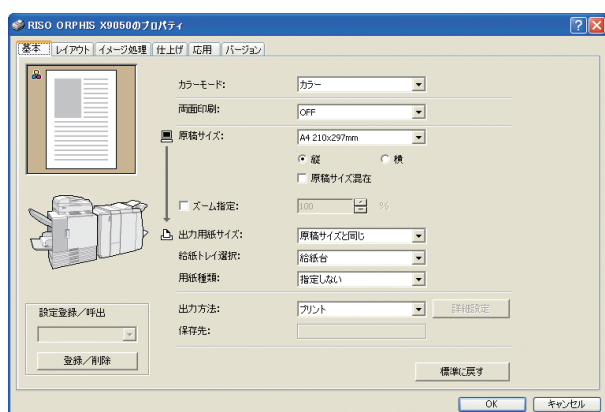
設定項目	説明	参照ページ
[基本] タブ		
カラーモード	カラーモードを設定します。	p. 1-7
両面印刷	プリントする面を設定します。	p. 1-7
原稿サイズ	原稿の用紙サイズと方向を設定します。	p. 1-8
原稿サイズ混在＊[1]	原稿データに複数の原稿サイズが混在する場合に設定します。	p. 1-8
ズーム指定	拡大／縮小してプリントするときに設定します。	p. 1-9
出力用紙サイズ	プリントする用紙のサイズを設定します。	p. 1-9
給紙トレイ選択＊[1]	プリントする用紙がセットされているトレイを設定します。	p. 1-9
用紙種類	用紙の種類を設定します。	p. 1-10
出力方法	パソコンから送った原稿データの出力方法（プリントまたはボックス保存）を選択します。	p. 1-10
保存先	「出力方法」でボックス保存を選択した場合の保存先が表示されます。	p. 1-10
設定登録／呼出	よく使う設定の登録と呼び出しをします。	p. 1-11
[レイアウト] タブ		
面付け	面付けの種類を設定します。	p. 1-12
画像回転	プリントの向きを設定します。	p. 1-14
画像位置調整	プリントの位置を調整するときに設定します。	p. 1-14
設定登録／呼出	よく使う設定の登録と呼び出しをします。	p. 1-14
[イメージ処理] タブ		
原稿モード＊[2]	写真と文字のどちらの品質を優先してプリントするかを設定します。	p. 1-15
文字スムージング処理	文字やイラストの輪郭をなめらかに加工するときに選択します。	p. 1-15
ガンマ調整	明度、彩度、コントラスト、RGB のガンマ値を調整します。	p. 1-15
スクリーニング	ハーフトーンの処理方法を設定します。	p. 1-16
画像品質	解像度を設定します。	p. 1-16
プリント濃度	プリントの濃度を設定します。	p. 1-16
設定登録／呼出	よく使う設定の登録と呼び出しをします。	p. 1-16
[仕上げ] タブ		
ソート	複数部数をプリントするときの出力方法を設定します。	p. 1-17
合紙＊[1]	合紙を入れる位置を設定します。	p. 1-17
オフセット排紙	排紙位置のずらし方を設定します。（オプションの RISO フィニッシャーまたは RISO オフセット排紙トレイ接続時）	p. 1-18
表紙付け＊[1]	表紙、裏表紙を付ける時に設定します。	p. 1-18
小冊子製本＊[1]	製本方法を設定します。（オプションの RISO フィニッシャー M 接続時）	p. 1-18

設定項目	説明	参照ページ
とじ位置＊1	ステープル、パンチのとじ位置を設定します。 （オプションのRISOフィニッシャー接続時）	p. 1-20
ステープル＊1	ステープルの位置を設定します。 （オプションのRISOフィニッシャー接続時）	p. 1-21
パンチ＊1	パンチの位置を設定します。（オプションのRISOフィニッシャー接続時）	p. 1-22
紙折り＊1	用紙の折り方を設定します。（オプションのRISOフィニッシャーM、またはRISOフィニッシャーに紙折りユニット接続時）	p. 1-22
排紙先	排紙するトレイを設定します。 （オプションのRISOフィニッシャーまたは排紙台接続時）	p. 1-24
設定登録／呼出	よく使う設定の登録と呼び出しをします。	p. 1-24
［応用］タブ		
印刷部数	プリントする部数を設定します。	p. 1-24
確認プリント	仕上がりを確認するために、1部だけプリントして停止します。	p. 1-24
プログラム印刷	異なる部数を多数のグループに配布する場合に設定します。	p. 1-25
白紙節約	原稿データ中の白紙ページをプリントしない場合に設定します。	p. 1-25
連続排紙	排紙先の排紙量が上限に達したときに自動的に排紙先を切り替える場合に選択します。（オプションのRISOフィニッシャーまたはRISOオートフェンス排紙台接続時）	p. 1-26
ウォーターマーク	プリントに入れる透かし（ウォーターマーク）を設定します。	p. 1-26
ページ／日付印字	ヘッダーやフッターに、ページ数や日付を印字します。	p. 1-27
暗証番号をつける	プリントまたはボックス保存するデータに暗証番号をつけます。	p. 1-28
設定登録／呼出	よく使う設定の登録と呼び出しをします。	p. 1-28

＊1 ORPHIS X7200 / X7200Lでは使用できません。
＊2 ORPHIS X7200Lでは選択できません。

基本設定

ここでは、カラーモード、両面印刷、用紙種類など、プリンタドライバの基本的な設定について説明しています。

[基本] タブ

カラーモード

カラーモードを設定します。

[オート]
原稿の色を自動的に判断し、カラー（シアン／マゼンタ／イエロー／ブラック）または白黒でプリントします。

[カラー]
4 色（シアン／マゼンタ／イエロー／ブラック）でプリントします。

[白黒]
原稿色に関係なく、ブラック 1 色でプリントします。

[単色シアン]
原稿色に関係なく、シアン 1 色でプリントします。

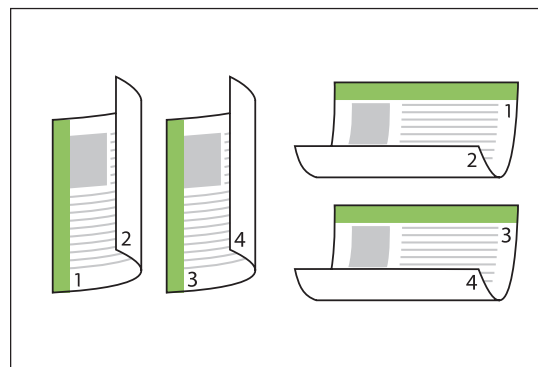
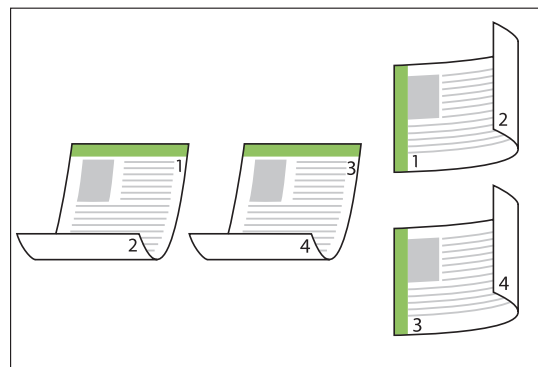
[単色マゼンタ]
原稿色に関係なく、マゼンタ 1 色でプリントします。

- 管理者がカラープリントを禁止している場合、「オート」と「カラー」は表示されません。
- ORPHIS X7200L では、[単色シアン] は選択できません。

両面印刷

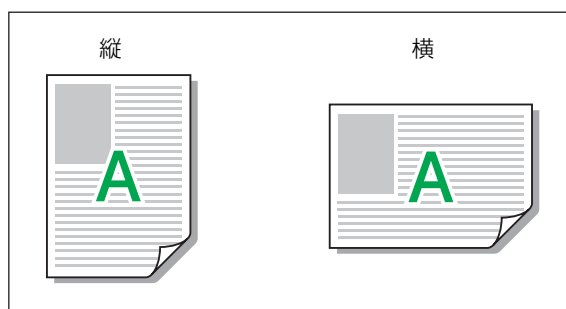
プリントする面を設定します。

[OFF]
片面にプリントします。

[長辺とじ]
長辺をとじ位置として、両面にプリントします。

[短辺とじ]
短辺をとじ位置として、両面にプリントします。

● 原稿サイズ

原稿データの用紙サイズと向きを設定します。
以下から選択してください。

[A3W] ／ [A3] ／ [A4] ／ [A5] ／ [A6] ／ [B4] ／ [B5] ／ [B6] ／ [ハガキ] ／ [角 0] ／ [角 1] ／ [角 2] ／ [角 3] ／ [長 3] ／ [長 4] ／ [Foolscap] ／ [Tabloid] ／ [Legal] ／ [Letter] ／ [Statement] ／ [custom]

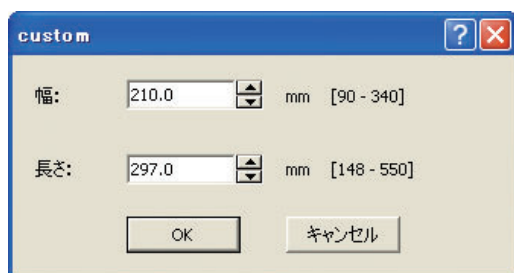
原稿の向き
[縦] ／ [横]

封筒は、オプションの排紙台を接続してプリントすることをお勧めします。

- リストには、[環境] タブの [用紙サイズ登録] で登録されているサイズが表示されます。（p. 1-30「用紙サイズ登録」）
- 「Z 折り混在」をする場合は、大きいほうの原稿の向きを選んでください。（A4 原稿が縦で A3 原稿が横の場合は、「横」を選択）

■ 不定形サイズの原稿の設定

原稿が不定形サイズの場合には、[custom] を選択します。

1 [原稿サイズ] で [custom] を選択する

[custom] ダイアログボックスが表示されます。

2 原稿サイズを入力する

幅は 90mm ～ 340mm、
長さは 148mm ～ 550mm の範囲で入力してください。

3 [OK] をクリックする

・ 設定を中止するときは、[キャンセル] をクリックしてください。

ここで入力したサイズは、設定時のみ有効です。よく使う原稿サイズは、あらかじめ登録しておくと便利です。（p. 1-30「用紙サイズ登録」）

● 原稿サイズ混在

原稿データに複数の原稿サイズが混在する場合に設定します。
チェックマークをつけると、原稿サイズに合った用紙トレイが自動的に選択されます。

- [原稿サイズ混在] と [面付け] は併用できません。（p. 1-12「面付け」）
- [原稿サイズ混在] を選択しているときは、ステープル・パンチ・オフセット排紙機能は設定できません。

- [原稿サイズ混在] は「Z 折り」と併用することができます。その場合、混在させられるサイズは「A3 と A4 横」、「B4 と B5 横」です。
- 両面印刷と併用した場合、1 枚の用紙の表裏になる原稿サイズが同じときのみ、両面印刷になります。（サイズが異なるときは、裏面が空白ページになります）

● ズーム指定

原稿データの拡大／縮小率を設定します。

［ズーム指定］にチェックマークをつけて、拡大／縮小率を 50% ～ 200% の範囲で入力します。
［ズーム指定］を選択しない場合は、［原稿サイズ］と［出力用紙サイズ］から、自動的に拡大／縮小率が設定されます。

● 出力用紙サイズ

プリントする用紙のサイズを設定します。
以下から選択してください。

[A3W] ／ [A3] ／ [A4] ／ [A5] ／ [A6] ／ [B4] ／ [B5] ／ [B6] ／ [ハガキ] ／ [角 0] ／ [角 1] ／ [角 2] ／ [角 3] ／ [長 3] ／ [長 4] ／ [Foolscap] ／ [Tabloid] ／ [Legal] ／ [Letter] ／ [Statement] ／ [custom] ／ [原稿サイズと同じ]

封筒は、オプションの排紙台を接続してプリントすることをお勧めします。

リストには、［環境］タブの［用紙サイズ登録］で登録されているサイズが表示されます。(p. 1-30「用紙サイズ登録」)

■ 不定形サイズの用紙の設定

用紙が不定形サイズの場合には、［custom］を選択します。

1 ［出力用紙サイズ］で［custom］を選択する

［custom］ダイアログボックスが表示されます。

2 用紙サイズを入力する

幅は 90mm ～ 340mm、
長さは 148mm ～ 550mm の範囲で入力してください。

3 ［OK］をクリックする

- 設定を中止するときは、［キャンセル］をクリックしてください。

ここで入力したサイズは、設定時のみ有効です。よく使う用紙サイズはあらかじめ登録しておくと、便利です。(p. 1-30「用紙サイズ登録」)

● 給紙トレイ選択

プリントに使用する給紙トレイを設定します。

［オート］
［用紙種類］と［出力用紙サイズ］での設定内容により、用紙トレイが自動で選択されます。

［トレイ 1］～［トレイ 3］
トレイにセットした用紙にプリントされます。

［給紙台］
給紙台にセットした用紙にプリントされます。

［オート］が選択されていて、「出力用紙サイズ」と「用紙種類」の設定と合った用紙がセットされていない場合（またはセットされているが［オート対象外］の場合）は、エラーになり、プリントされません。「用紙種類」の［指定しない］（p. 1-10）を参照してください。

プリンターの用紙トレイにセットされている用紙サイズ・種類は、RISO コンソールをパソコンから操作して確認することができます。(p. 5-4「RISO コンソール」の「［一般情報］画面」)

● 用紙種類

用紙の種類を選択します。
プリント時に、選択した用紙種類に適したインク量の調整や画像処理が行われます。

[指定しない]
「出力用紙サイズ」の設定内容によって、トレイを選択します。対応するトレイの用紙種類、または「環境」タブの［用紙種類「指定しない」の初期値］の設定になります。

[普通紙]

[IJ 用紙] ／ [IJ マット用紙]
理想用紙 IJ（または同等用紙）を使用している場合に選択してください。

[高品位紙]

[IJ ハガキ]

本プリンターは、用紙種類により最適なカラープロファイルを選択しています。実際にセットされている用紙とプリンターの用紙設定が適合していないと、適正な色バランスでプリントできません。

カラープロファイルとは

モニターなどのディスプレイでは、色は「光の三原色（RGB ／赤・緑・青）」で表現されますが、インクでプリントする場合は「色の三原色（CMY ／シアン・マゼンタ・イエロー）」で表現されます。
一般に、パソコンのモニター画面で色を表現する RGB よりも、紙に色を表現する CMY のほうが色数が少なくなるため、モニターで見たままの色をプリントすることはできません。そこで、なるべく同じ色や自然な色味を再現できるように、RGB から CMY に変換するときに工夫が必要になります。
この変換の仕組みを「カラーマネージメント」といい、その変換表を「カラープロファイル」といいます。
プリンターのカラーマネージメントでは、原稿モードと使用する用紙の組み合わせに応じて、最適なカラーが表現できるよう、何種類かのカラープロファイルを自動で選択しています。

・本プリンターは、Monotype Imaging 社からライセンスされている ColorSet™ 技術により、生成および編集したカラープロファイルを使用しています。

● 出力方法と保存先

パソコンから送ったデータをプリントするか、プリンターのボックスへ保存するかを設定します。

[プリント]
プリントします。

[プリント＆ボックス保存]
プリントして、原稿データをボックスに保存します。

[ボックス保存]
原稿データをボックスに保存します。

ご使用の環境によっては、ボックス機能が使えない場合があります。

- ボックス保存したデータは、「プリンターモード」の［ボックス］画面（p. 4-9）や、「RISO コンソール」の［ボックス］画面（p. 5-11）からプリントできます。
- ボックスに保存されるデータには、パソコンのユーザー名が「オーナー名」として付加されます。

■ 保存先ボックスの設定

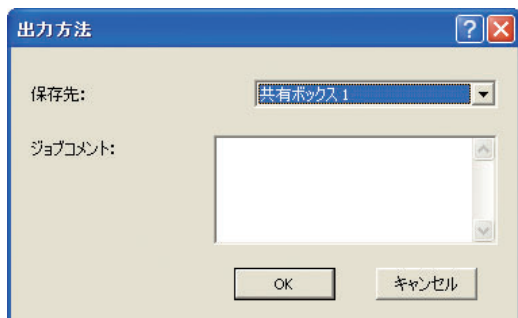
［保存先］には、［環境］タブの［保存先ボックス登録］で登録したボックスが表示されます。（p. 1-29「［環境］タブ」）

1 **［出力方法］で［プリント＆ボックス保存］または［ボックス保存］を選択する**

2 **［詳細設定］をクリックする**

［出力方法］ダイアログボックスが表示されます。

3 [保存先] のプルダウンメニューから原稿データの保存先を選択する

- [保存先] には、使用可能なボックスが表示されます。
- [ジョブコメント] には、プリンターユーザーへのコメントを全角／半角とも 128 文字以内で入力できます。
- ジョブコメントは、タッチパネルや RISO コンソールからの操作で表示できます。

4 [OK] をクリックする

設定したボックス名が [保存先] に表示されます。

- 設定を中止するときは、[キャンセル] をクリックしてください。

● 設定登録／呼出

プリンタドライバ画面での、現在の設定値を登録して、必要なときに呼び出すことができます。
登録できるのは 10 件までです。

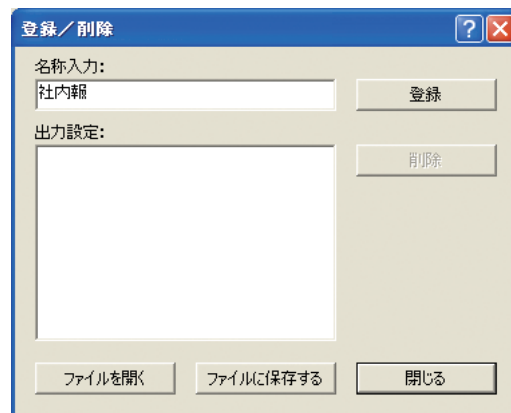
■ 設定の登録

1 プリンタドライバ画面で必要な設定をする

2 設定登録／呼出の [登録／削除] をクリックする

[登録／削除] ダイアログボックスが表示されます。

3 名称を入力する

- 全角／半角 10 文字以内で入力してください。

4 [登録] をクリックする

設定が保存されて [出力設定] に表示されます。

5 [閉じる] をクリックする

■ 設定の呼び出し

1 [設定登録／呼出] のプルダウンメニューから、必要な設定を選択する

選択した設定が、プリンタドライバの出力設定になります。

■ 設定の削除

1 [設定登録／呼出] の [登録／削除] をクリックする

[登録／削除] ダイアログボックスが表示されます。

2 [出力設定] から削除する設定を選択する

3 [削除] をクリックする

4 [閉じる] をクリックする

■ パソコンへの保存

登録した設定を、パソコンに保存できます。
設定を複数のユーザーで共有するときや、プリンタドライバをインストールし直すときなどは、いったんパソコンに保存しておくと便利です。

1 **[設定登録／呼出]の[登録／削除]をクリックする**

[登録／削除]ダイアログボックスが表示されます。

2 **[出力設定]から保存する設定を選択する**

3 **[ファイルに保存する]をクリックする**

[名前を付けて保存]ダイアログボックスが表示されます。

4 **保存先のフォルダとファイル名を指定する**

5 **[保存]をクリックする**

選択した設定が、保存されます。

■ パソコンからの読み込み

パソコンに保存されている設定を呼び出して、利用することができます。

1 **[設定登録／呼出]の[登録／削除]をクリックする**

[登録／削除]ダイアログボックスが表示されます。

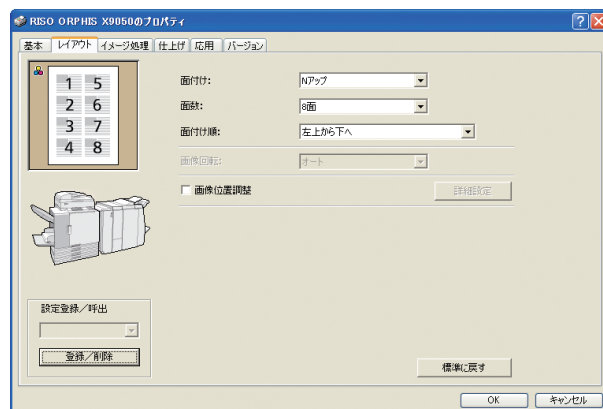
2 **[ファイルを開く]をクリックする**

[ファイルを開く]ダイアログボックスが表示されます。

3 **パソコン内のファイルを選択する**

4 **[開く]をクリックする**

[登録／削除]ダイアログボックスの出力設定リストに、読み込んだ設定が表示されます。

[レイアウト]タブ

● 面付け

1 枚の用紙に、複数ページの原稿を面付けしてプリントします。設定する内容は、面付けの種類によって異なります。

[OFF]
面付けをしません。

[N アップ]
1 枚の用紙に、連続する複数のページをページ順に並べてプリントします。面数、面付け順を選択します。

[連写]
1 枚の用紙に、同じページを複数枚並べてプリントします。面数を選択します。

[小冊子]
連続する複数のページを、両面印刷後に中とじ冊子になるように面付けしてプリントします。面付け順を選択します。

「面付け」と「原稿サイズ混在」は併用できません。（p. 1-8「原稿サイズ混在」）

■N アップの設定

● 面数

1 枚の用紙に割り付ける面数を選択します。

[2 面] ／ [4 面] ／ [8 面]

● 面付け順

面付けの順序を設定します。

・ [2 面] の場合

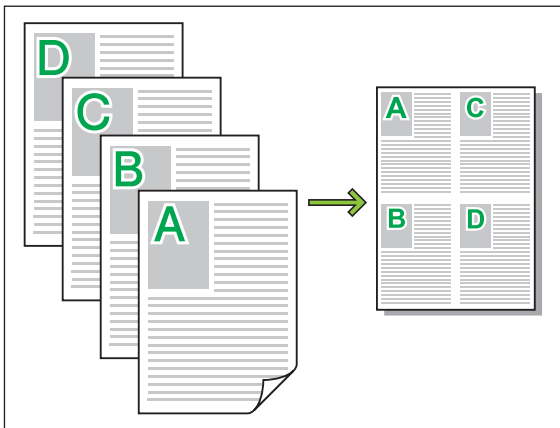
[左から右へ（上から下へ)]

[右から左へ（下から上へ)]

・ [4 面] または [8 面] の場合

[左上から横へ] ／ [右上から横へ] ／

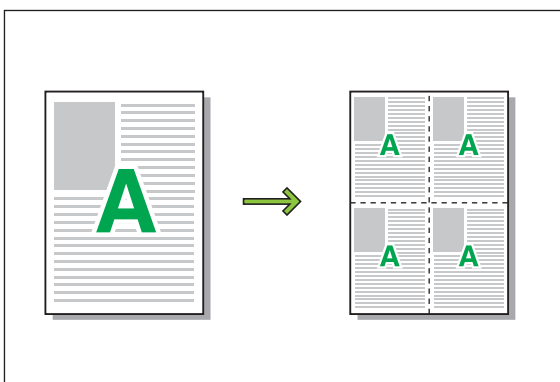
[左上から下へ] ／ [右上から下へ]

例：「面数」を [4 面]「面付け順」を [左上から下へ] にした場合

■連写の設定

● 面数

1 枚の用紙に割り付ける面数を選択します。

[2 面] ／ [4 面] ／ [8 面]

例：「面数」を [4 面／枚] にした場合

■小冊子の設定

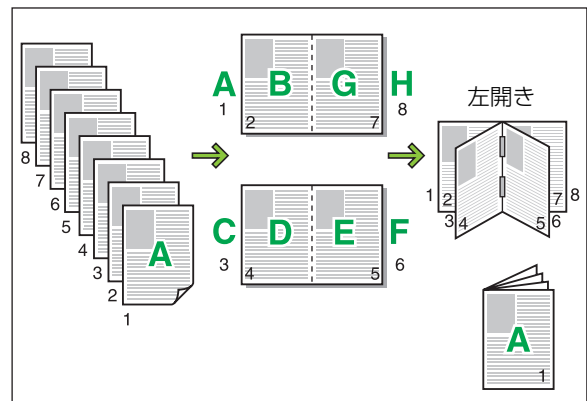
● 面付け順

面付けの順序を設定します。

・ 原稿サイズが [縦] の場合

[左開き] ／ [右開き]

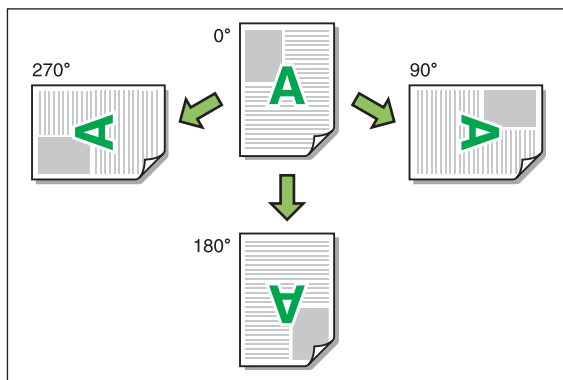
・ 原稿サイズが [横] の場合

[上下開き]

● 「小冊子」と「ステープル」、「パンチ」は併用できません。(p. 1-21「ステープル」、p. 1-22「パンチ」)

● 小冊子製本（折り／中とじステープル）をする場合は、[仕上げ] タブで設定してください。

● 画像回転

プリントの向きを設定します。
以下から選択してください。

［オート］／［0 度］／［90 度］／［180 度］／［270 度］

［オート］を選択したときは、原稿データの向きと給紙トレイにセットされている用紙の向きから、自動的にプリントする向きが設定されます。通常は［オート］を選択します。

- 封筒など、用紙の通紙方向が決まっているものに、プリントの向きを合わせる場合に回転角度を設定します。
- 原稿サイズやトレイにセットされている用紙のサイズ、向き、オプションの RISO フィニッシャーの設定によっては、［オート］以外が選択できない場合があります。

● 画像位置調整

プリントの位置を、上下左右方向に± 20mm まで調整できます。両面にプリントする場合は、表面と裏面を別々に調整します。

［画像位置調整］にチェックマークをつけ、［詳細設定］ボタンをクリックすると、［画像位置調整］ダイアログボックスが表示されます。
調整する面にチェックマークをつけ、入力ボックスに、数値を入力してください。

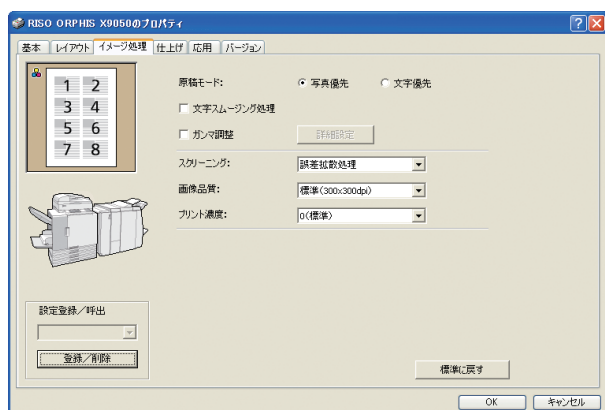
［オモテ面］
オモテ面の位置を調整します。

［ウラ面］
ウラ面の位置を調整します。

［原点に戻す］をクリックすると、すべての値が 0 に戻ります。

● 設定登録／呼出

プリンタドライバ画面での現在の設定値を登録して、必要なときに呼び出すことができます。
詳しくは［基本］タブの「設定登録／呼出」（p. 1-11）を参照してください。

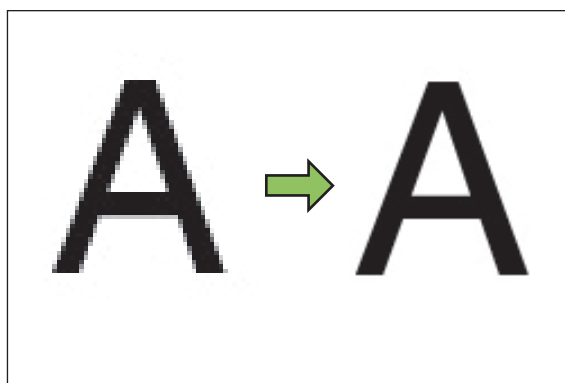
［イメージ処理］タブ

● 原稿モード

文字と写真のどちらの品質を優先してプリントするかを選択します。

［写真優先］
写真画像などを、より自然な色合いに処理します。

［文字優先］
文字、イラストなどを、くっきりと表現するように処理します。

● 文字スムージング処理

文字や画像の輪郭部分に描画色と背景色の中間色を補完して、輪郭をなめらかにします。
処理を有効にする場合は、［文字スムージング処理］にチェックマークをつけてください。

（イメージ図）

文字スムージング処理をすると、プリント速度は遅くなります。

● ガンマ調整

明度、彩度、コントラストおよび RGB のガンマ値を調整します。

［ガンマ調整］にチェックマークをつけ、［詳細設定］ボタンをクリックすると、［ガンマ調整］ダイアログボックスが表示されます。それぞれ、－ 25 ～＋ 25 の範囲で入力してください。

● 明度
値を小さくすると暗い色合いに（黒っぽく）、大きくすると明るい色合いに（白っぽく）なります。

● 彩度
値を小さくすると濁った色合いに、大きくすると鮮やかな色合いになります。

● コントラスト（明るさと暗さの対比）
値を小さくするとコントラストが弱く、大きくするとコントラストが強くなります。

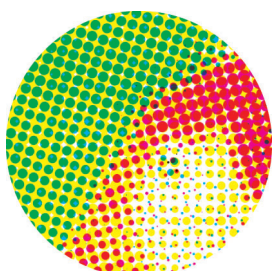
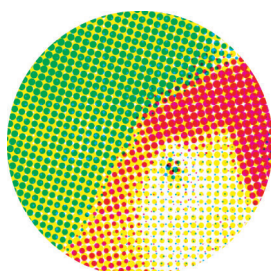
● レッド、グリーン、ブルー
各色のガンマ値を調整します。
値を小さくすると色合いが弱く、大きくすると色合いが強くなります。

スクリーニング

ハーフトーンの処理方法を設定します。

ハーフトーンとは、用紙に吐出されるインクの点の密度や大きさを変えることによって、限られたインク数で色の連続的な階調を表現する処理方法です。

[誤差拡散処理]
ドットの密度で階調を表現します。密度が高ければ濃くなり、低ければ薄くなります。

[網点処理（70 線）］／［網点処理（100 線）]
ドットの大きさを変えることで階調を表現します。ドットが大きければ濃くなり、小さければ薄くなります。100 線の方が、精細な画像になります。

70 線　　100 線

（拡大イメージ図）

画像品質

画像の解像度を設定します。

[標準（300 × 300dpi）]
書類などの文字原稿に適した設定です。

[高精細（300 × 600dpi）]
写真などの原稿に適した設定です。

高精細に設定すると、プリント速度は遅くなります。

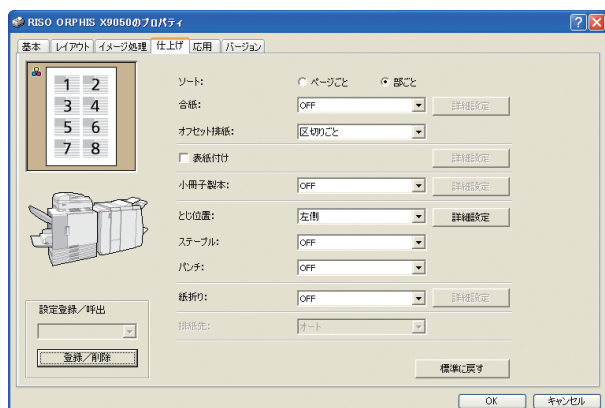
プリント濃度

プリントの濃度を設定します。
以下から選択してください。

[− 2]（薄い）／［− 1］／［0（標準）］／［+ 1］／［+ 2]（濃い）

設定登録／呼出

プリンタドライバ画面での現在の設定値を登録して、必要なときに呼び出すことができます。詳しくは［基本］タブの「設定登録／呼出」（p. 1-11）を参照してください。

[仕上げ] タブ

● ソート

複数部数をプリントするときの排紙方法を設定します。
以下から選択してください。

[ページごと] ／ [部ごと]

- [ページごと] を設定した場合、以下の機能は設定できません。
  - ・「ステープル」(p. 1-21)
  - ・「面付け」の「小冊子」(p. 1-12)
  - ・「小冊子製本」(p. 1-18)
- [部ごと] を選択する場合は、アプリケーションソフトの「印刷」画面にある [部単位でプリント] のチェックマークをはずしてください。チェックマークがついていると正しくプリントできない場合があります。

● 合紙

複数部数をプリントする場合に、プリントの単位ごとに合紙を入れます。合紙には、数字やアルファベットを印字したりできます。

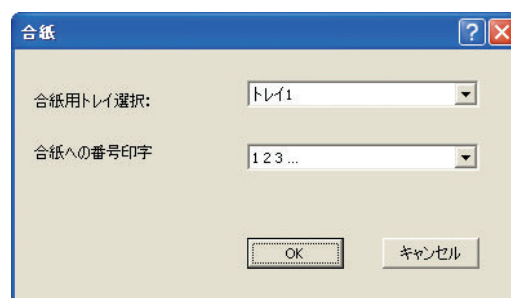
合紙を入れる単位を選択して［詳細設定］をクリックすると、［合紙］ダイアログボックスが表示されます。
合紙用トレイ選択と、印字設定をしてください。

[OFF]
合紙の設定をしません。
[区切りごと]
［ソート］で指定した単位ごとに合紙を入れます。
[ジョブごと]
プリントするジョブごとに合紙を入れます。

■ 合紙用トレイ選択

[給紙台] ／ [トレイ 1] ／ [トレイ 2] ／ [トレイ 3]

■ 合紙への番号印字

印字位置は、用紙搬送方向後端（5mm 程度内側）／センターです。
[OFF]
印字をしません。
[1、2、3 ...]
合紙を入れる順に、1、2、3、～と印字されます。(9999 まで)
[A、B、C ...]
合紙を入れる順に、A、B、C、～、Z、AB、AC、～と印字されます。(ZZZ まで)

次の設定をしている場合、合紙は設定できません。
- ・「小冊子製本」の [二つ折り]、[二つ折り＋ステープル] (p. 1-18)
- ・「表紙付け」(p. 1-18)

オフセット排紙

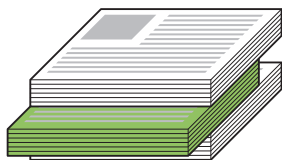
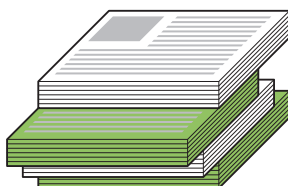
複数部数をプリントする場合に、プリントの単位ごとに排紙位置をずらします。

[OFF]
オフセット排紙の設定をしません。

[区切りごと]
[ソート] で指定した単位ごとに、排紙位置をずらします。

[ジョブごと]
プリントするジョブごとに、排紙位置をずらします。

- 「オフセット排紙」には、オプションの RISO フィニッシャーまたはRISOオフセット排紙トレイが必要です。
- [区切りごと] [ジョブごと] を設定した場合、以下の機能は設定できません。
  - ・「小冊子製本」(p. 1-18)
  - ・紙折りの「二つ折り」「内三つ折り」「外三つ折り」(p. 1-22)
  - ・「合紙」(p. 1-17)
  - ・「プログラム印刷」(p. 1-25)
    プログラム印刷を設定する場合は、詳細設定の中に [プログラムオフセット排紙] の設定があります。
- RISO オフセット排紙トレイおよびスタックトレイに排紙できない用紙サイズでは、設定できません。(p. 2-42「コピー」の「オフセット排紙を設定する」)

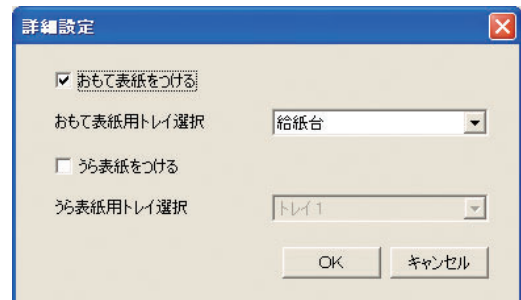
通常は 2 段オフセット、「ステープル」が併用されている場合は 3 段オフセットになります。

表紙付け

表紙、裏表紙をつける設定をします。
プリントするデータの前後に、指定したトレイから用紙を追加します。色紙など、本文とは異なる用紙を表紙に使う場合に設定します。

[表紙付け] にチェックマークをつけ、[詳細設定] をクリックすると、[詳細設定] ダイアログボックスが表示されます。[おもて表紙をつける] または [うら表紙をつける] にチェックマークをつけ、表紙用トレイを選択してください。

[おもて表紙をつける]
1 ページ目の前に表紙用紙を挿入します。

[うら表紙をつける]
最終ページの後に表紙用紙を挿入します。

[おもて表紙用トレイ選択] ／
[うら表紙用トレイ選択]
[給紙台] ／ [トレイ 1] ／ [トレイ 2] ／ [トレイ 3]

- 表紙として使用する紙を、実際にセットしたトレイを指定してください。
- 印刷済みの用紙をセットする場合、本文と向きが合うように、1 部プリントして確認することをお勧めします。

小冊子製本

連続する複数のページを両面印刷し、用紙を二つ折りにした小冊子を作成します。ステープルでの中とじもできます。

小冊子製本の方法を選択し、[詳細設定] をクリックすると、[詳細設定] ダイアログボックスが表示されます。
分冊処理、中とじしろ、表紙別プリントの設定をしてください。

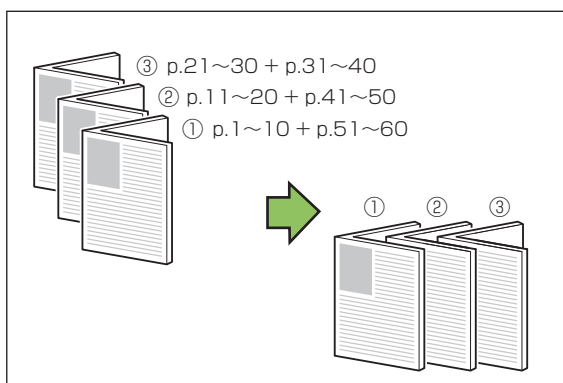
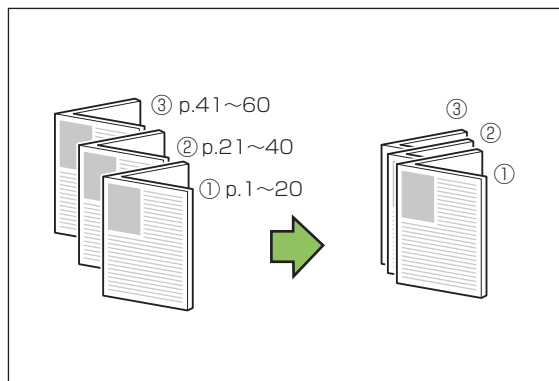
「小冊子製本」には、オプションの RISO フィニッシャー M が必要です。

[OFF]
小冊子製本の設定をしません。
[折り]
印刷用紙を二つ折りにします。
[折り+ステープル]
印刷用紙を二つ折りにして、ステープルで中とじします。

「小冊子製本」を、[折り]または[折り+ステープル]にすると[面付け]の「小冊子」が連動して ON になります。

■分冊処理

[折り][折り + ステープル]を選択した場合、1 回に折れる枚数に制限があります。
[折り]の場合は 5 枚(20 ページ)、[折り + ステープル]の場合は 15 枚(60 ページ)です。
この枚数を超えるページ数がある場合は、上記枚数ごとに 1 回折って排出します(分冊されます)。
その場合、分冊された束を「中とじ」するのか、「平とじ」するのかによって、面付け方法が異なるため、[OFF][ON]どちらかを選択してください。
[OFF]
分冊を開いた状態で重ねてとじる(中とじする)と、1 冊になるように面付けされます。
OFF を選択すると、[折り + ステープル]を選択した場合でも、ステープルしません。
[ON]
分冊を折ったまま重ねてとじる(平とじする)と、1 冊になるように面付けされます。

例:60 ページ 設定が「折り」 分冊処理「OFF」の場合

例:60 ページ 設定が「折り」 分冊処理「ON」の場合

■中とじしろ

中とじしろの幅を設定します。[中とじしろをつける]にチェックマークをつけ、[とじしろ幅]を 0mm ~ 50mm の範囲(1mm 単位)で設定します。
[自動縮小する]にチェックマークをつけると、とじしろ幅を設けたためにプリント面が用紙に入りきらない場合に、用紙に収まるように自動的に縮小します。

■表紙別プリント

表紙のページ(原稿の先頭の 2 ページと最後の 2 ページ)だけを別にプリントします。表紙と本文を、別の用紙でプリントする場合などに便利です。
[OFF]
表紙別プリントの設定をしません。
[表紙のみプリント]
表紙ページだけがプリントされます。
[表紙以外を指示待ちにする]
表紙を印刷後、続けて本文を印刷する場合、[表紙以外を指示待ちにする]にチェックを付けておくと、プリンターの操作パネルから印刷指示ができます。この場合、表紙をセットするトレイを指定してください。
[表紙以外をプリント]
表紙以外のページが小冊子としてプリントされます。

●使用例

1 [表紙のみプリント]を選択して[表紙以外を指示待ちにする]をチェックする

2 [表紙用トレイ]でトレイを選択する

後で本文をプリントする際に、印刷済みの表紙をセットするトレイを指定しておきます。

3 印刷指示をする

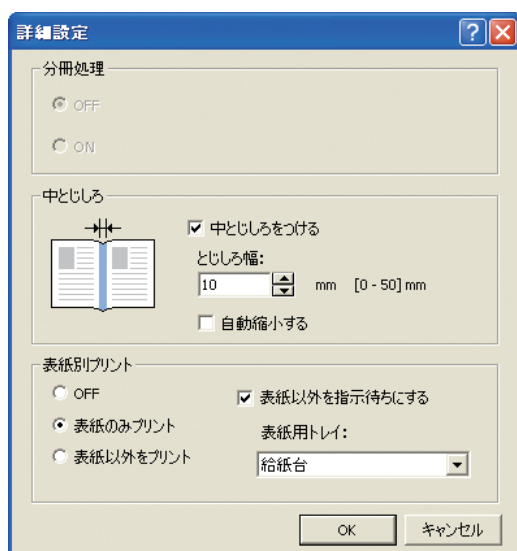
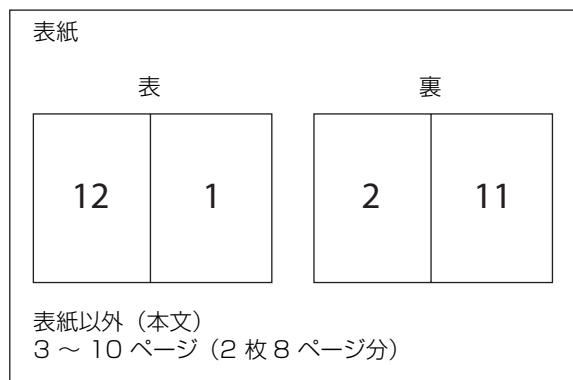
プリンターは、表紙だけを印刷し、表紙以外のデータは「指示待ち」状態になります。

4 印刷された表紙を、「表紙用トレイ」で指定したトレイにセットする

5 プリンターの操作パネルで、[プリンターモード］で［指示待ち］を押し、リストからジョブを選択する

6 ［プリント］を押す

本文がプリントされ、表紙と合わせて小冊子製本されます。

例：12 ページのデータを表紙別プリントにする場合

● とじ位置

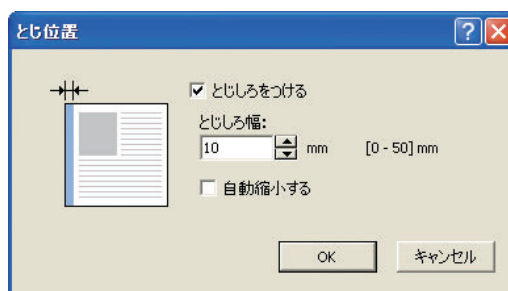
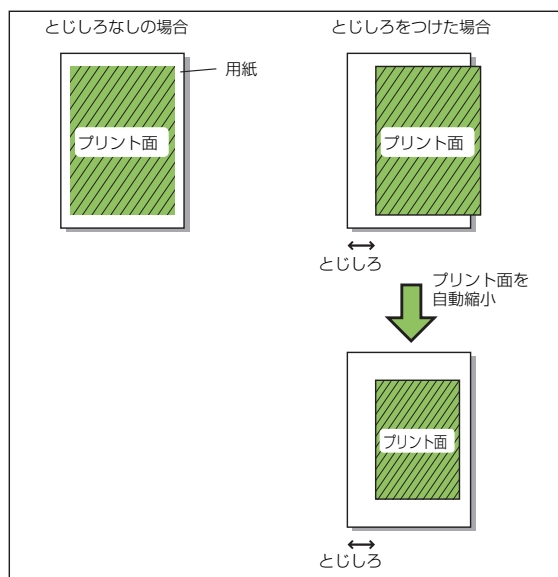
ステープルやパンチをする位置と、とじしろを設定します。

とじ位置を選択し、［詳細設定］をクリックすると［とじ位置］ダイアログボックスが表示されます。

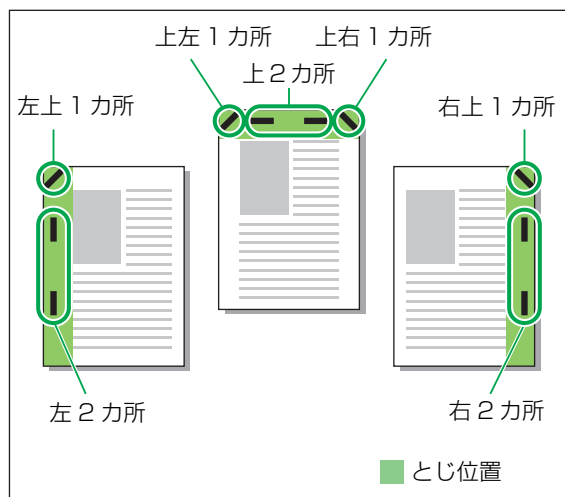
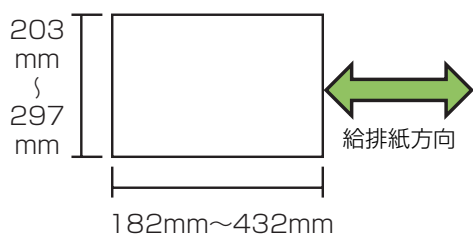
［左側］ ／ ［右側］ ／ ［上側］

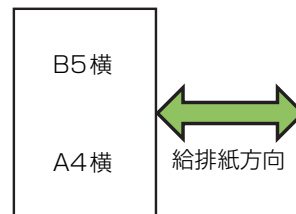
■とじしろ

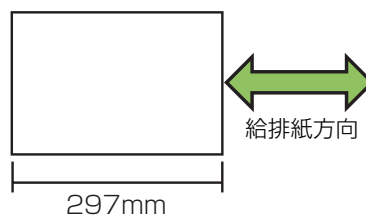
［とじしろをつける］にチェックマークをつけ、とじしろ幅を 0mm ～ 50mm の範囲（1mm 単位）で設定します。

［自動縮小する］にチェックマークをつけると、とじしろ幅を設けたためにプリント面が用紙に入りきらない場合に、用紙に収まるように自動的に縮小します。

● ステープル

ステープルする位置を設定します。

- とじ位置を［左側］または［右側］に設定している場合は、以下から選択してください。
  ［OFF］／［1 カ所］／［2 カ所］
- とじ位置を［上側］に設定している場合は、以下から選択してください。
  ［OFF］／［左 1 カ所］／［右 1 カ所］／［2 カ所］

<ステープルできる用紙>
・ステープルできる用紙サイズとセット向き
A3 ／ B4 ／ A4 ／ A4 横 ／ B5 横 ／
Foolscap ／ 不定形*
＊ あらかじめ、管理者が用紙サイズを登録する必要があります。管理者にお問い合わせください。

・**用紙の重さ：52g/m^2 ～ 162g/m^2**
162g/m^2 を超える場合は、表紙として 1 枚のみステープル可能です。

・A4 横／ B5 横にステープルする場合のセット向き

<ステープルできる枚数>
・定形用紙の場合
A4、A4 横、B5 横：2 ～ 100 枚*
上記以外の定形用紙：2 ～ 65 枚*
（A3、B4）

・不定形用紙の場合
用紙の長さが 297mm を超える場合：2～65 枚
用紙幅、用紙の長さが共に 216mm を超える場合：2 ～ 65 枚
上記以外の不定形用紙：2 ～ 100 枚

＊ 理想用紙 IJ の場合

- 「ステープル」には、オプションの RISO フィニッシャーが必要です。
- 「ステープル」を設定した場合は、必ず［とじ位置］の設定をしてください。
- 「ステープル」と「小冊子製本」は併用できません。（p. 1-18「小冊子製本」）

最大ステープル枚数を超えるジョブをプリントすると、ステープルされずにスタックトレイに排紙されます。

● パンチ

パンチの穴数を設定します。
［とじ位置］で設定した位置にパンチします。
以下から選択してください。
［OFF］／［2 穴］／［4 穴］

<パンチできる用紙>
・パンチできる用紙サイズとセット向き
2 穴：A3、B4、A4、A4 横 、B5 横
4 穴：A3、A4 横
・**用紙の重さ：52g/m^2 ～ 200g/m^2**

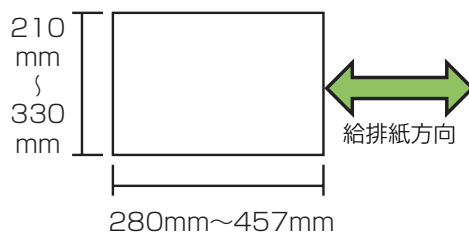
- 「パンチ」には、オプションの RISO フィニッシャーが必要です。
- 「パンチ」と「小冊子製本」は併用できません。（p. 1-18「小冊子製本」）

● 紙折り

二つ折りや Z 折りなど、紙折りの設定をします。

紙折りの種類を選択し、［詳細設定］をクリックすると、［詳細設定］ダイアログボックスが表示されます。
折り方向やとじ位置の設定をしてください。

- 「二つ折り」には、オプションの RISO フィニッシャー M が必要です。
- 「三つ折り」「Z 折り」には、オプションの紙折りユニット付き RISO フィニッシャーが必要です。

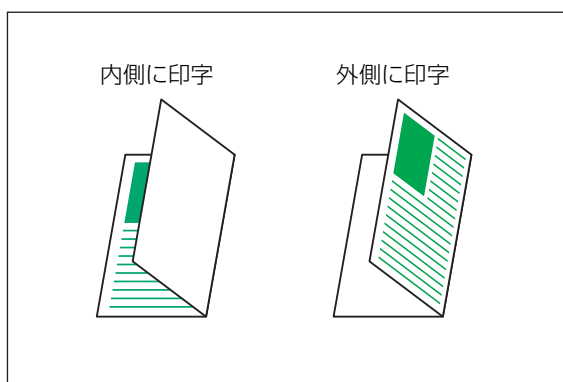
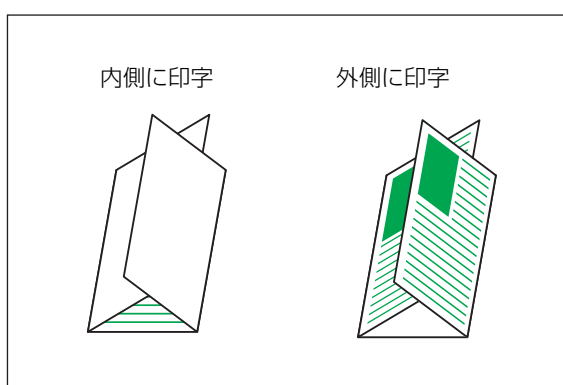
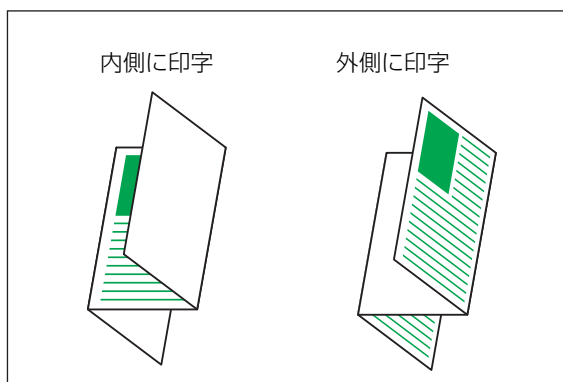
<紙折りできる用紙>
・紙折りできる用紙と折り方向
二つ折り：A3、B4、A4、Foolscap、不定形サイズ*
＊ あらかじめ、管理者が用紙サイズを登録する必要があります。管理者にお問い合わせください。
内三つ折り、外三つ折り：A4
Z 折り：A3、B4

・**用紙の重さ：60g/m^2 ～ 90g/m^2**

［OFF］
紙折りをしません。
［二つ折り］
用紙を 1 枚ずつ二つ折りにします。
［内三つ折り］
用紙を 1 枚ずつ内側に三つ折りにします。
［外三つ折り］
用紙を 1 枚ずつ外側に三つ折りにします。
［Z 折り］
用紙を 1 枚ずつ Z 折りにします。
［Z 折り混在］
Z 折りした用紙と Z 折りしていない用紙を混在させて排紙します。

■折り方向

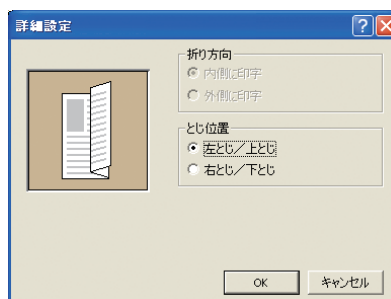
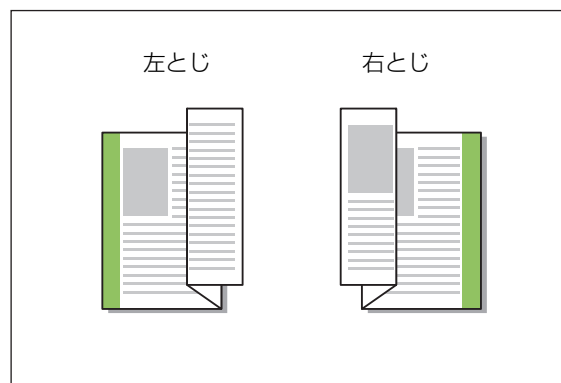
［二つ折り］［内三つ折り］［外三つ折り］を選択した場合、折り方向の印刷面を設定します。
［内側に印字］
印刷面を内側にして用紙を折ります。
［外側に印字］
印刷面を外側にして用紙を折ります。

両面プリント時は 1 ページ目が印刷面になります。

二つ折り

内三つ折り

外三つ折り

■とじ位置

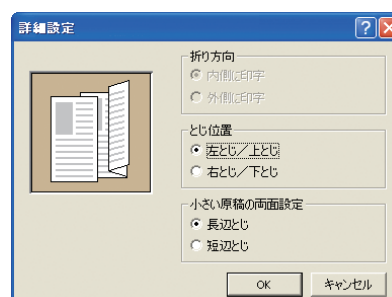
［Z 折り］を選択した場合、用紙のとじ位置を設定します。

［左とじ／上とじ］
用紙の右半面を Z 折りします。

［右とじ／下とじ］
用紙の左半面を Z 折りします。

- Z 折り混在可能な原稿サイズの組み合わせは、「A4 横と A3」「B5 横と B4」のみです。
- 出力用紙サイズには、Z 折りする用紙のサイズを指定してください。
- 両面印刷と併用した場合、1 枚の用紙の表裏になる原稿サイズが同じ場合のみ両面印刷になります。（サイズが異なる場合は、裏面が空白ページになります）

■小さい原稿の両面設定

Z 折りしない用紙のとじ位置を選択します。

［長辺とじ］／［短辺とじ］

排紙先

印刷物を排出するトレイを設定します。
［オート］に設定すると、設定した機能に応じて、自動的に適切なトレイに排紙されます。通常は［オート］を選択してください。

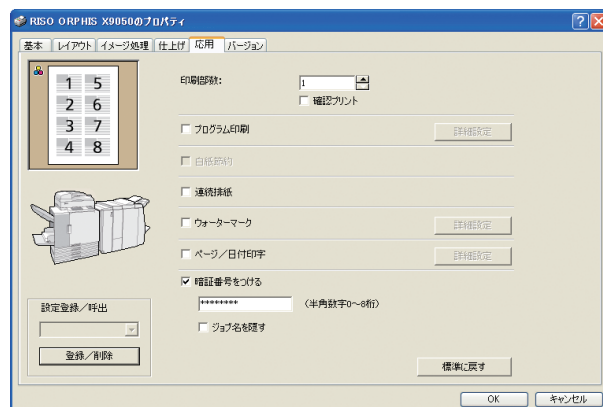
- オプションの排紙台を接続している場合は、以下から選択してください。
  ［オート］／［フェイスダウン排紙トレイ］／［オート排紙台／排紙台 W］
- オプションのRISOフィニッシャーを接続している場合は、以下から選択してください。
  ［オート］／［フェイスダウン排紙トレイ］／［トップトレイ］／［スタックトレイ］

［排紙先］は、排紙オプションが接続されていない場合、表示されません。

「ステープル」、「パンチ」、「紙折り」、「小冊子製本」を設定している場合に［排紙先］で選択できる排紙トレイは、設定内容により異なります。（p. 1-21「ステープル」、p. 1-22「パンチ」、p. 1-22「紙折り」、p. 1-18「小冊子製本」）

設定登録／呼出

プリンタドライバ画面での現在の設定値を登録して、必要なときに呼び出すことができます。詳しくは［基本］タブの「設定登録／呼出」（p. 1-11）を参照してください。

［応用］タブ

印刷部数

プリントする部数（1 ～ 9999）を入力します。

プログラム印刷を設定している場合、印刷部数の入力はできません。

確認プリント

ページ数や枚数の多い原稿をプリントする場合に、最初に（指定枚数以外に）1 ページまたは 1 部だけプリントして止まるので、仕上がりを確認してから、スタートさせることができます。確認後、プリンター側の［スタート］キーを押してプリントを続けます。チェックマークをつけると有効になります。

- ［ソート］で選択しているプリントの単位（ページごとまたは部ごと）に従って、確認プリントが行われます。
- 確認後、プリンターの操作パネルで、設定内容を変更することができます。（p. 4-6「プリンター」の「プリント中に設定を変更する」）

● プログラム印刷

異なる部数を多数のグループに配布する場合に、便利な機能です。最大60グループまで設定できます。

［プログラム印刷］にチェックマークをつけ、［詳細設定］ボタンをクリックすると、［プログラム印刷］ダイアログボックスが表示されます。各グループの部数や組数を設定します。

■ 部数と組数の入力

１グループに最大で9999枚、99組を設定できます。たとえばオフィスで 4 つの部署に書類を配布する場合、プログラム印刷を使えば、１回の操作で部署ごとの枚数に分けてプリントすることができます。

部署	総務１課	総務2課	経理部	業務課
所属人数	10	6	24	6

グループごとに出力するときは、以下のように設定します。

部署	総務１課	総務2課	経理部	業務課
部数×組数	10 × 1	6 × 1	24 × 1	6 × 1

また、総務 2 課と業務課の所属人数は同じですので、以下のように設定しても部署ごとの枚数に分けて出力できます。

グループ	01G（総務１課）	02G（総務 2 課と業務課）	03G（経理部）
部数×組数	10 × 1	6 × 2	24 × 1

■ ソート

ページごとに出力するか、部ごとに出力するかを設定します。

［ページごと］ ／ ［部ごと］

■ プログラム合紙

プリントの区切りがわかるように、合紙を入れます。

［OFF］

合紙をしません。

［組ごと］

組単位の区切りごとに、合紙を入れます。

［グループごと］

グループ単位の区切りごとに、合紙を入れます。

■ 合紙用トレイ選択

［トレイ 1］／［トレイ 2］／［トレイ 3］／［給紙台］

■ 合紙への番号印字

チェックマークをつけると、合紙に番号を印字します。
［組ごと］に設定している場合、グループ番号と組番号が印字されます。
［グループごと］に設定している場合、グループ番号が印字されます。

■ プログラムオフセット排紙

印刷物の区切りがわかるように、排紙位置をずらします。

［OFF］

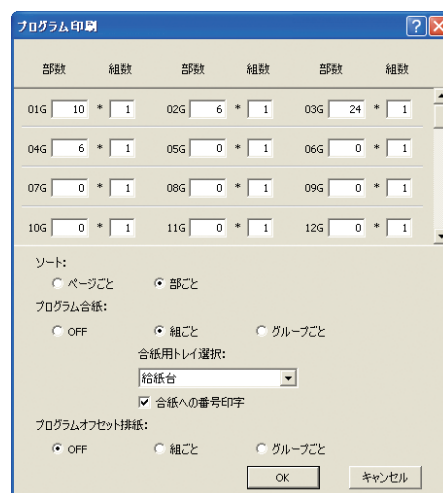
プログラムオフセット排紙を設定しません。

［組ごと］

組単位ごとに排紙位置をずらします。

［グループごと］

グループ単位ごとに排紙位置をずらします。

「プログラムオフセット排紙」には、オプションのRISO フィニッシャーまたは RISO オフセット排紙トレイが必要です。

● 白紙節約

プリントデータ中の白紙ページを除いてプリントします。

ここでの「白紙ページ」とは、通常プリントした場合に、何もプリントされずに排出されるページを指します。本文としてのデータがなくても、ヘッダーやフッターの適用ページであれば、白紙節約の対象にはなりません。

連続排紙

排紙先の紙がいっぱいになったときに、自動的に他の排紙先に切り替えます。［仕上げ］タブの排紙先を［オート］およびソートを［ページごと］に設定しておく必要があります。

「連続排紙」には、オプションの RISO フィニッシャーまたは RISO オートフェンス排紙台が必要です。

ウォーターマーク

印刷物にウォーターマーク（透かし文字）を任意の大きさや位置に追加印刷します。

［ウォーターマーク］にチェックマークをつけ、［詳細設定］をクリックすると、［ウォーターマーク編集］ダイアログボックスが表示されます。文字列リストから文字列を選択し各種設定をしてください。
プレビューには選択内容が、その都度反映されます。

■ 適用ページ

［全ページ］ ／ ［1 ページ目のみ］

■ 文字列

任意の文字列を追加することもできます。
［秘］ ／ ［重要］ ／ ［回覧］ ／ ［参考］ ／ ［至急］ ／ ［複写禁止］

- 文字列の追加
  63 文字以内で任意の文字列を追加できます。
  文字列リストの下の［追加］をクリックし、［追加］ダイアログボックスに文字列を入力してください。
- 文字列の削除
  削除する文字列を文字列リストから選択し、［削除］をクリックしてください。
  初期設定で用意されている文字列（秘／重要／回覧など）は削除できません。

ウォーターマーク文字列を追加、削除するには、ご使用のパソコンのAdministrator権限が必要です。

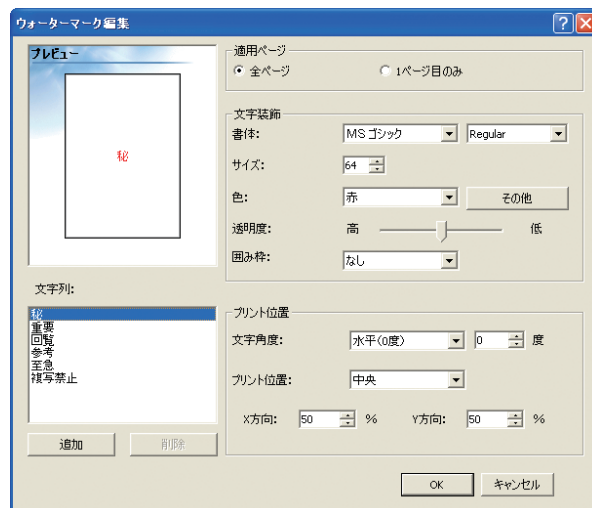
■ 文字装飾

- 書体
  書体とスタイルを選択します。
- サイズ
  文字列のサイズを 1pt ～ 600pt で設定します。
- 色
  文字列の色を設定します。［その他］をクリックすると OS のカラーパレットの色が選択できます。
- 透明度
  文字列の透かし度合いを設定します。透明度を高くすると、ウォーターマーク文字列の背面に、プリントデータが透けて見えます。
- 囲み枠
  ウォーターマークを囲む枠を、選択します。
  ［なし］ ／ ［丸］ ／ ［四角］ ／ ［二重四角］

ORPHIS X7200L では赤や黄色などの暖色系はマゼンタ、青や緑などの寒色系はブラックで印刷されます。

■ プリント位置

- 文字角度
  文字の傾きを選択します。任意の角度を入力して、指定することもできます。
  ［水平（0 度）］ ／ ［垂直（90 度）］ ／ ［垂直（270 度）］ ／ ［斜め（45 度）］ ／ ［斜め（315 度）］ ／ ［custom（0 ～ 360 度）］
- プリント位置
  ウォーターマークをプリントする位置を選択します。X、Y 方向の位置を数値で入力して、指定することもできます。
  ［中央］ ／ ［左上］ ／ ［上中央］ ／ ［右上］ ／ ［右中央］ ／ ［右下］ ／ ［下中央］ ／ ［左下］ ／ ［左中央］ ／ ［custom］

マウスを使用して、プレビュー画面中で位置を調整することもできます。

ページ／日付印字

ヘッダーやフッターに、ページ数や日付を印字します。

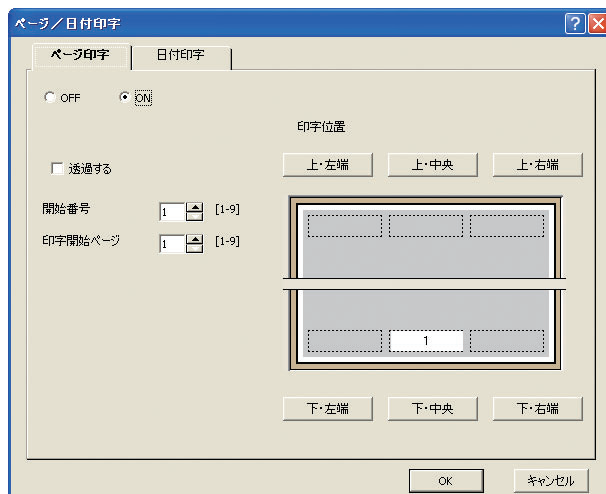
［ページ／日付印字］にチェックマークをつけ、［詳細設定］ボタンをクリックすると、［ページ／日付印字］ダイアログボックスが表示されます。タブ画面を切替えて、それぞれ設定してください。

ページと日付は、同じ位置には印字できません。

- 「面付け」で［N アップ］または［連写］を選択している場合は、1 枚に複数面がプリントされていても、1 枚目に「1」、2 枚目に「2」と印字されます。（p. 1-12「面付け」）
- 「小冊子」と「面付け」、または「小冊子」と「紙折り」と併用した場合は、製本加工後のページごとに印字されます。

■ページ印字

ページ数を印字するには、［ページ印字］タブ画面で［ON］を選択します。

- 印字位置
  以下から選択してください。
  ［上・左端］／［上・中央］／［上・右端］／［下・左端］／［下・中央］／［下・右端］
- 印字の透過
  ［透過する］にチェックマークをつけると、印字領域と画像が重複した場合に、画像の上に印字します。
  ［透過する］のチェックマークをはずすと、印字領域部の画像を消して白いスペースを作り、その中に印字します。
- 開始番号
  印字の開始番号（1 ～ 9）を入力します。
- 印字開始ページ
  印字を開始するページ（1 ～ 9）を入力します。
  表紙にページ印字をしないときは、「印字開始ページ」を「2」（両面印刷時など、場合によっては「3」）にします。

■日付印字

日付を印字するには、［日付印字］タブ画面で［ON］を選択します。

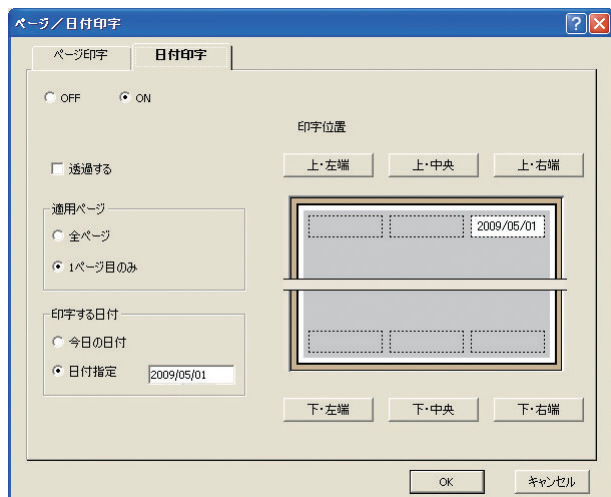
- 印字位置
  ［上・左端］／［上・中央］／［上・右端］／［下・左端］／［下・中央］／［下・右端］
- 印字の透過
  ［透過する］にチェックマークをつけると、印字領域と画像が重複した場合に、画像の上に印字します。
  ［透過する］のチェックマークをはずすと、印字領域部の画像を消して白いスペースを作り、その中に印字します。
- 適用ページ
  ［全ページ］／［1 ページ目のみ］

● 印字する日付

[今日の日付]

パソコンが持っている日時情報をもとに、日付が印字されます。

[日付指定]

テキストボックスに、半角数字 12 文字以内で任意の数字を入力します。

● 暗証番号をつける

他人に見られたくない文書などをプリントする場合に、ジョブに暗証番号を設定することができます。
暗証番号をつけたジョブは、指示待ちになります。プリントするときは、プリンターの操作パネルで暗証番号を入力してください。（p. 4-7「プリンター」の「[指示待ち] 画面」）

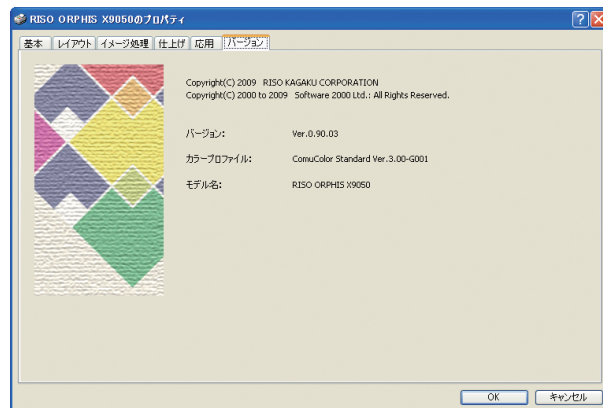
[暗証番号をつける] にチェックマークをつけ、0 ～ 8 桁の暗証番号を入力します。[ジョブ名を隠す] にチェックマークをつけると、プリンターの操作パネルや RISO コンソールではジョブ名が「＊」で表示されます。

暗証番号は忘れないように管理してください。
管理者権限のないユーザーは、暗証番号の不明なジョブをリストから削除することはできません。削除する場合は管理者に依頼してください。

● 設定登録／呼出

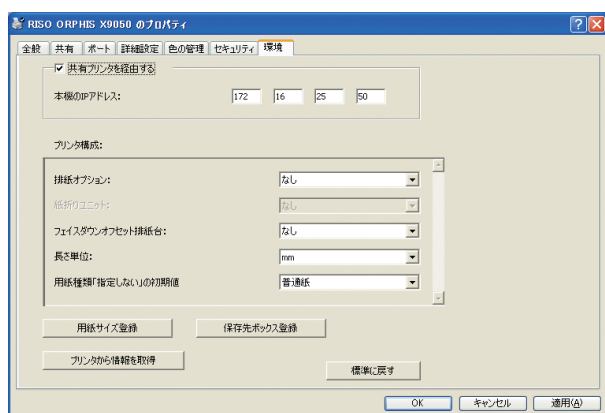
プリンタドライバ画面での現在の設定値を登録して、必要なときに呼び出すことができます。詳しくは [基本] タブの「設定登録／呼出」（p. 1-11）を参照してください。

[バージョン] タブ

プリンタドライバの「バージョン」「カラープロファイル」、プリンタの「モデル名」を確認できます。

環境設定

ここでは、本機に接続されているオプションの構成など、環境の設定について説明しています。
初めてプリンタドライバを使う場合や、本機にオプションを増設した場合には、プリンタ構成を設定してください。

[環境] タブ

[環境] タブは、パソコンの [コントロールパネル] ー [プリンタと FAX] を選択し、ご使用のプリンターの [プロパティ] を開くと表示されます。

[標準に戻す] をクリックすると、このタブの内容を初期値に戻します。

● 共有プリンタを経由する

本機をサーバPCのプリンタドライバを共有して使用する場合に設定します。
チェックマークを付け、[本機の IP アドレス] に入力します。IP アドレスについては、管理者にお問い合わせください。

● プリンタ構成

通常は [プリンタから情報を取得] をクリックし、プリンターから自動でオプション構成の情報を取得します。本機から取得した情報が [プリンタ構成] に表示されます。取得した情報の変更は、手動で設定することもできます。

接続しているオプションにより、画面に表示される内容は異なります。

■ プリンタ構成を自動で設定する

[プリンタから情報を取得] を選択して、[適用] をクリックすると、プリンターからオプションの構成情報が取得され、[プリンタ構成] に表示されます。

■ プリンタ構成を手動で設定する

以下の項目を手動で設定します。

- 排紙オプション
  接続されている排紙オプションの種類を選択します。
- 紙折りユニット
  RISO フィニッシャー接続時に、紙折りユニットの有無を選択します。
- フェイスダウンオフセット排紙台
  RISO オフセット排紙トレイの有無を選択します。
- 長さ単位
  表示される長さの単位を、ミリまたはインチから選択します。
- 用紙種類「指定しない」の初期値
  プリンタドライバ画面の [基本] タブの [用紙種類] で、「指定しない」を選択した場合に適用するカラープロファイルを選択します。

本機は、用紙種類によって、カラープロファイルを変更しています。(p. 1-10「用紙種類」)
用紙を指定しない場合でも、複数のプロファイルのいずれかを選択する必要があります。管理者のアドバイスに従って設定してください。

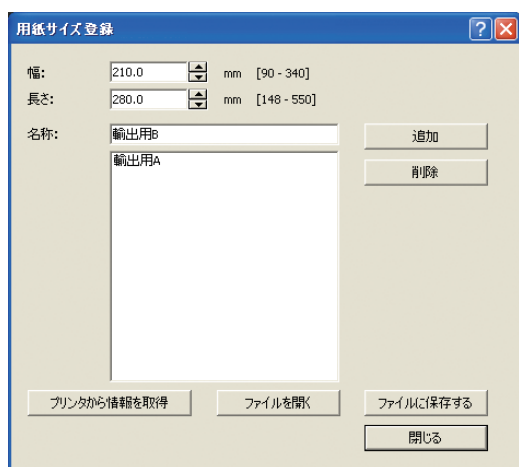
● 用紙サイズ登録

不定形の用紙サイズを 30 件まで登録できます。
ここに登録されているサイズが、[原稿サイズ] や[出力用紙サイズ] に表示されます。

■ 用紙サイズを自動で設定する

すでにプリンターに、用紙サイズが登録されている場合に有効です。

1 [用紙サイズ登録] をクリックする

[用紙サイズ登録] ダイアログボックスが表示されます。

2 [プリンタから情報を取得] をクリックする

プリンターに登録されている用紙サイズの情報が表示されます。

3 [閉じる] をクリックする

用紙サイズの情報が保存されます。

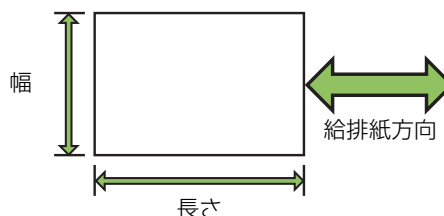
■ 用紙サイズを手動で設定する

1 [用紙サイズ登録] をクリックする

[用紙サイズ登録] ダイアログボックスが表示されます。

2 用紙の幅と長さを入力する

幅は 90mm ～ 340mm、
長さは 148mm ～ 550mm の範囲で入力してください。

・ フィニッシャーを接続している場合は、通紙できるサイズが異なります。(p. 6-7「仕様」の「RISO　フィニッシャー S/RISO　フィニッシャー M（オプション)」)

3 用紙サイズの名称を入力する

32 文字以内（全角、半角とも）で入力してください。

4 [追加] をクリックして登録する

5 [閉じる] をクリックする

用紙サイズの情報が保存されます。

■ 用紙サイズをパソコンに保存する

登録した用紙サイズを、パソコンに保存できます。
登録した用紙サイズを複数のユーザーで共有するときや、プリンタドライバをインストールし直すときなどは、いったんパソコンに保存しておくと便利です。

1. ［用紙サイズ登録］をクリックする
   ［用紙サイズ登録］ダイアログボックスが表示されます。
2. リストボックスから、保存する用紙サイズを選択する
3. ［ファイルに保存する］をクリックする
4. 保存先のフォルダとファイル名を指定する
5. ［保存］をクリックする
   選択した用紙サイズが保存されます。

■ 用紙サイズをパソコンから読み込む

パソコンに保存されている用紙サイズを読み込んで利用できます。

1. ［用紙サイズ登録］をクリックする
   ［用紙サイズ登録］ダイアログボックスが表示されます。
2. ［ファイルを開く］をクリックする
3. パソコン内の用紙サイズのファイルを選択する
4. ［開く］をクリックする
   ［用紙サイズ登録］ダイアログボックスのリストに、読み込んだ用紙サイズが表示されます。

■ 用紙サイズを削除する

1. ［用紙サイズ登録］をクリックする
   ［用紙サイズ登録］ダイアログボックスが表示されます。
2. 用紙サイズ登録ダイアログボックスのリストボックスから、削除する用紙サイズを選択する
3. ［削除］をクリックする
   選択した用紙サイズが、削除されます。

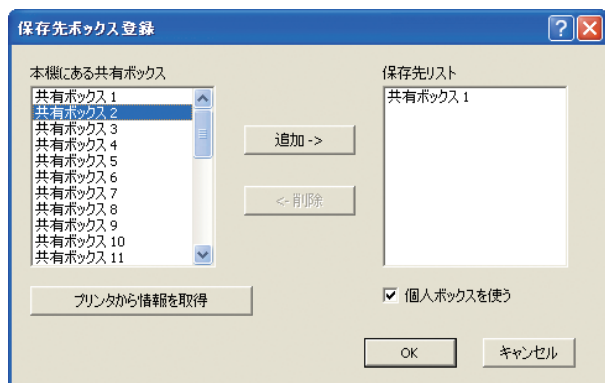
● 保存先ボックス登録

プリンタドライバに、プリントデータの保存先を登録します。ここで登録した共有ボックス、個人ボックスは、プリントデータの保存先として、プリンタドライバ画面の［基本］タブの［出力方法］の保存先に表示されます。（p. 1-10「出力方法と保存先」）

- すでにプリンターに、保存先ボックスが登録されている必要があります。
- プリンターからボックスの情報を取得できない場合は、共有ボックス 1 ～ 30 が表示されます。
- ［個人ボックスを使う］は、プリンターモードにログインが「必要」と管理者が設定している場合に選択できます。

■保存先ボックスを設定する

1 ［保存先ボックス登録］をクリックする

［保存先ボックス登録］ダイアログボックスが表示されます。

2 ［プリンタから情報を取得］をクリックする

プリンターに登録されている共有ボックスの情報が、［本機にある共有ボックス］に表示されます。

3 ［保存先リスト］に追加するボックスを選択して、［追加］をクリックする

4 個人ボックスの設定をする

個人ボックスを持っている場合は、［個人ボックスを使う］にチェックマークをつけてください。

5 ［OK］をクリックする

・ 設定を中止するときは、［キャンセル］をクリックしてください。

コピー

コピー操作の概要

オプションのスキャナーを接続すると、本機はコピー機として使用できます。
スキャナーで読み取ったデータをボックスに保存しておけば、いつでも必要なデータをプリントすることができます。
また、オプションの RISO フィニッシャーを接続すると、小冊子の作成や紙折り、ステープル、パンチといった製本加工ができます。

手順

コピー操作の流れは、次のとおりです。

1　原稿をセットする

2　コピーモードを選択する

3　機能を設定する

4　部数を入力する

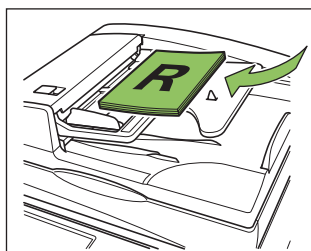
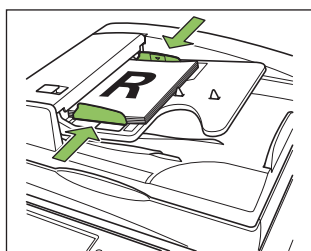
5　[スタート] キーを押す

● 1 原稿をセットする

セットできる原稿については「紙原稿について」（p. 17）を参照してください。

■オートフィーダーの場合

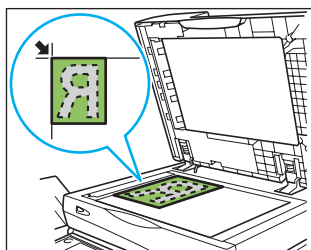
1 原稿をオートフィーダーにセットする

原稿を揃えて、コピーする面を上に向けてください。

2 原稿フェンスをスライドして、原稿に合わせる

■原稿台ガラスの場合

原稿カバーを開いて、原稿をセットします。

1 原稿カバーを開く

2 原稿をセットする

コピーする面を下に向けて、ガラス面左奥の矢印に原稿の隅を合わせます。

3 原稿カバーを閉じる

原稿カバーの開閉は静かに行ってください。

● 2 コピーモードを選択する

1 モード選択画面で、［コピー］を押す

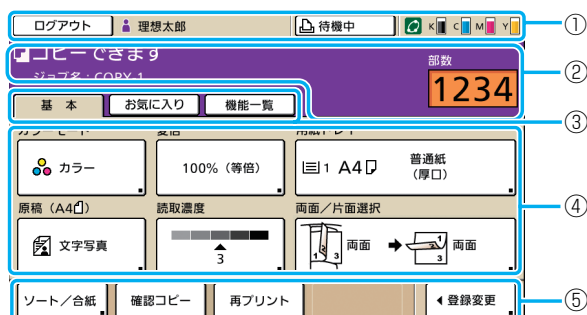
コピーモード画面が表示されます。

- モード選択画面は、モードキーを押すと表示されます。
- コピーモード画面を表示する前に、ログインが必要な場合があります。（p. 29「ログインについて」）
- ログイン中のユーザーにアクセス権のないモードのボタンは、グレーアウトされます。
- オプションの IC カードリーダーをご使用の場合は、カードリーダーに IC カードをかざすとログインできます。
- 表示されるモードボタンは、接続しているオプションにより異なります。

2

● 3 機能を設定する

コピーの仕上がりを設定します。

設定できる機能については、「設定項目一覧」（p. 2-6）を参照してください。

①ステータスバー

ログインボタンまたはログアウトボタン、ユーザー名、本機の状態（プリンタステータスボタン）、インク残量が表示されます。

②メッセージエリア

メッセージ、ジョブ名、部数が表示されます。

③画面切替ボタン

基本画面、お気に入り画面、機能一覧画面を切り替えます。

基本画面では、コピー時の基本的な設定ができます。

お気に入り画面では、よく使う機能ボタンを表示します。

機能一覧画面では、コピー時の各機能の設定ができます。

④機能設定ボタン

ボタンには、現在の設定が表示されています。ボタンを押すと、その機能の設定画面が表示されます。

⑤ POP エリア

よく使う機能ボタンを表示します。

● 4 テンキーで部数を入力する

部数には 9999 まで入力できます。

入力した部数は、画面右上に表示されます。

・ 入力し直すときは、［クリア］キーを押してください。

● 5 ［スタート］キーを押す

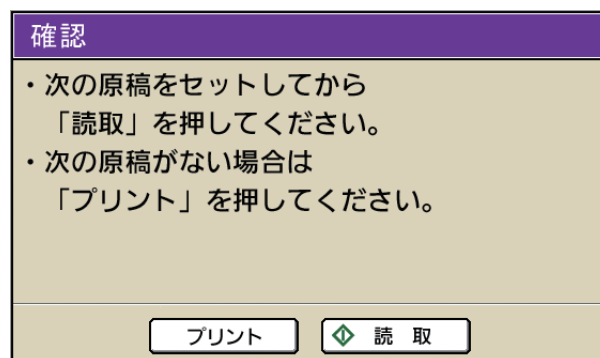
［コピー中］画面が表示され、原稿のコピーが始まります。

コピー枚数など、進捗状況が画面に表示されます。

・ 他のジョブをプリントしているときは、【ジョブを処理中です。自動的にプリント開始します。】というメッセージが表示され、処理終了後にコピーが開始されます。
・ コピーが終了すると、コピーモード画面に戻ります。

［割込み］キーを押すと、処理中のジョブのプリントを一時停止して、割込みコピーをすることができます。

■ 複数ページの原稿を原稿台ガラスで読み取る場合

原稿を 1 枚読み取ると、次の原稿を読み取るかどうかの確認画面が表示される場合があります。
次の原稿をセットし、［読取］を押します。すべての原稿の読み取りが終わったら［プリント］を押します。

■ コピーを予約する

コピー中であっても、原稿の読み取りが終わっていれば、次の原稿の読み取りを始められます。

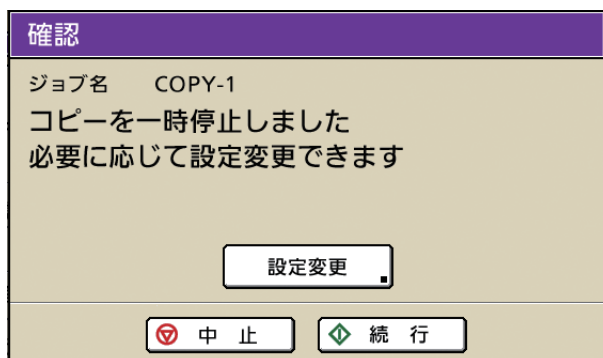
1 ［コピー中］画面で［閉じる］を押す

2 原稿をセットして［スタート］キーを押す

【ジョブを処理中です。自動的にプリント開始します。】というメッセージが表示され、次のジョブとしてコピーされます。

■ コピーを中止する

1 ［ストップ］キーを押す

［確認］画面が表示されます。

2 ［中止］を押す

コピーが中止されます。

- ［続行］を押すと、コピーを続けます。
- ［設定変更］を押すと、設定内容を変更できます。「画像位置調整」などを変更するときは、「プリンター」の「画像位置調整」(p. 4-12) を参照してください。

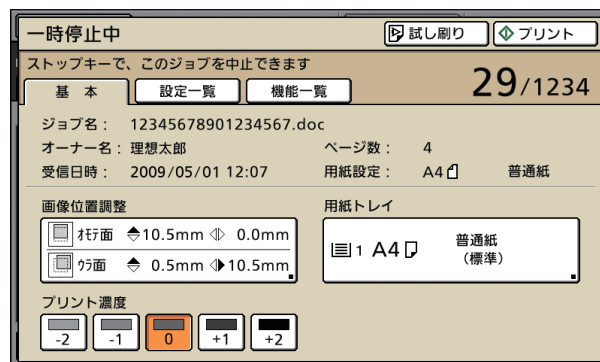
■ コピーの途中で設定を変更する

1 ［ストップ］キーを押す

［確認］画面が表示されます。

2 ［設定変更］を押す

［一時停止中］画面が表示されます。

3 設定を変更する

この画面から、次の設定を変更することができます。

- 画像位置（p. 4-12「プリンター」の「画像位置調整」）
- 用紙トレイ（p. 2-9「コピー」の「用紙トレイ」）
- プリント濃度（p. 4-13「プリンター」の「プリント濃度」）

- ［設定一覧］を押すとジョブの設定内容を確認することができます。［▲］［▼］を押すとスクロールします。
- ［機能一覧］を押すと、以下の設定ができます。
  - 「排紙フェンス調整」(p. 2-50)
  - 「排紙ウイング特殊」(p. 2-51)
  - 「ヘッドクリーニング」(p. 2-51)
  - 「前扉ロック解除」(p. 2-52)

4 ［試し刷り］または［プリント］を押す

- **［試し刷り］を押した場合**

［試し刷り］画面が表示され、［ストップ］キーを押したときのページだけを 1 枚コピーして、元の画面に戻ります。

- **［プリント］を押した場合**

設定を変更したジョブのコピーが開始されます。

2

設定項目一覧

コピーモードでの設定項目についての一覧を、以下に示します。

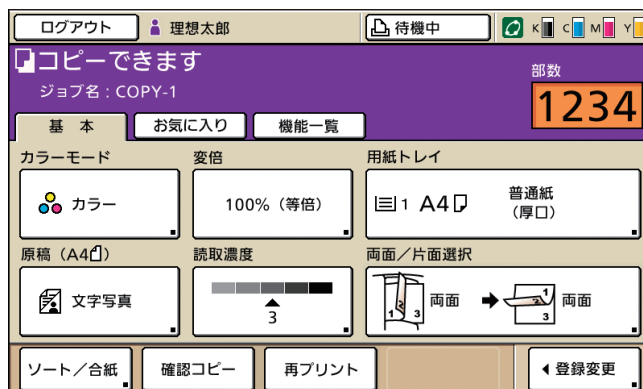
- 選択した項目や管理者の設定により、画面に表示される設定項目は変わります。
- 設定に必要なオプションが接続されていない場合、そのオプションに関連する項目は表示されません。

	設定項目	説明	参照ページ
[基本]	カラーモード	コピーする色を選択します。	p. 2-8
	変倍	拡大コピー、縮小コピーができます。	p. 2-9
	用紙トレイ	コピーする用紙によって、用紙トレイ、用紙の種類、給紙設定を変更します。	p. 2-9
	原稿	適切な画像処理をしてからプリントするために、原稿の種類を選択します。	p. 2-12
	読取濃度	原稿を読み取るときの濃度を調整します。	p. 2-13
	両面／片面選択	読み取る面とコピーする面を設定します。	p. 2-14
	POP 機能登録＊2	よく使う機能をPOPエリアに４個まで登録することができます。	p. 2-17
[お気に入り]	お気に入り機能登録＊2	よく使う機能をお気に入り画面に 16 個まで登録することができます。	p. 2-17
[機能一覧]	設定確認	現在の設定値の確認と、設定内容のプリントをします。	p. 2-18
	設定登録／呼出	よく使う設定内容を 10 件まで登録しておくことができます。	p. 2-19
	仕上がり選択	ステープル、パンチなどの仕上がりイメージを、イラストを見ながら設定できます。	p. 2-22
	確認コピー	部数の多いコピーをするときに、仕上がりを確認するために、1 部だけコピーして停止します。	p. 2-23
	追加コピー＊2	直前にコピーした原稿データを再度プリントします。	p. 2-24
	ボックス保存＊2	読み取った原稿をデータとして本機に保存します。必要なときに呼び出してプリントできます。	p. 2-24
	アーカイブ保存＊3	読み取った原稿をデータとして、外部コントローラに保存します。必要なときに呼び出してプリントできます。（オプションの ComucolorExpress IS900C 接続時）	p. 2-26
	AF 原稿追加	原稿の枚数が多く、数回に分けてセットした場合でも、1 ジョブとしてコピーすることができます。	p. 2-27
	原稿サイズ指定	原稿の読取サイズを設定します。	p. 2-27
	原稿サイズ混在＊1	原稿データに複数の原稿サイズが混在する場合に設定します。	p. 2-28
	ブック原稿	本などの中央（とじ部分）にできる影を消去します。	p. 2-29
	面付け	N アップコピー（連続したページを 1 枚の用紙に並べる）や、連写コピー（あるページを 1 枚の用紙に複数枚並べる）をします。	p. 2-30
	ページ／日付印字	ページ数と日付を、ヘッダーやフッターに印字します。	p. 2-31
	画像品質	原稿を読み取るときの解像度を設定します。	p. 2-33

	設定項目	説明	参照ページ
[機能一覧]	ガンマ調整	原稿を読み取るときの色バランス（CMYK）を調整します。	p. 2-34
	画像詳細設定	原稿の画像処理を設定します。	p. 2-35
	下地カット	文字が読みにくい場合に、背景色（地色）だけを薄くします。	p. 2-35
	プログラム印刷	必要な部数が異なる多数のグループ（部署やクラス）がある場合に設定します。必要な部数を必要な組数だけ手早くプリントできます。	p. 2-36
	表紙付け＊1	印刷物の前後に、表紙、裏表紙をつけるときに設定します。	p. 2-40
	ソート／合紙＊1	ソートや合紙の設定をします。	p. 2-41
	オート回転	原稿と用紙の向きが一致しない場合、自動的に画像を90 度回転します。	p. 2-43
	ステープル／パンチ＊1	ステープル（とじる）やパンチ（穴を開ける）を設定します。（オプションの RISO フィニッシャー接続時）	p. 2-43
	紙折り＊1	紙の折り方、折り方向などを設定します。 （オプションの RISO フィニッシャー M または RISO フィニッシャーに紙折りユニット接続時）	p. 2-45
	小冊子＊1	小冊子にするための面付けや紙折りなどを設定します。（オプションの RISO フィニッシャー M 接続時）	p. 2-47
	排紙先選択	排紙先のトレイと連続排紙を設定します。 （オプションのRISOフィニッシャーまたは排紙台接続時）	p. 2-49
	排紙フェンス調整	RISO オートフェンス排紙台の排紙フェンスの位置を調整します。 （オプションの RISO オートフェンス排紙台接続時）	p. 2-50
	排紙ウイング特殊	排紙ウイングの位置を調整します。 （オプションの排紙台接続時）	p. 2-51
	ヘッドクリーニング	インクヘッドのクリーニングをします。	p. 2-51
	前扉ロック解除	本機の前扉ロックを解除します。	p. 2-52

＊1　ORPHIS X7200 / X7200L では使用できません。
＊2　管理者設定によっては、このボタンは表示されません。
＊3　ORPHIS X7200L では対応していません。

基本設定

［基本］画面で設定する、コピー操作時の機能を説明します。

カラーモード

コピーする色を選択します。

［オート］
原稿の色を自動的に判断し、カラー（シアン／マゼンタ／イエロー／ブラック）または白黒でコピーします。

［カラー］
4 色（シアン／マゼンタ／イエロー／ブラック）のデータに変換してコピーします。

［白黒］
原稿色に関係なく、ブラック 1 色でコピーします。

［単色シアン］
原稿色に関係なく、シアン 1 色でコピーします。

［単色マゼンタ］
原稿色に関係なく、マゼンタ 1 色でコピーします。

- 管理者がカラーコピーの使用を禁止しているときは、「オート」と「カラー」は選択できません。
- ORPHIS X7200L では、［単色シアン］は選択できません。

1 ［カラーモード］を押す

［カラーモード］画面が表示されます。

2 カラーモードを選択する

3 ［確定］を押す

設定が確定されて、元の画面が表示されます。

変倍

指定した倍率でコピーします。

[オート]
原稿サイズと用紙サイズから、変倍率が自動的に設定されます。

[100%(等倍)]
等倍でコピーします。

定形変倍
定形サイズの原稿を、他の定形サイズの用紙に拡大または縮小してコピーします。

[数値入力]
任意の変倍率で拡大または縮小してコピーします。50% ～ 200% の範囲で設定します。

「オート」を選択すると、用紙サイズにあわせて自動的に変倍されます。(p. 2-9「用紙トレイ」)

1 [変倍] を押す

[変倍] 画面が表示されます。

2 変倍率を設定する

数値を入力するには、[数値入力] を押してから、[▲] [▼] またはテンキーを使用してください。

3 [確定] を押す

設定が確定されて、元の画面が表示されます。

用紙トレイ

用紙トレイを選択します。
トレイの設定変更(用紙サイズ・用紙種類・オート選択対象)も、ここから行います。

● 用紙トレイの選択

[オート]
オート選択対象になっている用紙トレイから、自動的に選択されます。

用紙トレイ選択
原稿サイズと異なるサイズにコピーする場合や、[オート選択対象] を [対象外] に設定しているトレイを使用する場合には、用紙トレイを選択してください。

オート選択対象がすべて「対象外」の場合には、[オート] は選択できません。

[原稿サイズ混在] を設定している場合、選択できるのは [オート] のみです。(p. 2-28「原稿サイズ混在」)

1 [用紙トレイ] を押す

[用紙トレイ] 画面が表示されます。

用紙トレイ選択ボタンには、現在の用紙残量の目安、用紙サイズ、用紙種類、給紙設定、オート選択対象の有無が表示されています。

・左側のアイコンは給紙台と用紙トレイ、用紙残量を示しています。
: 給紙台
1 ～ 3 : 用紙トレイ 1 ～ 3
(給紙台は) が表示されているときは用紙がありません。用紙をセットしてください。

2 用紙トレイを選択する

3 ［確定］を押す

設定が確定されて、元の画面が表示されます。

● 用紙トレイの設定変更

用紙トレイを選択して［詳細設定］を押すと、トレイについての設定を変更できます。
トレイにセットする用紙を変更するときは、必ず［用紙トレイ］設定も変更してください。

■ 用紙サイズ

［定形検知］
定形サイズの用紙を自動的に検知して用紙トレイに表示します。

用紙サイズ選択
あらかじめ管理者が設定した不定形用紙サイズが表示されます。給紙台のみ、工場出荷時からハガキや封筒のサイズが設定されています。

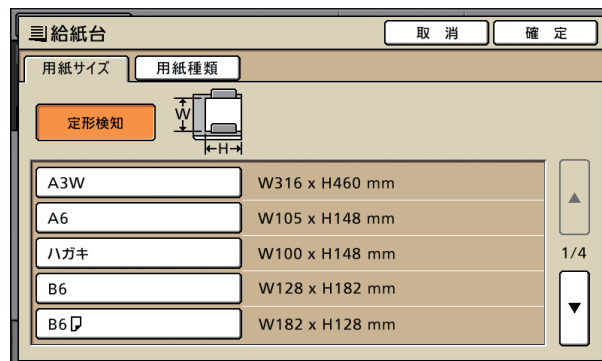
表示されないサイズの用紙を使用すると、正しい印刷結果が得られません。また、本機内部をインクで汚してしまう可能性があります。不定形サイズの用紙は、登録してから使用してください。
詳しくは、管理者にお問い合わせください。

- 長4封筒は、オプションのRISOフィニッシャー接続時には使用できません。
- 特殊な用紙をセットするトレイは、［オート選択対象］を［対象外］に設定することをお勧めします。（p. 2-12「オート選択対象を設定する」）

1 ［用紙トレイ］を押す

2 用紙トレイを選択する

3 ［詳細設定］を押す

選択した用紙トレイの［用紙サイズ］画面が表示されます。

4 使用する用紙サイズを選択する

用紙種類の設定も行う場合は、「用紙種類」の手順2に進んでください。

5 ［確定］を押す

設定が確定されて、［用紙トレイ］画面が表示されます。

■ 用紙種類

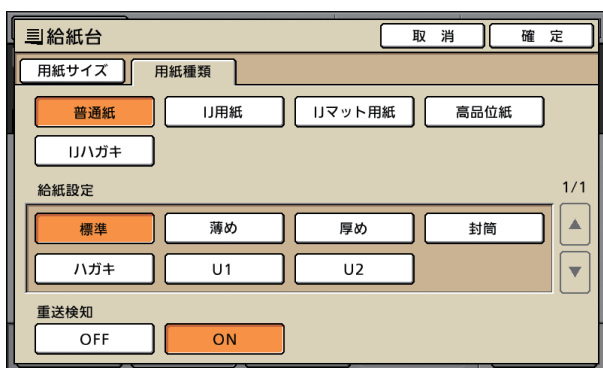
以下から選択してください。

[普通紙] ／ [IJ 用紙] ／ [IJ マット用紙] ／ [高品位紙] ／ [IJ ハガキ]

- 表示される用紙種類は、選択している用紙トレイにより異なります。
- 本機では、選択された用紙種類によって、カラープロファイルを選択しています。（用紙種類を変更すると、プリントの仕上がりが変わります。）印刷物の仕上がりがイメージと異なる場合は、用紙種類を変更してください。

1 [用紙サイズ] 画面を表示させる

「用紙トレイの設定変更」の手順 1 〜 3 を行います。

2 [用紙種類] を押す

[用紙種類] 画面が表示されます。

3 用紙種類を選択する

用紙の厚さが変更になる場合は、「給紙設定」の手順 3 に進んでください。

4 [確定] を押す

設定が確定されて、元の画面が表示されます。

■ 給紙設定

用紙の厚さに合わせて、用紙を搬送するタイミングなどが調整されます。以下から選択してください。

[標準] ／ [薄め] ／ [厚め] ／ [封筒] ／ [ハガキ]

給紙台の設定を [封筒] にした場合、給紙台からの両面プリントはできません。

表示される内容は、選択している用紙トレイにより異なります。

1 [用紙サイズ] 画面を表示させる

「用紙トレイの設定変更」の手順 1 〜3を行います。

2 [用紙種類] を押す

[用紙種類] 画面が表示されます。

3 給紙設定を選択する

・ 特殊な用紙を使用する場合などは、あらかじめ U1 〜 U5 の調整値を設定して、追加表示することができます。詳しくは、お買い上げの販売会社（あるいは、保守・サービス会社）にご相談ください。

4 [確定] を押す

設定が確定されて、元の画面が表示されます。

■ 重送検知

複数の用紙が重なったまま給紙されてしまう「重送」を検知するかどうかを選択します。通常は [ON] にします。光の透過性から検知するため、裏面がプリント済みの用紙や地色の濃い用紙、封筒にプリントするときは、[OFF] に設定してください。

[ON] ／ [OFF]

1 [用紙サイズ] 画面を表示させる

「用紙トレイの設定変更」の手順 1 〜3を行います。

2 [用紙種類] を押す

[用紙種類] 画面が表示されます。

3 重送検知を設定する

4 [確定] を押す

設定が確定されて、元の画面が表示されます。

2

● オート選択対象を設定する

［用紙トレイ］画面で［オート］を選択した場合、本機は［オート選択対象］が［対象］に設定されている用紙トレイの中から、使用する用紙トレイを自動選択します。

特殊な用紙（高品質紙、色紙、厚紙、レターヘッドなど）をセットする場合、［オート選択対象］を［対象外］に設定すると、特殊な用紙が不必要に使用されるのを防ぐことができます。

1 ［用紙トレイ］を押す

［用紙トレイ］画面が表示されます。

2 ［オート選択対象］を選択する

ボタンを押すたびに［対象］と［対象外］が切り換わります。

3 ［確定］を押す

設定が確定されて、元の画面が表示されます。

原稿

適切な画像処理をしてからプリントするために、原稿の種類を選択します。

［文字写真］
文字と写真が混在している原稿の場合に選択します。
［文字］
書類やイラストなどの原稿の場合に選択します。
［写真］
写真などの原稿の場合に選択します。
［地図・鉛筆］
地図などの細い線や淡い色が多く使用されている原稿、または鉛筆書きの原稿の場合に選択します。

［文字写真］、［写真］、［地図・鉛筆］を選択した場合は、網点処理を設定します。
［OFF］
網点処理をしません。
［70 線］
70 線の網点で再現します。
［100 線］
100 線の網点で再現します。

1 ［原稿］を押す

［原稿］画面が表示されます。

2 原稿の種類を選択する

3 [文字写真]、[写真]、[地図・鉛筆] を選択した場合は、網点処理を設定する

4 [確定] を押す

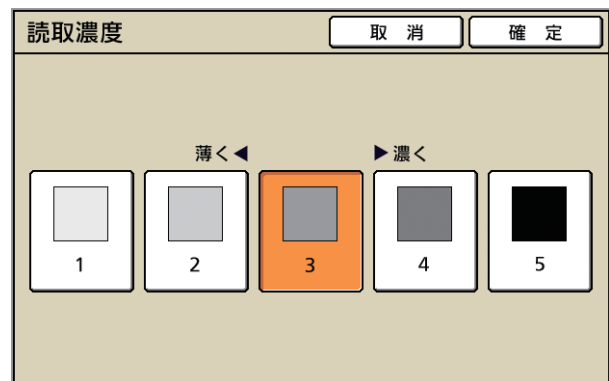
設定が確定されて、元の画面が表示されます。

読取濃度

原稿を読み取るときの濃度を調整できます。
以下から選択してください。

[1] ～ [5]
小さい数値（1）を選択するほど薄く、大きい数値（5）を選択するほど濃くなるように読み取ります。

1 [読取濃度] を押す

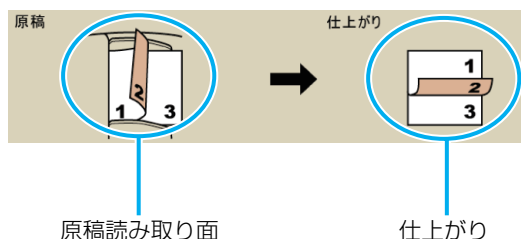
[読取濃度] 画面が表示されます。

2 読取濃度を選択する

3 [確定] を押す

設定が確定されて、元の画面が表示されます。

背景に色の付いた文字原稿や色紙など、コピーすると文字が読みにくい場合には、背景色（地色）だけを薄くすることができます。（p. 2-35「下地カット」）

両面／片面選択

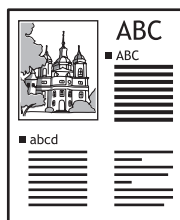
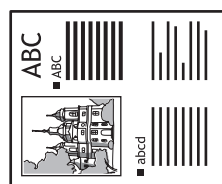
原稿の読み取り面とコピー面について指定します。画面には、現在の設定（原稿読み取り面と仕上がり）が表示されています。

■原稿読み取り面

［片面］／［両面］

■原稿のページめくり方向

両面原稿の場合に、原稿のページめくり方向を選択します。
［左右開き］／［上下開き］

■原稿セット方向

［読める向き］
原稿の上部を、原稿台ガラスまたはオートフィーダーに向かって奥側にセットする場合に選択します。
［左向き］
原稿の上部を、原稿台ガラスまたはオートフィーダーに向かって左側（原稿の文字が横向き）にセットする場合に選択します。

読める向き

左向き

■仕上がり

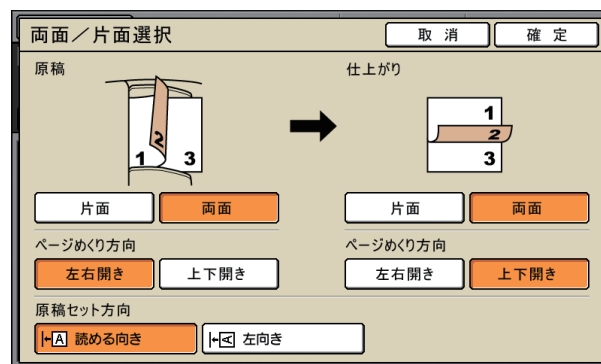
印刷物の仕上がりを選択します。
［片面］／［両面］

■仕上がりのページめくり方向

両面コピーの場合に、めくり方向を選択します。
［左右開き］／［上下開き］

● 両面コピーをする

1 ［両面／片面選択］を押す

［両面／片面選択］画面が表示されます。

2 原稿の読み取り面を設定する

・［両面］を選択した場合は、原稿のページめくり方向を選択してください。

設定する必要がないボタンは、グレーアウトします。

3 原稿のセット方向を選択する

4 仕上がりの［両面］を押す

5 仕上がりのページめくり方向を選択する

6 ［確定］を押す

設定が確定されて、元の画面が表示されます。

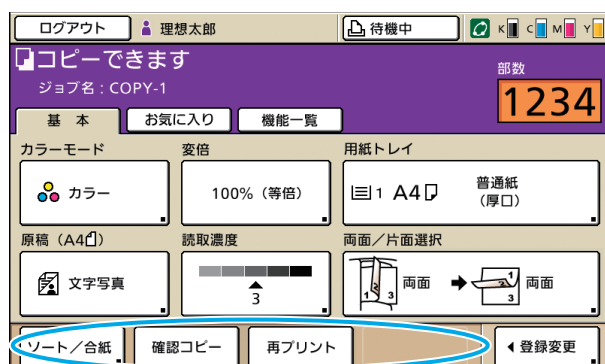
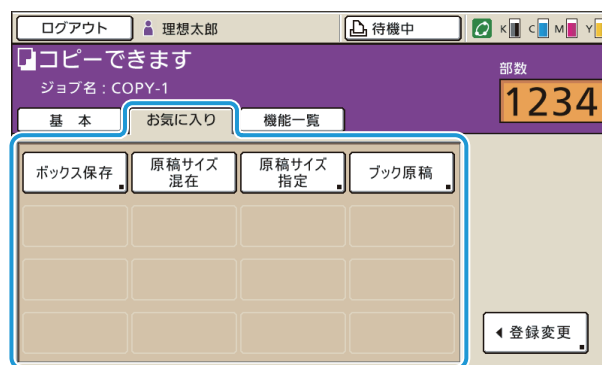
● 両面原稿から片面コピーをする

原稿はオートフィーダーにセットしてください。

1. ［両面／片面選択］を押す
2. 原稿の［両面］を押す
3. 原稿のページめくり方向を選択する
4. 原稿のセット方向を選択する
5. 仕上がりの［片面］を押す
6. ［確定］を押す
   設定が確定されて、元の画面が表示されます。

POP ／お気に入り機能登録

よく使う機能を［基本］画面の POP エリアや［お気に入り］画面に登録できます。

ログインが不要な環境の場合、POP エリアと［お気に入り画面］に、機能登録はできません。その場合、POP エリアと［お気に入り画面］には管理者が設定した機能が表示されます。

基本画面の POP エリア

お気に入り画面

POP エリア、お気に入り画面に登録できる機能は以下の通りです。

「設定確認」（p. 2-18）
「設定登録／呼出」（p. 2-19）
「仕上がり選択」（p. 2-22）
「確認コピー」（p. 2-23）
「追加コピー」（p. 2-24）
「ボックス保存」（p. 2-24）
「アーカイブ保存」（p. 2-26）
「AF 原稿追加」（p. 2-27）
「原稿サイズ指定」（p. 2-27）
「原稿サイズ混在」（p. 2-28）
「ブック原稿」（p. 2-29）
「面付け」（p. 2-30）
「ページ／日付印字」（p. 2-31）
「画像品質」（p. 2-33）
「ガンマ調整」（p. 2-34）
「画像詳細設定」（p. 2-35）
「下地カット」（p. 2-35）
「プログラム印刷」（p. 2-36）
「表紙付け」（p. 2-40）
「ソート／合紙」（p. 2-41）
「オート回転」（p. 2-43）
「ステープル／パンチ」（p. 2-43）
「紙折り」（p. 2-45）
「小冊子」（p. 2-47）
「排紙先選択」（p. 2-49）
「排紙フェンス調整」（p. 2-50）
「排紙ウイング特殊」（p. 2-51）
「ヘッドクリーニング」（p. 2-51）
「前扉ロック解除」（p. 2-52）

POP 機能登録

よく使う機能を［基本］画面の POP エリアに 4 個まで登録できます。

1 ［登録変更］を押す

［POP 機能登録］画面が表示されます。

2 登録する（または変更する）ボタンを押す

［機能選択］画面が表示されます。

3 登録する機能を押す

・ 登録を解除するときは、［登録なし］を押してください。

4 ［確定］を押す

設定が確定されて、POP 機能登録画面が表示されます。

5 続けて登録するときは、手順2〜4の操作を繰り返して必要な機能を登録する

6 ［閉じる］を押す

元の画面が表示されます。

お気に入り機能登録

よく使う機能を［お気に入り］画面に 16 個まで登録できます。

1 ［お気に入り］を押す

2 ［登録変更］を押す

［お気に入り機能登録］画面が表示されます。

3 登録する（または変更する）ボタンを押す

［機能選択］画面が表示されます。

4 登録する機能を押す

・ 登録を解除するときは、［登録なし］を押してください。

5 ［確定］を押す

設定が確定されて、お気に入り機能登録画面が表示されます。

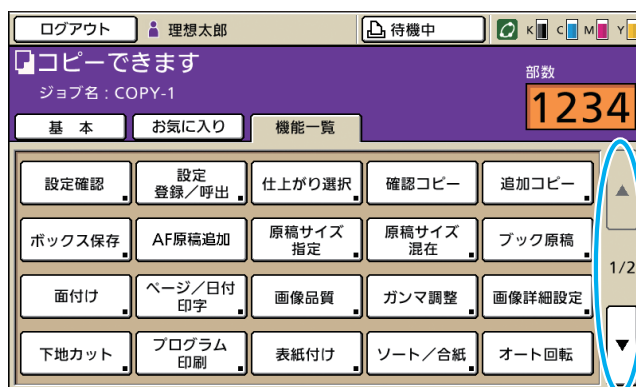
6 続けて登録するときは、手順3〜5の操作を繰り返して必要な機能を登録する

7 ［閉じる］を押す

元の画面が表示されます。

いろいろなコピー機能

［機能一覧］画面では、コピーモードの各機能の設定ができます。

よく利用する機能は［基本］画面や［お気に入り］画面に登録しておくと便利です。（p. 2-17「POP 機能登録」、p. 2-17「お気に入り機能登録」）

設定確認

コピーモードの設定値の確認と、設定内容のプリントをします。また、現在の設定値を初期値に登録したり、管理者によって設定された初期値に戻すこともできます。

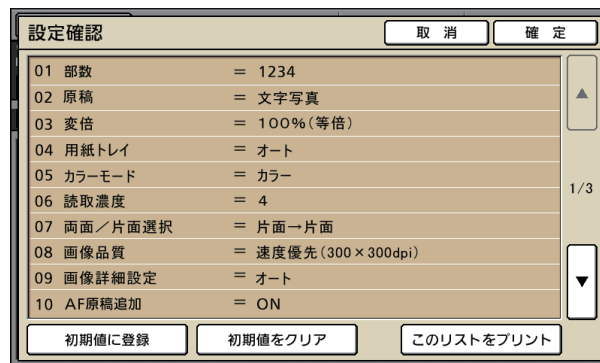
ログインが不要な環境の場合、管理者以外のユーザーは初期値の登録、初期値のクリアはできません。

● 設定値の確認とリストのプリント

設定値を確認し、リストとしてプリントします。

1 コピーモード画面で［機能一覧］を押す

2 ［設定確認］を押す

［設定確認］画面が表示されます。

現在の設定値を確認してください。

3 ［このリストをプリント］を押す

コピーモードの設定値がプリントされて、［設定確認］画面に戻ります。

4 ［確定］を押す

元の画面が表示されます。

● 初期値の登録

現在の設定値を初期値として登録します。

ログインが不要な環境の場合、管理者以外のユーザーは、初期値の登録はできません。

1 ［設定確認］を押す

［設定確認］画面が表示されます。

現在の設定値を確認してください。

2 ［初期値に登録］を押す

現在の設定値が、ログインしているユーザーのコピーモードの初期値として登録されます。

3 ［確定］を押す

設定が確定されて、元の画面が表示されます。

● 初期値のクリア

登録した初期値を、管理者が設定した初期値に戻します。

ログインが不要な環境の場合、管理者以外のユーザーは初期値のクリアはできません。

1 ［設定確認］を押す

2 ［初期値をクリア］を押す

3 ［確定］を押す

設定が確定されて、元の画面が表示されます。

設定登録／呼出

よく使う設定内容を登録して、必要なときに呼び出すことができます。複数の機能を組み合わせた設定を、10 件まで登録できます。

［設定登録／呼出］画面は、コピーモードで操作パネルの［＊］キーを押しても表示されます。

コピーモードでは、以下の設定が登録できます。

［部数］（p. 2-4）
「原稿」（p. 2-12）
「変倍」（p. 2-9）
「用紙トレイ」（p. 2-9）
「カラーモード」（p. 2-8）
「読取濃度」（p. 2-13）
「両面／片面選択」（p. 2-14）
「確認コピー」（p. 2-23）
「ボックス保存」（p. 2-24）
「アーカイブ保存」（p. 2-26）
「AF 原稿追加」（p. 2-27）
「原稿サイズ指定」（p. 2-27）
「原稿サイズ混在」（p. 2-28）
「ブック原稿」（p. 2-29）
「面付け」（p. 2-30）
「ページ／日付印字」（p. 2-31）
「画像品質」（p. 2-33）
「ガンマ調整」（p. 2-34）
「画像詳細設定」（p. 2-35）
「下地カット」（p. 2-35）
「プログラム印刷」（p. 2-36）
「ソート／合紙」（p. 2-41）
「オート回転」（p. 2-43）
「表紙付け」（p. 2-40）
「ステープル／パンチ」（p. 2-43）
「紙折り」（p. 2-45）
「小冊子」（p. 2-47）
「排紙先選択」（p. 2-49）

設定の登録

1 コピーモード画面で各種コピー機能を設定する

2 コピーモード画面で、[機能一覧] を押す

3 [設定登録／呼出] を押す

[設定登録／呼出] 画面が表示されます。

・ 設定内容が登録されていないボタンには[未登録] と表示されています。

4 [未登録] を押す

[設定登録] 画面が表示されます。

5 設定内容を確認する

[設定登録] 画面には、現在の設定値が表示されます。

登録名称を付ける場合は、「設定の名称変更」の手順 3 に進んでください。

ログインが必要な環境の場合、管理者権限を持つユーザーは、全ユーザーが共有で使用できる設定登録が可能です。この手順で [この設定を全ユーザーで共有する] を押してください。

6 [登録] を押す

手順 1 で設定したコピーモードの設定が登録されます。

・ 登録名は、M と登録番号([M-1] ～ [M-9]、[M-0])で表示されます。

7 [閉じる] を押す

元の画面が表示されます。

設定の呼び出し

1 [設定登録／呼出] を押す

「設定の登録」の手順 2 ～ 3 を行います。

2 呼び出す設定内容のボタンを押す

[設定呼出] 画面が表示されます。

設定内容を確認してください。

3 [呼出] を押す

設定が呼び出され、コピーモード画面に戻ります。

● 設定の名称変更

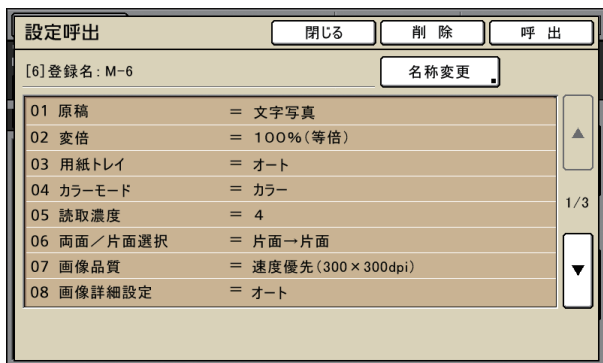
あらかじめ設定登録されているボタンの、名称を変更します。

共有設定されている設定登録（マークの入っているボタン）は、管理者権限を持たないユーザーが名称変更することはできません。

1 ［設定登録／呼出］画面を表示させる

「設定の登録」の手順 2 ～ 3 を行います。

2 名称を変更するボタンを押す

［設定呼出］画面が表示されます。

3 ［名称変更］を押す

［名称変更］画面が表示されます。

4 名称入力後、［確定］を押す

- 全角／半角 10 文字以内で入力し、［確定］を押してください。(p. 31「文字入力のしかた」)
- 入力し直すときは、［消去］を押してカーソルの左側にある文字を消してください。

5 ［閉じる］を押す

新規で登録を行っている場合は、この手順で［登録］を押してください。

6 ［閉じる］を押す

元の画面が表示されます。

設定の削除

共有設定されている設定登録（マークの入っているボタン）は、管理者権限を持たないユーザーが削除することはできません。

1 ［設定登録／呼出］画面を表示させる

「設定の登録」の手順 2 ～ 3 を行います。

2 削除する設定内容のボタンを押す

［設定呼出］画面が表示されます。

3 ［削除］を押す

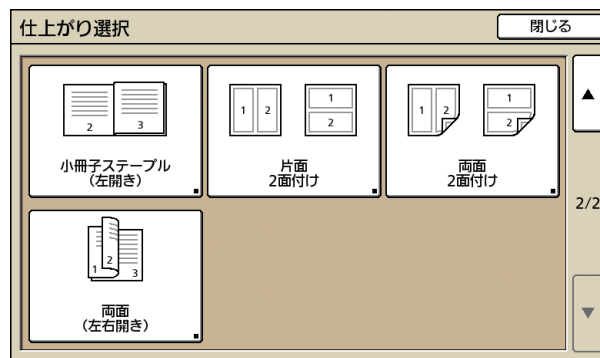
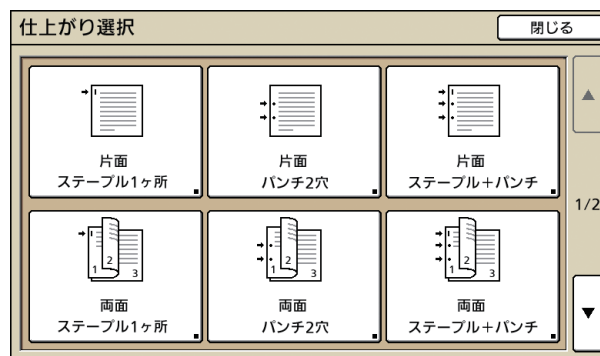
【この設定を削除します。よろしいですか？】というメッセージが表示されます。

4 ［はい］を押す

5 ［閉じる］を押す

元の画面が表示されます。

仕上がり選択

ステープル、パンチなどの仕上がりイメージを、イラストを見ながら簡単に設定できます。
以下から選択してください。

接続しているオプションの有無により、表示される内容が上記と異なる場合があります。

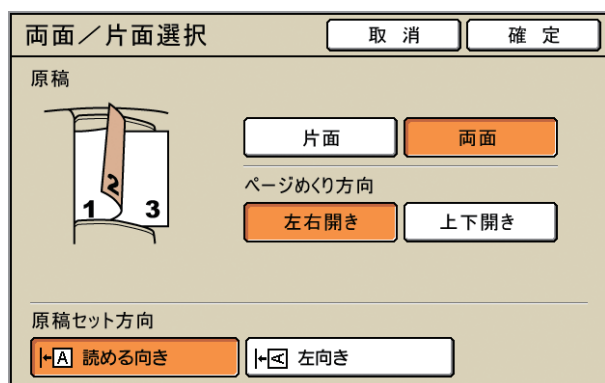
1 コピーモード画面で［機能一覧］を押す

2 ［仕上がり選択］を押す

［仕上がり選択］画面が表示されます。

3 仕上がりイメージを選択する

［両面／片面選択］画面が表示されます。

4 ページめくり方向（両面の場合）と原稿セット方向を選択する

5 ［確定］を押す

仕上がりが設定され、コピーモード画面に戻ります。

確認コピー

1 部だけコピーして停止します。大量にコピーする前に仕上がりを確認することができます。

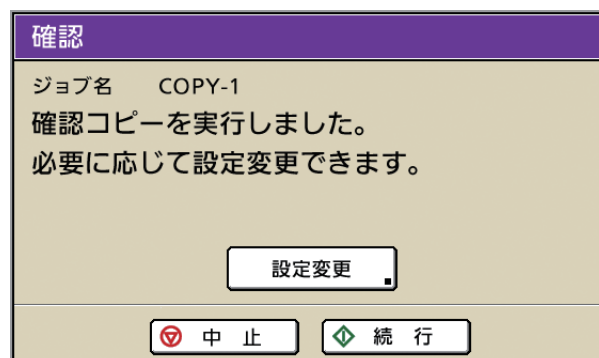
ソートで「部ごと」を選択すると、確認コピーにより 1 部だけコピーできます。（p. 2-41「ソート／合紙」）

1 コピーモード画面で［機能一覧］を押す

2 ［確認コピー］を押す

確認コピーが設定されます。

・ もう一度押すと、設定が解除されます。

［確認コピー］を設定しておくと、1 部だけコピーして、以下の画面が表示されます。

・ 設定を変更しないでコピーを続けるときは、［続行］を押します。
・ 設定を変更するときは、［設定変更］を押して、設定を変更してください。（p. 4-6「プリンター」の「プリント中に設定を変更する」）
・ コピーを中止するときは、［中止］を押します。

追加コピー

直前にコピーした原稿を、同じ設定のまま、追加で出力します。（原稿の読み取りは不要です。）

次の場合には、追加コピーはできません。
- 管理者が「追加コピー」機能を［無効］に設定している場合
- コピー後に、オートリセットされた場合
- オーナーがログアウトした場合

1 コピー終了後に、コピーモード画面で［機能一覧］を押す

2 ［追加コピー］を押す

以下の画面が表示されます。

3 テンキーで部数を入力する

4 ［実行］を押す

再度プリントが開始されます。

ボックス保存

読み取った原稿を、設定内容とともにデータとして本機に保存します。必要なときに呼び出してプリントできます。

管理者が「ボックス」機能を［無効］に設定している場合、［ボックス保存］は表示されません。

ボックス保存したデータは、プリンターモードの［ボックス］画面から呼び出します。（p. 4-9「プリンター」の「［ボックス］画面」）

■ ボックス保存

［保存しない］
データを保存しません。
［保存する］
データをボックスに保存します。
［保存してコピー］
データをボックスに保存して、コピーします。

■ 保存先

保存先には、あらかじめ管理者が設定したボックスが表示されます。
共有ボックスには、全てのユーザーがデータを保存できます。ログインが必要な環境の場合は、ログインしているユーザーだけが保存できる［個人ボックス］が表示されます。

■ オーナー名

保存するデータのオーナー名を設定します。

■ ジョブ名

保存するデータのジョブ名を設定します。

■ 暗証番号

保存するデータに、暗証番号を設定するかどうかを選択します。
［つけない］
暗証番号の設定をしません。
［つける］
暗証番号（数字 8 桁以内）を設定します。

1 コピーモード画面で［機能一覧］を押す

2 ［ボックス保存］を押す

［ボックス保存］画面が表示されます。

3 ボックス保存の動作を選択する

［保存する］または［保存してコピー］を押します。

4 保存先を選択する

5 オーナー名を変更する

変更する場合は、［オーナー名］を押して設定します。

・ 文字入力画面で、全角／半角 10 文字以内で入力してください。（p. 31「文字入力のしかた」）

ログインが必要な環境の場合は、ログインしているユーザー名が表示され、変更できません。

6 ジョブ名を変更する

変更する場合は、［ジョブ名］を押して設定します。

・ 文字入力画面で、全角／半角 10 文字以内で入力してください。（p. 31「文字入力のしかた」）

7 暗証番号を設定する

データに暗証番号をつけて保存するときは、［つける］を押します。

［暗証番号をつける］画面で暗証番号（半角数字 8 桁以内）をテンキーで入力し、［確定］を押します。

・ 入力した暗証番号は「＊」で表示されます。
・ 入力し直すときは、［クリア］キーを押してください。

8 ［確定］を押す

設定が確定されて、元の画面が表示されます。

アーカイブ保存

読み取った原稿を、設定内容とともにデータとしてオプションの外部コントローラ（ComuColorExpress IS900C）に保存します。必要なときに呼び出してプリントできます。

- オプションの外部コントローラ接続時に、表示される機能です。
- アーカイブに保存したデータの呼び出し方法は、外部コントローラの取扱説明書をご覧ください。

■ アーカイブ保存

［保存しない］
データを保存しません。
［保存する］
データを保存します。

■ オーナー名

保存するデータのオーナー名を設定します。

■ ジョブ名

保存するデータのジョブ名を設定します。

1. **コピーモード画面で［機能一覧］を押す**

2. **［アーカイブ保存］を押す**

   ［アーカイブ保存］画面が表示されます。

3. **［保存する］を押す**

4. **オーナー名を変更する**

   初期設定では、ログインしているユーザー名が表示されます。変更する場合は、［オーナー名］を押して設定します。

   ・ 文字入力画面で、全角／半角 10 文字以内で入力してください。（p. 31「文字入力のしかた」）

5. **ジョブ名を変更する**

   変更する場合は、［ジョブ名］を押して設定します。

   ・ 文字入力画面で、全角／半角 10 文字以内で入力してください。（p. 31「文字入力のしかた」）

6. **［確定］を押す**

   設定が確定されて、元の画面が表示されます。

AF 原稿追加

原稿の枚数が多く、オートフィーダに一度にセットできない場合でも、全原稿を一つのジョブとして、コピーすることができます。片面原稿 1000 枚、両面原稿500 枚までを1ジョブとしてコピーできます。

- オートフィーダーに、一度にセットできる最大枚数は、100 枚（80g/m²）です。
- 原稿は、すべてオートフィーダーを利用して読み取り、原稿台ガラスは使用しないでください。

1 コピーモード画面で［機能一覧］を押す

2 ［AF 原稿追加］を押す

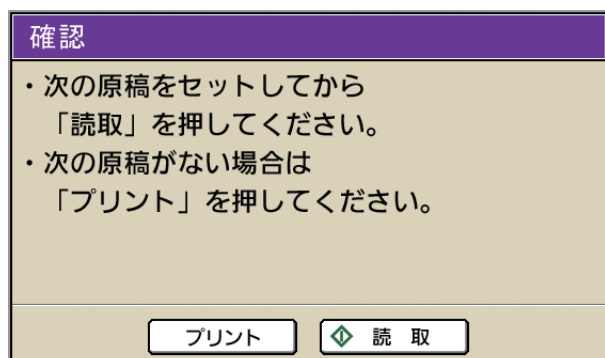
AF 原稿追加が設定されます。

・ もう一度押すと、設定が解除されます。

コピー開始後、セットした原稿がなくなったときに、以下の画面が表示されます。

確認

・次の原稿をセットしてから
「読取」を押してください。
・次の原稿がない場合は
「プリント」を押してください。

プリント　読 取

・ 続きの原稿がある場合は、原稿をオートフィーダーにセットして、［読取］を押します。
・ 続きの原稿がなく、読み取った原稿のコピーを開始する場合は、［プリント］を押します。

原稿サイズ指定

原稿の読み取りサイズを設定します。

● 定形用紙や登録用紙を指定する

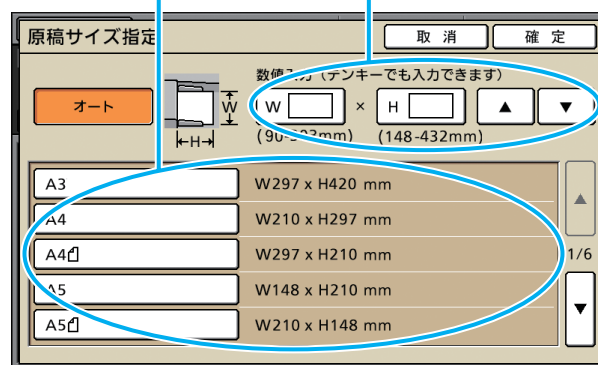
定形サイズや、管理者があらかじめ登録した用紙を指定します。

［オート］
定形サイズの原稿を自動で検知します。原稿が定形サイズの場合、通常は［オート］に設定します。

原稿サイズリスト
原稿が登録用紙サイズまたは定形サイズであっても、原稿と異なる用紙サイズを選択する場合は、原稿サイズリストから選択します。
登録用紙サイズは、あらかじめ管理者が「用紙サイズ登録」で登録している場合に表示されます。

1 コピーモード画面で［機能一覧］を押す

2 ［原稿サイズ指定］を押す

［原稿サイズ指定］画面が表示されます。

3 原稿サイズリストから原稿サイズを選択する

4 ［確定］を押す

設定が確定されて、元の画面が表示されます。

原稿サイズリストには、登録用紙サイズのうち、以下の用紙サイズ以外は表示されません。

・ 幅（W）が 90mm ～ 303mm
・ 長さ（H）が 148mm ～ 432mm

原稿サイズを入力する

登録されていない不定形サイズ原稿の場合、読み取る原稿のサイズを数値で指定します。

1 ［原稿サイズ指定］画面を表示させる

「定形用紙や登録用紙を指定する」の手順 1 ～ 2 を行います。

2 原稿サイズを数値入力する

［数値入力］の入力ボックスを押して、［▲］［▼］またはテンキーで入力します。

入力できるサイズは、W（90mm ～ 303mm）× H（148mm ～ 432mm）です。

・ 入力し直すときは、［クリア］キーを押してください。

3 ［確定］を押す

設定が確定されて、元の画面が表示されます。

原稿サイズ混在

2 種類のサイズの原稿を、オートフィーダーにセットする場合に設定します。

- 一度に読み取れる原稿の種類は、ページの一辺が同じ長さの原稿（A4 と A3、B4 と B5）のみです。
- 「原稿サイズ混在」と「小冊子」、「ブック原稿」、「面付け」は併用できません。（p. 2-47「小冊子」、p. 2-29「ブック原稿」、p. 2-30「面付け」）

原稿台ガラスを使って、異なるサイズの原稿を［部ごと］にコピーするときは、［原稿サイズ混在］を設定してください。原稿台ガラスを使用する場合には、原稿サイズの組み合わせに制限はありません。

1 ページの一辺の長さが揃うように、原稿をセットする

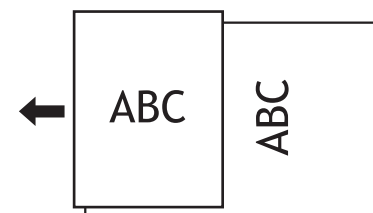
2 ［用紙トレイ］で［オート］を選択する

用紙トレイの設定については、「用紙トレイ」（p. 2-9）を参照してください。

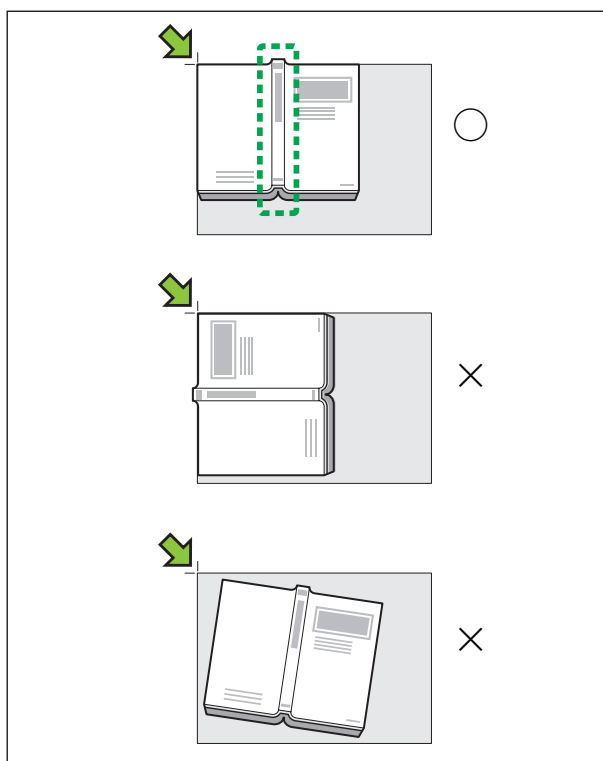
3 コピーモード画面で［機能一覧］を押す

4 ［原稿サイズ混在］を押す

原稿サイズ混在が設定されます。

・ もう一度押すと、設定が解除されます。

ブック原稿

本などをコピーする場合に、中央（とじ部分）にできる影を消去します。

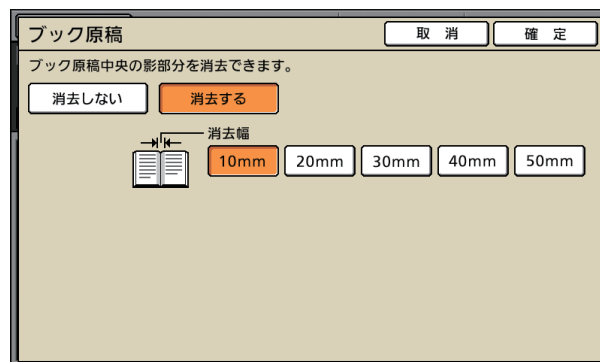
本を原稿台ガラスにセットするときは、ガラス面左奥の矢印にあわせて、「読める向き」にセットしてください。本を縦にセットしたり、斜めにセットしたりすると、この機能を使用できなくなります。

■ 中央消去

［消去する］／［消去しない］

■ 消去幅

［10mm］／［20mm］／［30mm］／［40mm］／［50mm］

1. コピーモード画面で［機能一覧］を押す
2. ［ブック原稿］を押す

   ［ブック原稿］画面が表示されます。

3. ［消去する］を押す
4. 消去幅の幅を選択する
5. ［確定］を押す

   設定が確定されて、元の画面が表示されます。

2

面付け

1 枚の用紙に複数枚の原稿を割り付けます。
[N アップ] と [連写] の 2 種類があります。

「面付け」と「原稿サイズ混在」は併用できません。(p. 2-28「原稿サイズ混在」)

● N アップを設定する

1 枚の用紙に連続したページを割り付けます。

■ 原稿セット方向

[読める向き]
ユーザーから見て、原稿を読める向きにセットする場合に選択します。
[左向き]
ユーザーから見て、原稿の上辺を左側にセットする場合に選択します。

■ 面数

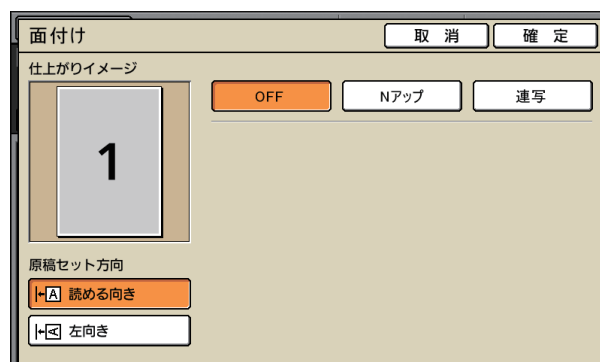
1 枚の用紙に割り付ける面数を選択します。
[2 面] ／ **[4 面]** ／ **[8 面]**

■ 面付け順序

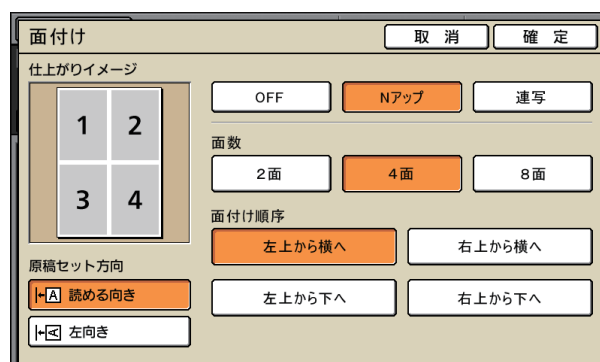
[2 面] を選択した場合
[左から右へ (上から下へ)] ／
[右から左へ (下から上へ)]
[4 面] ／ [8 面] を選択した場合
[左上から横へ] ／ **[左上から下へ]** ／
[右上から横へ] ／ **[右上から下へ]**

1 コピーモード画面で [機能一覧] を押す

2 [面付け] を押す

[面付け] 画面が表示されます。

[仕上がりイメージ] には、設定内容に合わせた「仕上がりイメージ」が表示されます。

3 原稿のセット方向を選択する

4 [N アップ] を押す

[仕上がりイメージ] には、設定内容に合わせた「仕上がりイメージ」が表示されます。

5 面数を選択する

6 面付け順序を選択する

7 [確定] を押す

設定が確定されて、元の画面が表示されます。

連写を設定する

1枚の用紙に同じ原稿を割り付けます。

原稿セット方向

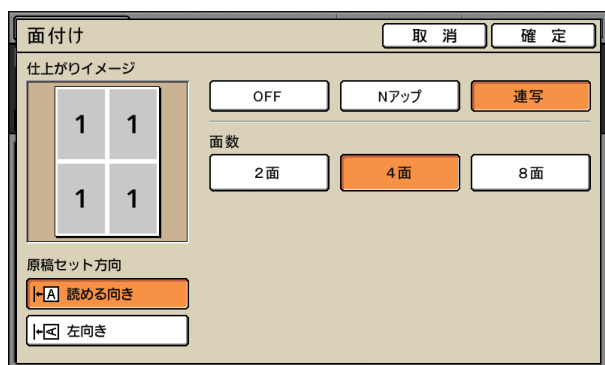
[読める向き]
ユーザーから見て、原稿を読める向きにセットする場合に選択します。
[左向き]
ユーザーから見て、原稿の上辺を左側にセットする場合に選択します。

面数

1枚の用紙に割り付ける面数を選択します。
[2面] ／ [4面] ／ [8面]

1 面付け画面を表示させる
「Nアップを設定する」の手順1～2を行います。

2 原稿のセット方向を選択する

3 [連写] を押す

[仕上がりイメージ] には、設定内容に合わせた「仕上がりイメージ」が表示されます。

4 面数を選択する

5 [確定] を押す
設定が確定されて、元の画面が表示されます。

ページ／日付印字

ページ数と日付を、ヘッダーやフッターに印字します。

- ページと日付を同じ位置には印字できません。
- 合紙用紙、表紙付けの用紙には印字されません。(p. 2-41「ソート／合紙」、p. 2-40「表紙付け」)

- 「面付け」を併用した場合、原稿のページではなく、コピー用紙のページごとに印字します。ただし、「小冊子」だけは、製本後の各ページに印字します。
- 変倍率を設定しても、ページ／日付印字の大きさは変更されません。

ページ数を印字する

ヘッダーやフッターにページ数を印字します。

印字位置

[上・左端] ／ [上・中央] ／ [上・右端] ／
[下・左端] ／ [下・中央] ／ [下・右端]

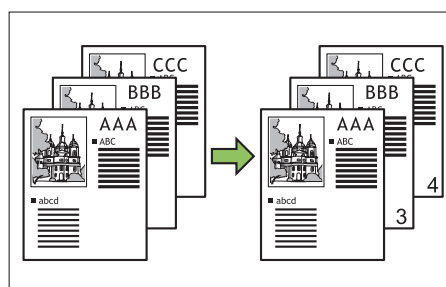
印字領域

[透過しない]
印字領域部の画像を消して白いスペースを作り、その中に印字します。
[透過する]
印字領域と画像が重なった場合に、画像の上に印字します。

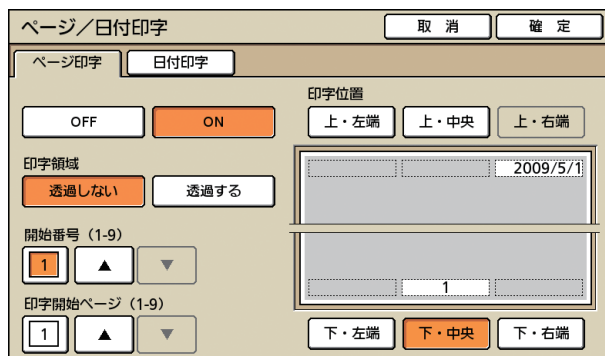
開始番号

印字する最初の番号を1～9の範囲で設定します。

印字開始ページ

印字する最初のページを1～9の範囲で設定します。
例： 印字開始ページを「2ページ」、開始番号を「3」に設定したとき

1 コピーモード画面で［機能一覧］を押す

2 ［ページ／日付印字］を押す

［ページ印字］画面が表示されます。

3 ［ON］を押す

4 印字位置を選択する

5 印字領域を選択する

6 開始番号を設定する

［▲］［▼］を押して、1～9の範囲で入力してください。「0」は入力できません。

・ テンキーでも入力できます。
・ 入力し直すときは、［クリア］キーを押してください。

7 印字開始ページを設定する

［▲］［▼］を押して、1～9の範囲で入力してください。「0」は入力できません。

・ テンキーでも入力できます。
・ 入力し直すときは、［クリア］キーを押してください。

表紙にページ印字をしないときは、「印字開始ページ」を「2」（両面印刷時など、場合によっては「3」）にします。

8 ［確定］を押す

設定が確定されて、元の画面が表示されます。

● 日付を印字する

ヘッダーやフッターに日付を印字します。

■印字位置

［上・左端］／［上・中央］／［上・右端］／
［下・左端］／［下・中央］／［下・右端］

■印字領域

［透過しない］
印字領域部の画像を消して白いスペースを作り、その中に印字します。
［透過する］
印字領域と画像が重なった場合に、画像の上に印字します。

■適用ページ

日付印字を適用するページを選択します。
［全ページ］／［1ページ目のみ］

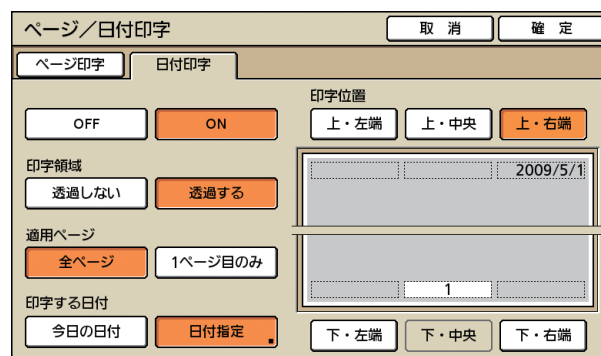
■印字する日付

［今日の日付］
今日の日付（本機に設定されている日付）が印字されます。
［日付指定］
任意の日付を指定できます。

1 ［ページ／日付印字］画面を表示させる

「ページ数を印字する」（p. 2-31）の手順1～2を行います。

2 ［日付印字］を押す

［日付印字］画面が表示されます。

3 [ON] を押す

4 日付の印字位置を選択する

・ページ印字が設定されている位置は選択できません。

5 印字領域を選択する

6 適用ページを選択する

7 印字する日付を選択する

[日付指定] を選択すると、[日付指定] 画面が表示されます。

入力ボックスを押してから、[▲] [▼] またはテンキーで日付を入力してください。

・入力し直すときは、[クリア] キーを押してください。

・[日付指定] 画面で [確定] を押すと、設定が確定されて、[日付印字] 画面に戻ります。

8 [確定] を押す

設定が確定されて、元の画面が表示されます。

画像品質

原稿を読み取るときの解像度を設定します。

[標準 (300 × 300dpi)]
文字を中心とした原稿のときに選択します。

[高精細 (300 × 600dpi)]
写真などの原稿のときに選択します。より高い解像度で読み取ります。

1 コピーモード画面で [機能一覧] を押す

2 [画像品質] を押す

[画像品質] 画面が表示されます。

3 解像度を選択する

4 [確定] を押す

設定が確定されて、元の画面が表示されます。

ガンマ調整

読み取ったデータの色バランス（CMYK）を調整します。

C［1］～ R［7］
数値が小さいほど C（シアン）が強調され R（赤）が弱くなり、数値が大きいほど R（赤）が強調され C（シアン）が弱くなります。

M［1］～ G［7］
数値が小さいほど M（マゼンタ）が強調され G（緑）が弱くなり、数値が大きいほど G（緑）が強調され M（マゼンタ）が弱くなります。

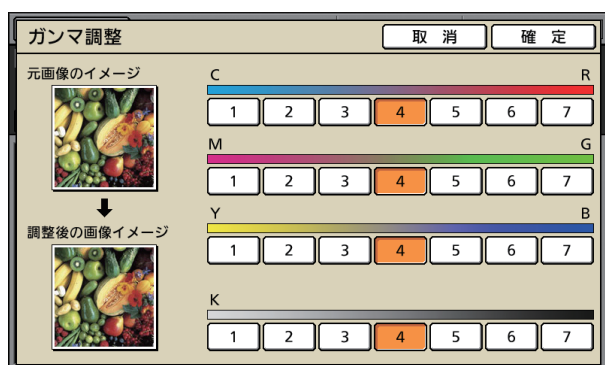
Y［1］～ B［7］
数値が小さいほど Y（イエロー）が強調され B（青）が弱くなり、数値が大きいほど B（青）が強調され Y（イエロー）が弱くなります。

K［1］～［7］
数値が大きいほど K（ブラック）が強調され、小さいほど弱くなります。

カラーモードで［白黒］［単色シアン］［単色マゼンタ］が選択されている場合、ガンマ調整ができるのは K のみです。C ～ R、M ～ G、Y ～ B の調整はできません。（p. 2-8「カラーモード」）

1 コピーモード画面で［機能一覧］を押す

2 ［ガンマ調整］を押す

［ガンマ調整］画面が表示されます。

3 それぞれの色のバランスを選択する

［調整後の画像イメージ］が、色バランスの調整された画像に変わります。

4 ［確定］を押す

設定が確定されて、元の画面が表示されます。

画像詳細設定

スキャナーで読み取る原稿に対して、適切な画像処理を設定します。

[オート]
「カラーモード」と「原稿」の設定から、自動的に値が設定されます。(p. 2-8「カラーモード」、p. 2-12「原稿」)

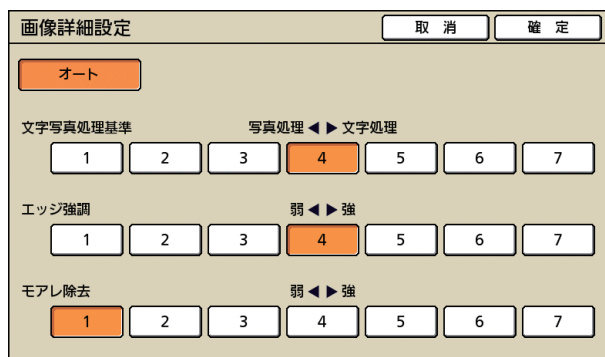
文字写真処理基準［1］～［7］
数値が大きいほど輪郭のあいまいな文字も文字として認識します。

エッジ強調［1］～［7］
数値が大きいほど、文字として認識した部分のエッジを強調します。

モアレ除去［1］～［7］
数値が大きいほど、写真として認識した部分のモアレを緩和します。

1 コピーモード画面で［機能一覧］を押す

2 ［画像詳細設定］を押す

［画像詳細設定］画面が表示されます。

3 画像詳細設定を選択する

4 ［確定］を押す

設定が確定されて、元の画面が表示されます。

下地カット

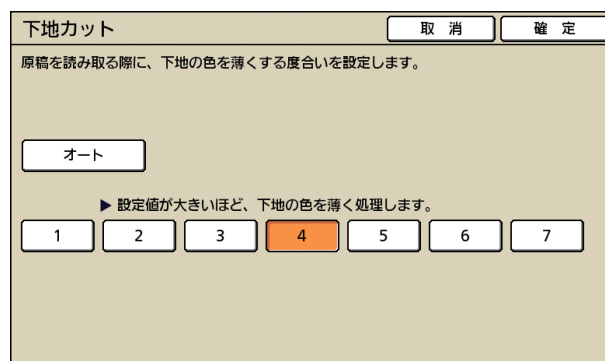
背景に色の付いた文字原稿や色紙など、コピーすると文字が読みにくい場合に、背景色（地色）だけを薄くします。

[オート]
自動的に背景色の濃度が設定されます。

下地色の濃度［1］～［7］
数値が大きいほど背景色の色をカットします。

1 コピーモード画面で［機能一覧］を押す

2 ［下地カット］を押す

［下地カット］画面が表示されます。

3 下地カットの設定を選択する

4 ［確定］を押す

設定が確定されて、元の画面が表示されます。

2

プログラム印刷

グループ（部署やクラス）ごとに必要部数が異なる場合に便利な機能です。
グループごとに部数、組数、ソート、合紙などをプログラムに登録しておけば、必要な部数を必要な組数だけ手早くプリントできます。

60 グループまで設定できます。

■部数と組数の入力例

・ 部数は 1 ～ 9999、組数は 1 ～ 99 の範囲で入力してください。

例えば学校で 1 年生の父兄にお知らせを配布する場合、プログラム印刷を使えば、一度のコピーでクラスごとの枚数に分けて出力することができます。

	1 組	2 組	3 組	4 組	5 組	6 組
生徒数	35人	33人	35人	30人	32人	33人

グループごとに出力するときは、以下のように設定します。

	1 組	2 組	3 組	4 組	5 組	6 組
部数×組数	35 × 1	33 × 1	35 × 1	30 × 1	32 × 1	33 × 1

また、1 組と 3 組、2 組と 6 組の生徒数は同じですので、以下のように設定しても、クラスごとの枚数に分けて出力できます。

	1組と3組	2組と6組	4 組	5 組
部数×組数	35 × 2	33 × 2	30 × 1	32 × 1

■ソート

プログラム印刷の区切り（ページごとまたは部ごと）を設定します。

[オート]
原稿をオートフィーダーにセットした場合は部ごとに、原稿台ガラスにセットした場合はページごとにソートされます。

[ページごと]
ページごとにコピーします。

[部ごと]
部ごとにコピーします。

■合紙

合紙の挿入を設定します。

[OFF]
合紙を挿入しません。

[組ごと]
組ごとに合紙を挿入します。

[グループごと]
グループごとに合紙を挿入します。

トレイ指定
［組ごと］または［グループごと］を選択する場合は、［合紙］をセットしている用紙トレイを設定します。

■合紙への番号印字

[ON]
合紙の設定が［組ごと］の場合は、グループ番号と組番号、［グループごと］の場合は、グループ番号を印字します。

[OFF]
番号印字しません。

- 合紙への番号印字ができるのは、部数が 2 部以上の場合のみです。
- 機能一覧画面の「ソート／合紙」機能とは、併用できません。

■オフセット排紙

印刷物の区切りごとに排紙位置をずらします。

[OFF]
オフセット排紙しません。

[組ごと]
組ごとに排紙位置をずらします。

[グループごと]
グループごとに排紙位置をずらします。

「オフセット排紙」には、RISO フィニッシャーまたは RISO オフセット排紙トレイが必要です。

プログラム印刷をする

グループ（01G ～ 60G）ごとに部数、組数などを新規に設定します。

1 コピーモード画面で［機能一覧］を押す

2 ［プログラム印刷］を押す

［プログラム印刷（1）］画面が表示されます。

3 部数と組数を入力する

入力ボックスを押してから、テンキーで入力してください。部数と組数を入力すると、合計部数が表示されます。

- 入力し直すときは、［クリア］キーを押してください。
- ［＊］キーを押すと、次の入力ボックスに入力できます。
- ［▲］［▼］を押すとスクロールします。

今回だけ使用する場合は手順 4 へ、登録する場合は「プログラムを登録する」の手順 3 へ進んでください。

4 ［次へ］を押す

［プログラム印刷（2）］画面が表示されます。

5 ソート／合紙／オフセット排紙を設定する

- 合紙への番号印字ができるのは、部数が 2 部以上の場合のみです。
- 機能一覧画面の「ソート／合紙」機能とは、併用できません。

6 ［確定］を押す

設定が確定され、コピーモード画面に戻ります。

2

プログラムを登録する

最大 12 件のプログラムを登録し、必要なときに呼び出すことができます。

1 ［プログラム印刷（1）］画面を表示させる

「プログラム印刷をする」の手順1～2を行います。

2 部数と組数を入力する

入力ボックスを押してから、テンキーで入力してください。

- 入力し直すときは、［クリア］キーを押してください。
- ［＊］キーを押すと、次の入力ボックスに入力できます。
- ［▲］［▼］を押すとスクロールします。

3 ［登録／呼出］を押す

［設定リスト］画面が表示されます。

すでに 12 個登録済みの場合は、どれかを消去してから、登録してください。（p. 2-40「プログラムを消去する」）

4 ［設定リスト］画面で、［登録］を押す

［登録名］画面が表示されます。

5 プログラムの登録名を入力する

・ 全角／半角 10 文字以内で入力してください。（p. 31「文字入力のしかた」）

6 ［確定］を押す

登録が確定され、［設定リスト］画面に戻ります。

・ 登録のみを行う場合は、［閉じる］を押し、［プログラム印刷（1）］画面で［取消］を押してください。
・ コピーする場合は、［閉じる］を押し、［プログラム印刷（1）］画面で［次へ］を押してください。

● プログラムを呼び出す

すでに登録してあるプログラムを呼び出します。

1 ［プログラム印刷（1）］画面を表示させる

「プログラム印刷をする」の手順 1 ～ 2 を行います。

2 ［登録／呼出］を押す

［設定リスト］画面が表示されます。

3 呼び出すプログラムを選択する

・ プログラムを 1 つだけ選択してください。

4 ［呼出］を押す

選択した設定の［プログラム印刷（1）］画面が表示されます。

5 ［次へ］を押す

［プログラム印刷（2）］画面が表示されます。

6 ソート／合紙／オフセット排紙を設定する

! 機能一覧画面の「ソート／合紙」機能とは、併用できません。

7 ［確定］を押す

設定が確定され、コピーモード画面に戻ります。

・ ［プログラム印刷（1）］画面に戻るときは、［戻る］を押してください。

● プログラムの登録名を変更する

1 ［プログラム印刷（1）］画面を表示させる

「プログラム印刷をする」の手順 1 〜 2 を行います。

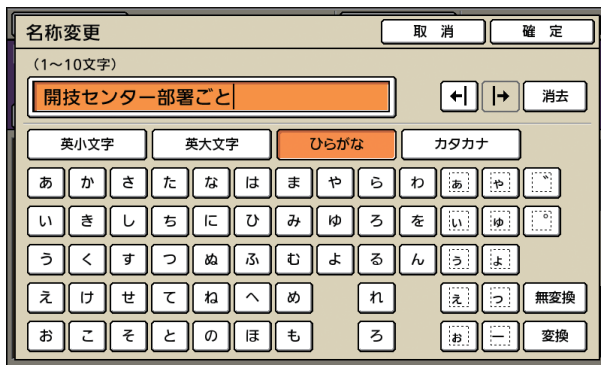
2 ［登録／呼出］を押す

［設定リスト］画面が表示されます。

3 登録名を変更するプログラムを選択する

・ プログラムを 1 つだけ選択してください。

4 ［名称変更］を押す

［名称変更］画面が表示されます。

入力ボックスには、現在の登録名が表示されます。

5 新しい登録名を入力する

・ 文字入力画面で、全角／半角 10 文字以内で入力してください。（p. 31「文字入力のしかた」）

6 ［確定］を押す

新しい登録名が確定され、［設定リスト］画面に戻ります。

・ 名称変更のみを行う場合は、［閉じる］を押し、［プログラム印刷（1）］画面で［取消］を押してください。
・ コピーする場合は、［閉じる］を押し、［プログラム印刷（1）］画面で［次へ］を押してください。

● プログラムの内容を変更する

部数や組数を変更します。

1 ［プログラム印刷（1）］画面を表示させる

「プログラム印刷をする」の手順 1 〜 2 を行います。

2 ［登録／呼出］を押す

［設定リスト］画面が表示されます。

3 設定を変更するプログラムを選択する

4 ［呼出］を押す

［プログラム印刷（1）］画面が表示されます。

5 部数、組数を入力する

・ 部数と組数の入力について詳しくは、「プログラム印刷をする」（p. 2-37）を参照してください。

6 ［変更を上書き］を押す

変更した内容が登録されます。

・ 内容の変更のみを行う場合は、［取消］を押してください。
・ コピーする場合は、［閉じる］を押し、［プログラム印刷（1）］画面で［次へ］を押してください。

● プログラムを消去する

1 **［プログラム印刷（1）］画面を表示させる**

「プログラム印刷をする」の手順 1 ～ 2 を行います。

2 **［登録／呼出］を押す**

［設定リスト］画面が表示されます。

3 **消去するプログラムを選択する**

・ 複数のプログラムを選択することもできます。

4 **［消去］を押す**

【選択された設定を消去します。よろしいですか？】というメッセージが表示されます。

5 **［はい］を押す**

プログラムが消去されて、［設定リスト］画面に戻ります。

6 **［閉じる］を押す**

［プログラム印刷（1）］画面に戻ります。

7 **［取消］を押す**

表紙付け

印刷済みの用紙や色紙などをトレイにセットし、表紙として印刷物の前後に付けることができます。

■ とじ位置

用紙のとじ位置を選択します。

［左側］ ／ ［右側］ ／ ［上側］

■ オモテ表紙

［なし］

［あり］

印刷物の先頭に表紙が追加されます。
使用する用紙トレイを選択してください。

■ ウラ表紙

［なし］

［あり］

印刷物の最後に表紙が追加されます。
使用する用紙トレイを選択してください。

- コピーする用紙と異なるサイズの用紙は、表紙にできません。
- 「紙折り」の「Z 折り」と併用した場合は、Z 折り後のサイズの表紙がつけられます。（p. 2-45「紙折り」）

1 **コピーモード画面で［機能一覧］を押す**

2 **［表紙付け］を押す**

［表紙付け］画面が表示されます。

3 **とじ位置を選択する**

4 表紙を設定する

オモテ表紙とウラ表紙の［あり］［なし］を選択します。

5 トレイ指定ボタンを押す

表紙用の［トレイ指定］画面が表示されます。

表紙用の用紙をセットする用紙トレイを選択して、［確定］を押します。
表紙用紙が設定され、［表紙付け］画面に戻ります。

6 ［確定］を押す

設定が確定されて、元の画面が表示されます。

7 表紙の用紙をセットする

手順５で選択したトレイに、表紙をセットします。

- 用紙のセット面が、トレイにより異なります。
  給紙台：1 ページ目を上に向けてセットする
  用紙トレイ：1 ページ目を下に向けてセットする
  「プリント前の準備」の「用紙をセットする」（p. 39）を参照してください。
- セットする用紙に合わせて、用紙種類や給紙設定を変更してください。（p. 2-9「用紙トレイ」）

ソート／合紙

複数部数コピーするときの排紙方法を設定します。
合紙や、オフセット排紙の設定ができます。

● ソートを設定する

複数部数をコピーするときの、ソートの種類を設定します。

［オート］
原稿をオートフィーダーにセットした場合は部ごとに、原稿台ガラスにセットした場合はページごとにソートされます。
［ページごと］
ページごとにソートします。
［部ごと］
部ごとにソートします。

1 コピーモード画面で［機能一覧］を押す

2 ［ソート／合紙］を押す

［ソート／合紙］画面が表示されます。

3 ソートの種類を選択する

［合紙］または、［オフセット排紙］を設定する場合は、それぞれの手順 2（p. 2-42）へ進んでください。

4 ［確定］を押す

設定が確定され、コピーモード画面に戻ります。

● 合紙を設定する

ページごと・部ごとの区切りやジョブの境目に、合紙を挿入します。

■ 合紙

[OFF]

[区切りごと]

［ソート］で指定した単位ごとに合紙を挿入します。

[ジョブごと]

プリントするジョブごとに合紙を挿入します。

■ トレイ指定

［区切りごと］または［ジョブごと］を選択する場合は、[合紙] をセットしている用紙トレイを設定します。

「給紙台」「トレイ 1」「トレイ 2」「トレイ 3」

合紙用紙として特別な用紙をセットする場合
合紙用のトレイは、「用紙トレイ」の設定で、オート選択の [対象外] に設定することをお勧めします。

1 ［ソート／合紙］画面を表示させる

「ソートを設定する」の手順 1 ～ 2 を行います。

2 合紙の挿入位置を選択する

3 合紙の用紙トレイを選択する

「トレイ指定」ボタンを押すと、［トレイ指定］画面が表示されます。

トレイ指定　取 消　確 定

	用紙サイズ	用紙種類	給紙設定
	B4 257x364mm	普通紙	標準
1	A4 297x210mm	普通紙	標準
2	Custom Paper	普通紙	標準
3	A3 297x420mm	普通紙	標準

合紙用の用紙をセットした用紙トレイを選択して、［確定］を押します。
合紙用紙が設定され、［ソート／合紙］画面に戻ります。

4 ［確定］を押す

設定が確定され、コピーモード画面に戻ります。

● オフセット排紙を設定する

位置をずらして、複数の印刷物を排紙する機能です。

「オフセット排紙」には、オプションの RISO フィニッシャーまたは RISO オフセット排紙トレイが必要です。

[OFF]

[区切りごと]

ソートの区切りごとに、排紙位置をずらします。

[ジョブごと]

プリントするジョブごとに、排紙位置をずらします。

＜オフセット排紙ができる用紙＞

・ RISO オフセット排紙トレイの場合：
　131mm × 148mm ～ 305mm × 550mm

・ RISO フィニッシャーの場合：
　A3 ／ B4 ／ A4 ／ A4 横 ／ B5 横 ／ Foolscap ／ 指定サイズ(203mm × 182mm ～ 297mm × 488mm)

1 ［ソート／合紙］画面を表示させる

「ソートを設定する」の手順 1 ～ 2 を行います。

2 オフセット排紙の設定を選択する

3 ［確定］を押す

設定が確定され、コピーモード画面に戻ります。

オート回転

セットした原稿に対しトレイにセットした用紙サイズが合っていても、用紙の向きが一致しない場合に、自動的に画像を 90 度回転します。通常は[ON]に設定します。

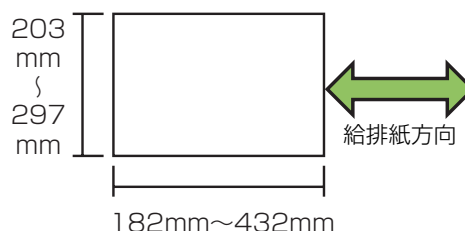
ステープル／パンチ

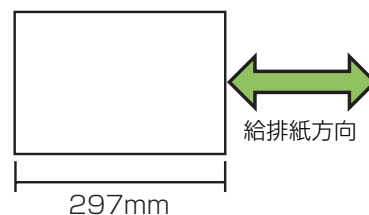
ステープルやパンチを設定できます。

- 「ステープル／パンチ」には、オプションのRISO フィニッシャーが必要です。
- 「ステープル／パンチ」と「小冊子」は併用できません。（p. 2-47「小冊子」）

ステープルを設定する

指定した位置にステープルします。

<ステープルできる用紙>
- 用紙サイズ：A3 ／ B4 ／ A4 ／ A4 横 ／ B5 横 ／ Foolscap ／ 不定形*
  - ＊ あらかじめ、管理者が用紙サイズを登録する必要があります。管理者にお問い合わせください。

- 用紙の重さ：52g/m² ～ 162g/m²
  162g/m² を超える場合は、表紙として 1 枚のみステープル可能です。

<ステープルできる枚数>
- 定形用紙の場合
  A4、A4 横、B5 横：2 ～ 100 枚*
  上記以外の定形用紙：2 ～ 65 枚*
  （A3、B4）
- 不定形用紙の場合
  用紙の長さが 297mm を超える場合：2 ～ 65 枚
  用紙幅、用紙の長さが共に 216mm を超える場合：2 ～ 65 枚
  上記以外の不定形用紙：2 ～ 100 枚

＊ 理想用紙 IJ の場合

最大ステープル枚数を超えるジョブをプリントすると、ステープルされずにスタックトレイに排紙されます。

■原稿セット方向

[読める向き]
ユーザーから見て、原稿を読める向きにセットする場合に選択します。
[左向き]
ユーザーから見て、原稿の上辺を左側にセットする場合に選択します。

■とじ位置

用紙をとじる位置を選択します。
[左側] ／ [右側] ／ [上側]

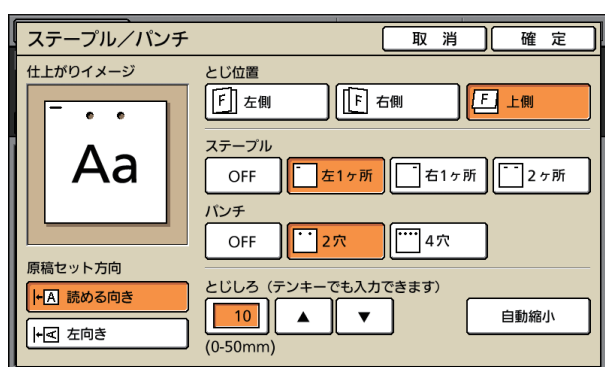
■ステープル

ステープルの位置を選択します。
[OFF] ／ [1ヶ所]（または [左1ヶ所] ／ [右1ヶ所]）／ [2ヶ所]

[左1ヶ所] と [右1ヶ所] は、とじ位置で [上側] を設定した場合のみ表示されます。

1 コピーモード画面で [機能一覧] を押す

2 [ステープル／パンチ] を押す

[ステープル／パンチ] 画面が表示されます。

[仕上がりイメージ] には、ステープルとパンチのイメージが表示されます。

3 原稿のセット方向を選択する

4 とじ位置を選択する

5 ステープルを設定する

6 [確定] を押す

設定が確定されて、元の画面が表示されます。

● パンチを設定する

用紙にパンチ穴を開けます。

<パンチできる用紙>
・用紙サイズ
　2穴：A3 ／ B4 ／ A4 ／ A4横 ／ B5横
　4穴：A3 ／ A4横
・用紙の重さ：52g/m^2 ～ 200g/m^2

■原稿セット方向

[読める向き]
ユーザーから見て、原稿を読める向きにセットする場合に選択します。
[左向き]
ユーザーから見て、原稿の上辺を左側にセットする場合に選択します。

■とじ位置

用紙をとじる位置を選択します。
[左側] ／ [右側] ／ [上側]

■パンチの設定

パンチ穴の数を設定します。
[OFF] ／ [2穴] ／ [4穴]

1 [ステープル／パンチ]画面を表示させる

「ステープルを設定する」の手順1～2を行います。

2 原稿のセット方向を選択する

3 とじ位置を選択する

4 パンチを設定する

5 ［確定］を押す

設定が確定されて、元の画面が表示されます。

● とじしろを設定する

ステープルやパンチがプリント面にかからないように、とじしろ（余白）を設定できます。
とじしろは、0mm ～ 50mm の範囲（1mm 単位）で設定できます。

1 ［ステープル／パンチ］画面を表示させる

「ステープルを設定する」の手順 1 ～ 2 を行います。

2 とじしろを設定する

- 入力ボックスを押してから、［▲］［▼］またはテンキーで入力してください。
- 入力し直すときは、［クリア］キーを押してください。
- とじしろを設定したためにプリントの一部が欠ける場合は、［自動縮小］を押してください。

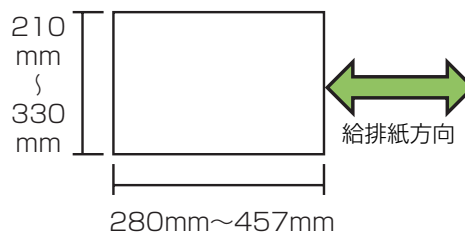
3 ［確定］を押す

設定が確定されて、元の画面が表示されます。

紙折り

二つ折りや Z 折りなど、紙折りの設定をします。

- オプションの中とじ機能または紙折りユニット付きRISOフィニッシャーが接続されている場合、コピーされた用紙を指定の形に折ることができます。
- 「三つ折り」、「二つ折り」と「ステープル／パンチ」は併用できません。

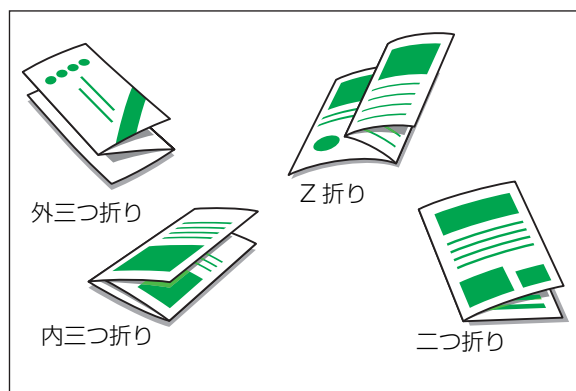
<紙折りできる用紙>
- 紙折りできる用紙と折り方向
  二つ折り：A3、B4、A4、Foolscap、
  不定形サイズ*
  ＊ あらかじめ、管理者が用紙サイズを登録する必要があります。管理者にお問い合わせください。
  内三つ折り、外三つ折り：A4
  Z 折り：A3、B4

- 用紙の重さ：60g/m² ～ 90g/m²

■ 原稿セット方向

［読める向き］
ユーザーから見て、原稿を読める向きにセットする場合に選択します。

［左向き］
ユーザーから見て、原稿の上辺を左側にセットする場合に選択します。

■紙折りの種類

[OFF] ／ [二つ折り] ／ [内三つ折り] ／
[外三つ折り] ／ [Z 折り]

フィニッシャーの種類により、設定可能な「紙折り」の種類は異なります。

「二つ折り」には、RISO フィニッシャー M が必要です。
「三つ折り」「Z 折り」には、紙折りユニット付き RISO フィニッシャーが必要です。

■折り方向（印字面）

二つ折り、内三つ折り、または外三つ折りを選択した場合、用紙を折ったときに、どの面に印字させるかを選択します。

[内側に印字]
片面印刷の場合：プリント面を内側にして紙を折ります。
両面印刷の場合：1 ページ目を内側にして紙を折ります。

[外側に印字]
片面印刷の場合：プリント面を外側にして紙を折ります。
両面印刷の場合：1 ページ目を外側にして紙を折ります。

■とじ位置

Z 折りを選択した場合は、用紙のとじ位置を設定します。
[左とじ] ／ [右とじ]

■Z 折り混在

Z 折りを選択している場合、以下の組み合わせで、Z 折りした用紙と Z 折りしていない用紙を混ぜて出力できます。[出力用紙サイズ] は、Z 折りする用紙サイズを指定してください。

・ A4 横と A3（Z 折り）
・ B5 横と B4（Z 折り）

[OFF] ／ [ON]

[ON] に設定すると、「原稿サイズ混在」(p. 2-28) が自動的に ON になります。

1 コピーモード画面で［機能一覧］を押す

2 ［紙折り］を押す

［紙折り］画面が表示されます。

［仕上がりイメージ］には、設定内容に合わせた「仕上がりイメージ」が表示されます。

3 原稿のセット方向を選択する

4 折り種類を選択する

5 折り方向（印字面）またはとじ位置を選択する

6 Z 折り混在について選択する（[Z 折り] を選択しているときのみ）

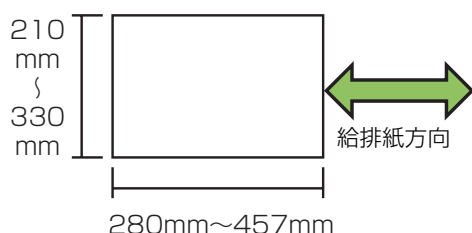
7 ［確定］を押す

設定が確定されて、元の画面が表示されます。

小冊子

連続するページを面付けして両面印刷し、用紙を二つ折りにした小冊子を作成します。ステープルで中とじもできます。

- ［折り］、［折り + ステープル］には、オプションの RISO フィニッシャー M が必要です。
- 「小冊子」と「原稿サイズ混在」は併用できません。（p. 2-28「原稿サイズ混在」）
- 「小冊子」と「ステープル／パンチ」は併用できません。（p. 2-43「ステープル／パンチ」）

＜小冊子が作成できる用紙＞
・ 用紙サイズ
A3、B4、A4、Foolscap、不定形サイズ*
＊ あらかじめ、管理者が用紙サイズを登録する必要があります。管理者にお問い合わせください。

・ **用紙の重さ：60g/m^2 ～ 90g/m^2**

■小冊子の設定

小冊子にするための、面付け、折り、ステープルの設定をします。

［OFF］
小冊子の設定をしません。

［面付け］
小冊子用の面付けをします。

［折り］
用紙を二つ折りにします。

［折り + ステープル］
用紙を二つ折りして、ステープル（中とじ）します。

■とじ位置

用紙のとじ位置を設定します。

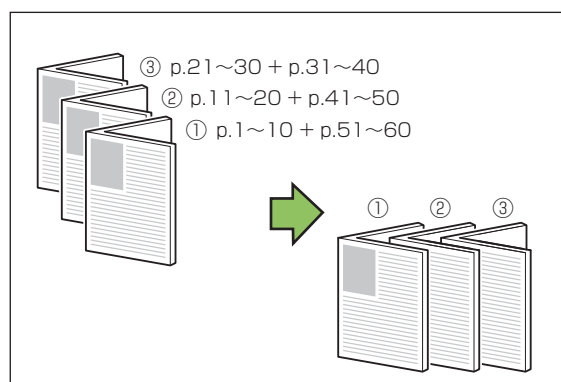
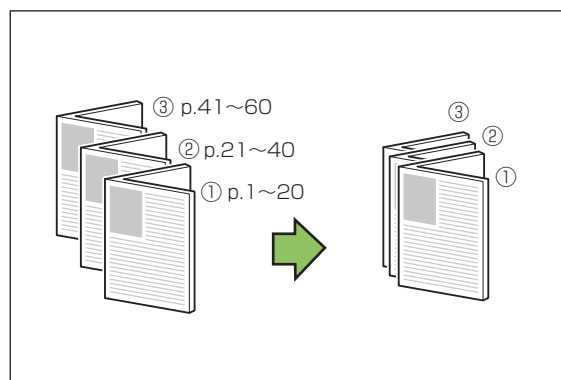
［左開き］／［右開き］／［上下開き］

■分冊処理

［折り］［折り＋ステープル］を選択した場合、1 回に折れる枚数に制限があります。
［折り］の場合は 5 枚（20 ページ）、［折り＋ステープル］の場合は 15 枚（60 ページ）です。
この枚数を超えるページ数がある場合は、上記枚数ごとに 1 回折って排出します（分冊されます）。
その場合、分冊された束を「中とじ」するのか、「平とじ」するのかによって、面付け方法が異なるため、［OFF］［ON］どちらかを選択してください。

［OFF］
分冊を開いた状態で重ねてとじる（中とじする）と、1 冊になるように面付けされます。
OFF を選択すると、［折り＋ステープル］を選択した場合でも、ステープルしません。

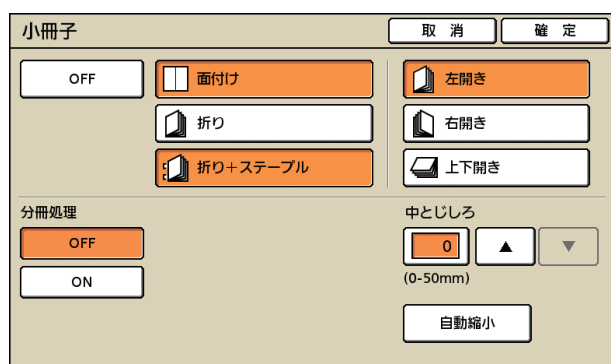
［ON］
分冊を折ったまま重ねてとじる（平とじする）と、1 冊になるように面付けされます。

例：60 ページ　設定が「折り」　分冊処理「OFF」の場合

例：60 ページ　設定が「折り」　分冊処理「ON」の場合

■中とじしろと自動縮小

二つ折りにしたときに折り部分が隠れて見えなくなるのを防ぐために、折り部分の中央に中とじしろ（余白）を設定できます。中とじしろは、0mm ～ 50mmの範囲（1mm 単位）で設定します。
また、中とじしろを設定することによってプリント面が用紙に入りきらない場合は、自動縮小を設定します。

1 コピーモード画面で［機能一覧］を押す

2 ［小冊子］を押す

［小冊子］画面が表示されます。

3 小冊子の種類を選択する

［折り］、［折り＋ステープル］を選択すると、自動的に［面付け］が ON になります。面付けが不要な場合は、［面付け］を押して、OFF にしてください。

4 とじ位置を選択する

5 分冊処理を設定する

6 中とじしろを入力する

- 入力ボックスを押してから、［▲］［▼］またはテンキーで入力してください。
- 入力し直すときは、［クリア］キーを押してください。
- 中とじしろを設定したためにプリントの一部が欠ける場合は、［自動縮小］を押してください。

7 ［確定］を押す

設定が確定されて、元の画面が表示されます。

排紙先選択

排紙先のトレイと連続排紙を設定します。

「排紙先選択」には、オプションの RISO フィニッシャー、排紙台のいずれかが必要です。

● 排紙先を選択する

印刷物を排出するトレイを選択します。

[オート]
自動的に適切なトレイが選択されます。また「連続排紙」を［ON］に設定する場合は、［オート］を選択してください。

オプションごとの排紙トレイ
排紙トレイを選択します。

接続しているオプションにより、［排紙先選択］画面に表示されるトレイの内容が変わります。

1 コピーモード画面で［機能一覧］を押す

2 ［排紙先選択］を押す

［排紙先選択］画面が表示されます。

3 排紙先を選択する

4 ［確定］を押す

設定が確定されて、元の画面が表示されます。

● 連続排紙を設定する

排紙先の紙がいっぱいになったときに、自動的に他の排紙先に切り替えます。
以下から選択してください。

[ON] ／ [OFF]

- オプションの RISO フィニッシャー、または RISO オートフェンス排紙台が必要です。
- 排紙先を［オート］およびソートを［ページごと］に設定しておく必要があります。

1 ［排紙先選択］画面を表示させる

「排紙先を選択する」の手順１～３を行います。

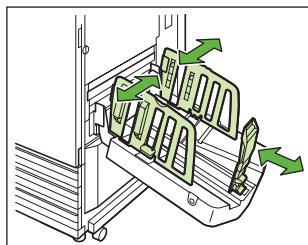
2 連続排紙の［ON］を押す

3 ［確定］を押す

設定が確定されて、元の画面が表示されます。

2

排紙フェンス調整

オプションの RISO オートフェンス排紙台の排紙フェンス位置を調整します。

■ 排紙フェンスの自動調整

通常は、［オート］に設定します。

［オート］

用紙サイズに合わせて、排紙フェンスの位置が自動的に調整されます。

■ 排紙フェンスの手動調整

オートで設定された位置よりも、フェンスの位置を広げたり狭めたりできます。
サイドフェンス、エンドフェンスのそれぞれを調整できます。

［広げる］

押すたびに、排紙フェンスの位置が 1mm ずつ排紙台の外側に移動します。

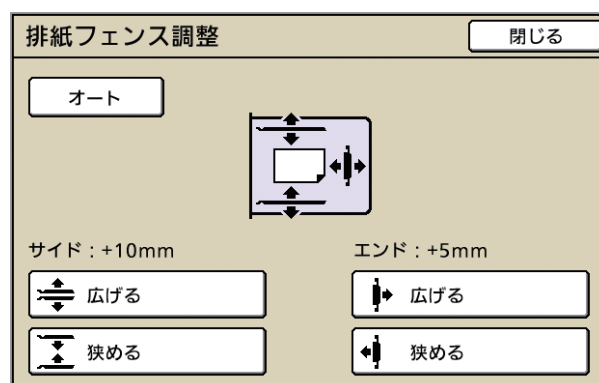
［狭める］

押すたびに、排紙フェンスの位置が 1mm ずつ排紙台の内側に移動します。

RISO オートフェンス排紙台は、用紙を取り除くときなどに、フェンスオープンキーにより手動でフェンスを移動することもできます。
RISO オートフェンス排紙台のフェンスオープンボタンについて詳しくは、「各部の名称とはたらき」の「排紙台（オプション）」（p. 24）を参照してください。

1 コピーモード画面で［機能一覧］を押す

2 ［排紙フェンス調整］を押す

［排紙フェンス調整］画面が表示されます。

3 排紙フェンスの位置を調整する

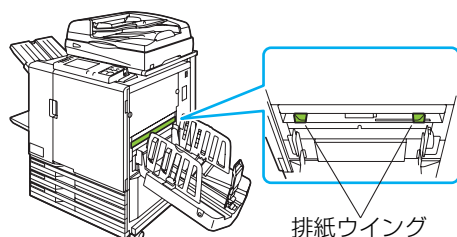
フェンスの移動量が、画面に表示されます。

- 調整した値を 0mm に戻すには、［オート］を押してください。
- 電源を「OFF」にしたとき、［リセット］キーを押したとき、用紙サイズを変更したときも、調整した値が 0mm に戻ります。

4 ［閉じる］を押す

設定が確定されて、元の画面が表示されます。

排紙ウイング特殊

オプションの排紙台に排紙する場合、用紙の紙揃えをよくするために、排紙ウイングの位置を調整することができます。通常、排紙ウイングの位置は、用紙の種類、サイズから自動的に調整されますが、使用する用紙によって、紙揃えが悪くなる場合があります。この場合、排紙ウイング特殊を設定します。

［排紙ウイング特殊］ボタンは、あらかじめ登録されている場合のみ表示されます。登録する場合や設定を変更する場合は、お買い上げの販売会社（あるいは、保守・サービス会社）にご連絡ください。

1. **コピーモード画面で［機能一覧］を押す**
2. **［排紙ウイング特殊］を押す**

   ［排紙ウイング特殊］が設定されます。

ヘッドクリーニング

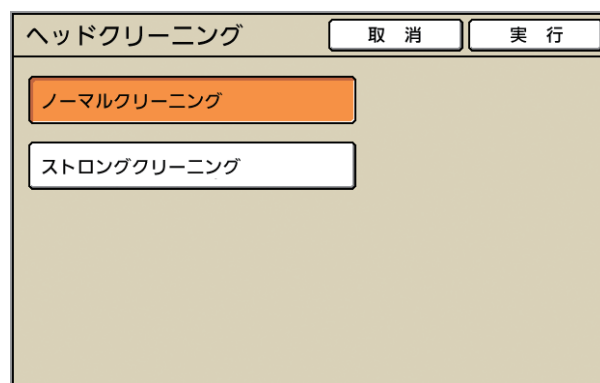
コピーの一部がかすれる、白い線が出る、色が薄いなど、画質に問題があるときには、インクヘッドをクリーニングしてください。

［ノーマルクリーニング］
ヘッド部分のつまりを防ぐためのクリーニングです。

［ストロングクリーニング］
ヘッド部分がつまったときなどに行う強力なクリーニングです。

一定のプリント枚数ごとに、自動的にノーマルクリーニングを行うように管理者設定されています。

1. **コピーモード画面で［機能一覧］を押す**
2. **［ヘッドクリーニング］を押す**

   ［ヘッドクリーニング］画面が表示されます。

3. **ヘッドクリーニングの種類を選択する**
4. **［実行］を押す**

   【クリーニング中です。しばらくお待ちください。】というメッセージが表示されます。ヘッドクリーニングが終了すると、元の画面に戻ります。

前扉ロック解除

本機は、通常時には前カバーを開けることはできません。用紙がつまったり、インクが無くなったり、前カバーを開ける必要がある場合には、ロックが解除され、開けることができるようになります。

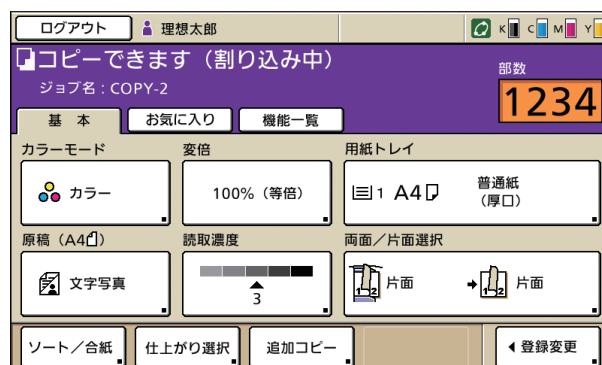
通常時に前カバーを開けたい場合は、このボタンを押します。ロックが解除され、前カバーを開けることができます。

前カバーを閉めると、本機は動作開始時にロックをかけます。

割込みコピー

プリント中の作業を一時停止し、別の原稿をコピーすることができます。

1 ［割込み］キーを押す

割り込み中画面が表示されます。

2 原稿をセットし、［スタート］キーを押す

・ メッセージエリアに【コピーできます（割り込み中）】と表示されている間は、続けて割込みコピーができます。

3 コピーが終了したら、［割込み］キーを押して設定を解除してください。

一時停止していたジョブが再開されます。

・ 本機を 60 秒の間操作しない場合も、割込みコピーは解除されます。

- 割込みコピーは、以下の機能は設定できません。
  ［プログラム印刷］／［合紙］／［表紙付け］／［AF 原稿追加］／［ボックス保存］／［アーカイブ保存］／［暗証番号をつける］
- フィニッシャーへ排出しているジョブに割込みコピーをする場合、以下の機能は設定できません。
  ［ステープル］／［パンチ］／［紙折り＊］／［小冊子］／［表紙付け］／［分冊処理］／［とじしろ］
  ＊ 紙折りには、2 つ折り、3 つ折り、Z 折り機能などを含みます。

スキャナー

スキャン操作の概要

紙の原稿を読み取って、データ化することができます。
読み取ったデータの用途により、保存形式を選択できます。画像をパソコンに取り込んで、メールに添付したり、USB メモリに保存するには、[パソコンで使える形式]を選択します。画像を本機のボックスに保存し、必要な時にプリントするには、[本機でプリントできる形式(ボックスに保存)]を選択します。
使用する目的に合わせて選択してください。
この章では、[パソコンで使える形式]について記載しています。
スキャン機能を使用するには、オプションのスキャナーが必要です。

[本機でプリントできる形式]については、「コピー」の「ボックス保存」(p. 2-24)を参照してください。

手順

スキャン操作の流れは、次のとおりです。

1　原稿をセットする
2　スキャナーモードを選択する
3　保存形式を選択する
4　保存先／宛先を選択する
5　機能を設定する
6　[スタート]キーを押す

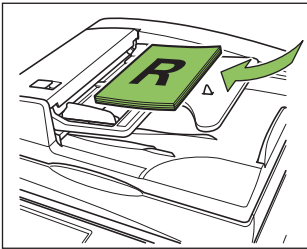
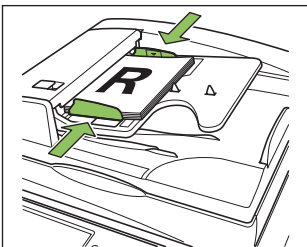
1 原稿をセットする

セットできる原稿については、「紙原稿について」
（p. 17）を参照してください。

原稿用紙の周囲 1mm は読みとれません。
（周囲 1mm に画像がある場合、画像は欠けてしまいます。）

■オートフィーダーの場合

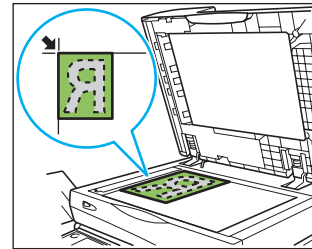
1 原稿をオートフィーダーにセットする

原稿を揃えて、スキャンする面を上に向けてください。

2 原稿フェンスをスライドして、原稿に合わせる

■原稿台ガラスの場合

原稿カバーを開いて、原稿をセットします。

1 原稿カバーを開く

2 原稿をセットする

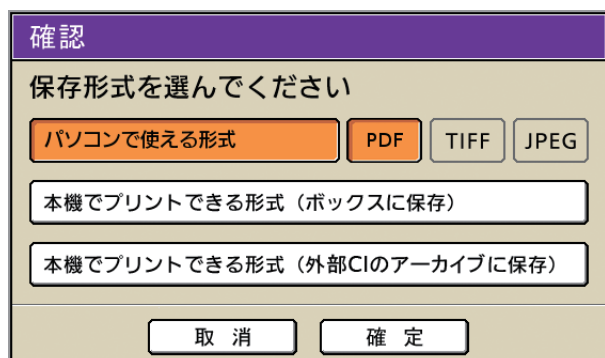
スキャンする面を下に向けて、ガラス面左奥の矢印に原稿の隅を合わせます。

3 原稿カバーを閉じる

原稿カバーの開閉は静かに行ってください。

2 スキャナーモードを選択する

1 モード選択画面で、[スキャナー] を押す

- モード選択画面は、モードキーを押すと表示されます。
- スキャナーモード画面を表示する前に、ログインが必要な場合があります。
- ログイン中のユーザーにアクセス権のないモードのボタンは、グレーアウトされます。
- オプションの IC カードリーダーをご使用の場合は、カードリーダーに IC カードをかざすとログインできます。
- 表示されるモードボタンは、接続しているオプションにより異なります。

データ保存形式の確認画面が表示されます。

3 保存形式を選択する

■ [パソコンで使える形式] を選択する

ファイル形式（PDF、TIFF、または JPEG）を選択します。保存したデータは、以下のように利用できます。

- 本機内蔵ハードディスクに保存する（RISO コンソールで取り出します）
- USB メモリに保存する
- ネットワーク上のコンピュータに保存する
- メールに添付する

1 [PDF]、[TIFF]、[JPEG] の中から、どれか 1 つを押す

2 [確定] を押す

スキャナーモード画面が表示されます。

■ [本機でプリントできる形式（ボックスに保存）] を選択する

[ボックス保存] 画面に移行します。
保存したデータは、本機内のボックスに保存され、本機からプリントすることができます。
詳しくは「コピー」の「ボックス保存」（p. 2-24）を参照してください。

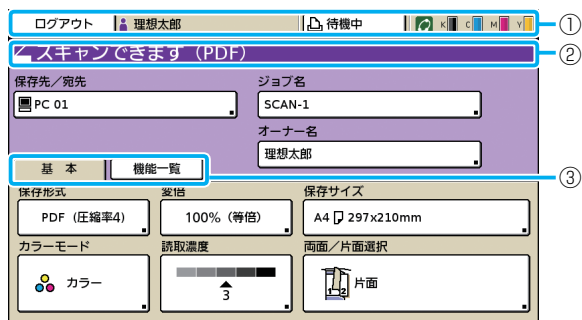
■ [本機でプリントできる形式（外部 CI のアーカイブに保存）] を選択する

[本機でプリントできる形式（外部 CI のアーカイブに保存）] は、本機にオプションの外部コントローラ（ComuColorExpress IS900C）が接続されている場合に表示されます。詳しくは「コピー」の「アーカイブ保存」（p. 2-26）を参照してください。

管理者の設定により、[確認] 画面が表示されない場合があります。その場合は、スキャナーモード画面の [保存形式] で設定してください。（p. 3-9「保存形式」）

● 4 保存先／宛先を選択する

スキャンしたデータの保存先／宛先を設定します。

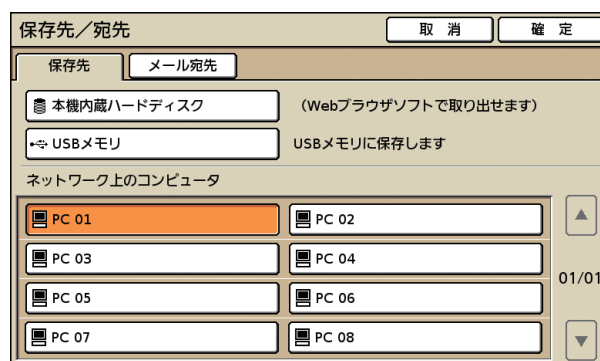
スキャナーモード画面の［保存先／宛先］には、現在設定されている保存先またはメールの宛先が表示されています。

①ステータスバー
ログインボタンまたはログアウトボタン、ユーザー名、本機の状態（プリンタステータスボタン）、インク残量が表示されます。

②メッセージエリア
メッセージ、ファイル形式が表示されます。

③画面切り替えボタン
基本画面、機能一覧画面を表示します。
基本画面は、スキャン時の基本的な設定ができます。
機能一覧画面は、スキャン時の各機能の設定ができます。

■本機内蔵ハードディスクに保存する

スキャンデータを、本機の内蔵ハードディスクに保存します。保存したデータは、ユーザーのパソコンにダウンロードできます。「RISO コンソール」の「［スキャナー］メニュー」(p. 5-13) を参照してください。

1 スキャナーモード画面で、［保存先／宛先］を押す

［保存先／宛先］画面が表示されます。

［メール宛先］画面が表示されたときは、［保存先］を押してください。

2 ［本機内蔵ハードディスク］を押す

3 ［確定］を押す

元の画面が表示されます。

本機内蔵ハードディスクに保存したデータは、コンソールでダウンロードして使います。(p. 5-14「スキャンジョブをパソコンに ダウンロードする」)
スキャンデータの保存期間は、管理者によって設定されています。

■USB メモリに保存する

スキャンデータを、本機の USB ポートに接続した USB メモリに保存します。

本機のご使用により、USB メモリのデータが損なわれても、当社では一切の責任を負いかねます。データ保護のために、事前にバックアップを取ることをお勧めします。

1 本機の USB ポートに、USB メモリを差し込む

USB ポートについては、「「各部の名称とはたらき」（p. 23）」を参照してください。

2 スキャナーモード画面で、［保存先／宛先］を押す

［保存先／宛先］画面が表示されます。

［メール宛先］画面が表示されたときは、［保存先］を押してください。

3 ［USB メモリ］を押す

4 ［確定］を押す

元の画面が表示されます。

- USB メモリは、保存が終了するまで抜かないでください。
- 本機にUSBメモリが接続されていない場合は、［保存先／宛先］画面の［USB メモリ］は、グレーアウトされます。

■ネットワーク上のコンピュータに保存する

スキャンデータをネットワーク上のコンピュータに保存します。

1 スキャナーモード画面で、［保存先／宛先］を押す

［保存先／宛先］画面が表示されます。

［メール宛先］画面が表示されたときは、［保存先］を押してください。

［ネットワーク上のコンピュータ］に保存先のリストが表示されます。

2 データの保存先を選択する

［▲］［▼］を押すとスクロールします。

3 ［確定］を押す

元の画面が表示されます。

［ネットワーク上のコンピュータ］に表示されていないコンピュータに保存する場合は、管理者にお問い合わせください。

■メールに添付する

スキャンデータを、メールに添付して送ります。

1 スキャナーモード画面で、［保存先／宛先］を押す

［保存先／宛先］画面が表示されます。

［保存先］画面が表示されたときは、［メール宛先］を押してください。

2 メールの宛先を選択する

＜メール宛先リストから選択する場合＞

1. 見出しボタンを押して、リストの表示範囲を絞り込む
2. ［▲］を押してスクロールし、メール宛先リストから宛先を選択する

＜宛先を直接入力する場合＞

1. ［直接入力］ボタンを押して、文字入力画面を表示させる
2. 送付先アドレスを入力する
   - 半角256文字以内で送付先アドレスを入力して、［確定］を押してください。
   - 入力し直すときは、［消去］を押してカーソルの左側にある文字を消してください。

メールの宛先の登録は、管理者が行います。管理者の設定によっては、メールアドレスの直接入力ができない場合があります。

3 ［確定］を押す

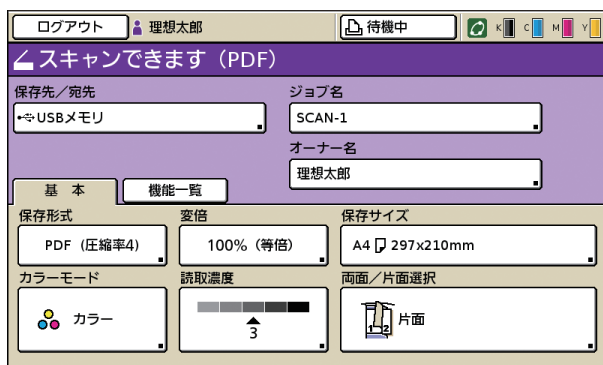
スキャナーモード画面が表示されます。

■ボックスに保存する

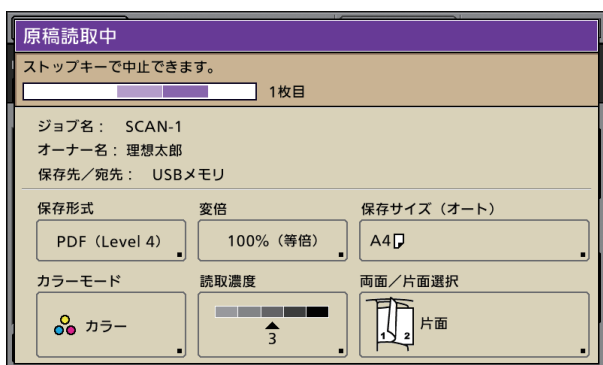
スキャンしたデータを、ボックス保存します。
必要なときに呼び出してプリントできます。
ボックス保存については、「コピー」の
「ボックス保存」（p. 2-24）を参照してください。

● 5 機能を設定する

スキャンの詳細を設定します。

設定できる機能については、「設定項目一覧」（p. 3-8）を参照してください。

● 6 ［スタート］キーを押す

［原稿読取中］画面が表示され、原稿のスキャンが始まります。

スキャン枚数など進捗状況が画面に表示されます。

原稿のスキャンと保存処理が終わると、
スキャナーモード画面に戻ります。

■スキャンを中止する場合

1 ［ストップ］キーまたは［中止］を押す

スキャンが中止されて、スキャナーモード画面が表示されます。

3

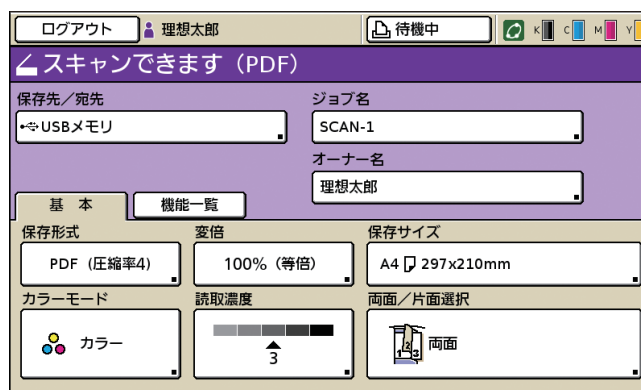
設定項目一覧

スキャナーモードでの設定項目についての一覧を、以下に示します。

- 選択した項目や管理者の設定により、画面に表示されるボタンが変わります。
- 設定に必要なオプションが接続されていない場合、そのオプションに関連する項目は表示されません。

	設定項目	説明	参照ページ
[基本]	保存形式	スキャンしたデータの保存形式を設定します。	p. 3-9
	変倍	スキャンしたデータを拡大または縮小します。	p. 3-10
	保存サイズ	スキャンしたデータの保存サイズを設定します。	p. 3-10
	カラーモード	スキャンするデータのカラーモードを設定します。	p. 3-11
	読取濃度	原稿を読み取るときの濃度を調整します。	p. 3-12
	両面／片面選択	原稿の読み取り面を設定します。	p. 3-12
[機能一覧]	設定確認	現在の設定値を確認／登録し、設定内容をプリントします。	p. 3-13
	設定登録／呼出	よく使う設定内容を 10 件まで登録しておくことができます。	p. 3-13
	原稿	適切な画像処理をしてから保存するために、原稿の種類を選択します。	p. 3-13
	ブック原稿	本などの中央（とじ部分）にできる影を消去します。	p. 3-14
	原稿サイズ指定	スキャンする原稿の読み取りサイズを設定します。	p. 3-14
	原稿サイズ混在	原稿データに複数の原稿サイズが混在する場合に設定します。	p. 3-14
	ガンマ調整	原稿を読み取るときのデータの色バランス（CMYK）を調整します。	p. 3-14
	画像詳細設定	原稿に適した画像処理を設定します。	p. 3-14
	下地カット	文字が読みにくい場合に、背景色（地色）だけを薄くします。	p. 3-14
	暗証番号をつける	スキャンジョブを本機内蔵ハードディスク に保存するときに、暗証番号をつけます。	p. 3-15
	前扉ロック解除	本機の前扉ロックを解除します。	p. 3-15

基本設定

［基本］画面で、スキャン操作時の基本機能を設定します。

保存形式

スキャンしたデータの保存形式、圧縮率、解像度を設定します。

■ 保存形式

［PDF］／［TIFF］／［JPEG］

■ 圧縮率

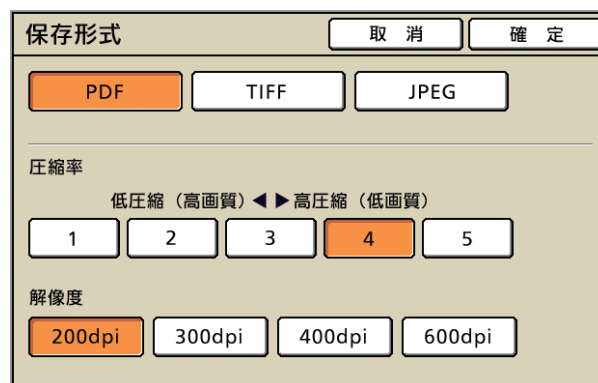
低圧縮（高画質）［1］～［5］高圧縮（低画質）

■ 解像度

［200dpi］／［300dpi］／［400dpi］／［600dpi］

- 400dpi／600dpiを選択した場合は変倍できません。
- ボックスに保存するには、コピーモード画面で「ボックス保存」（p. 2-24）を選択してください。

1 スキャナーモード画面で、［保存形式］を押す

［保存形式］画面が表示されます。

2 保存形式を設定する

3 圧縮率を設定する

・小さい数値を選択するほど低い圧縮率（高画質）、大きい数値を選択するほど高い圧縮率（低画質）で保存されます。

4 解像度を設定する

5 ［確定］を押す

設定が確定されて、元の画面が表示されます。

変倍

スキャンしたデータを拡大または縮小します。
操作方法については、「コピー」の「変倍」(p. 2-9)を参照してください。

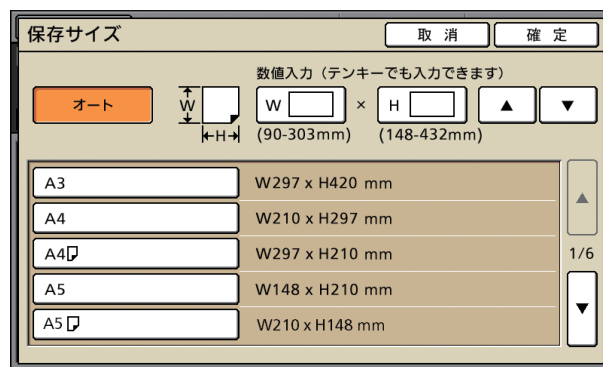
「保存形式」の解像度を［400dpi］または［600dpi］に設定している場合は、変倍できません。

保存サイズ

スキャンしたデータの保存サイズを設定します。
定形サイズから選択するか、サイズを数値入力します。

● 定形サイズから選択する

以下から選択してください。

[オート]
原稿のサイズと変倍率から、データが自動的に拡大縮小されます。

定形サイズ
[A3] ／ [B4] ／ [A4] ／ [A4] ／ [B5] ／ [B5] ／ [A5] ／ [A5] ／ [B6] ／ [B6] ／ [A6] ／ [ハガキ] ／ [Foolscap]

登録済みの不定形サイズも表示されます。

1 **スキャナーモード画面で、[保存サイズ] を押す**

[保存サイズ] 画面が表示されます。

2 **保存サイズを選択する**

3 **[確定] を押す**

設定が確定されて、元の画面が表示されます。

● サイズを数値入力する

不定形サイズ原稿の場合には、原稿のサイズを数値で指定します。

1 スキャナーモード画面で、［保存サイズ］を押す

［保存サイズ］画面が表示されます。

2 保存サイズを数値入力する

入力ボックスを押してから、［▲］［▼］またはテンキーで入力します。

Wは90mm ～ 303mm、H は148mm ～ 432mm の範囲で入力してください。

・ 入力し直すときは、［クリア］キーを押してください。

3 ［確定］を押す

設定が確定されて、元の画面が表示されます。

カラーモード

スキャンするデータのカラーモードを選択します。

［オート］
原稿がカラーか白黒かを自動的に判断します。カラーと判断すれば RGB のデータに変換して保存し、白黒と判断すればブラックのデータに変換して保存します。

［カラー］
RGB のデータに変換して保存します。

［グレースケール］
カラー原稿やカラー写真などを、階調を持った白黒のデータに変換して保存します。

［白黒］
白黒（2 値）データとして保存します。

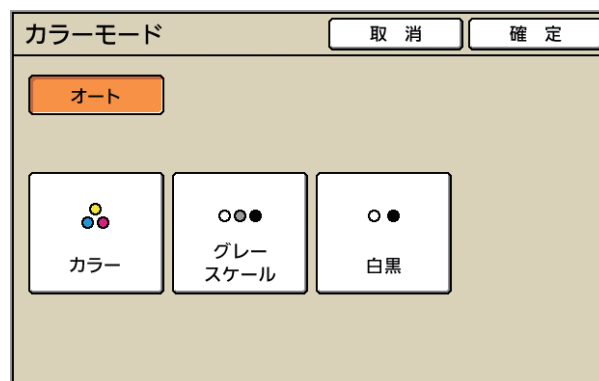
1 スキャナーモード画面で、［カラーモード］を押す

［カラーモード］画面が表示されます。

2 カラーモードを選択する

3 ［確定］を押す

設定が確定されて、元の画面が表示されます。

3

読取濃度

原稿を読み取るときの濃度を調整します。
操作方法については、「コピー」の「読取濃度」（p. 2-13）を参照してください。

両面／片面選択

原稿の読み取り面を設定します。

■ 原稿

［片面］ ／ ［両面］

■ ページめくり方向

両面原稿の場合は、原稿のページめくり方向を選択します。

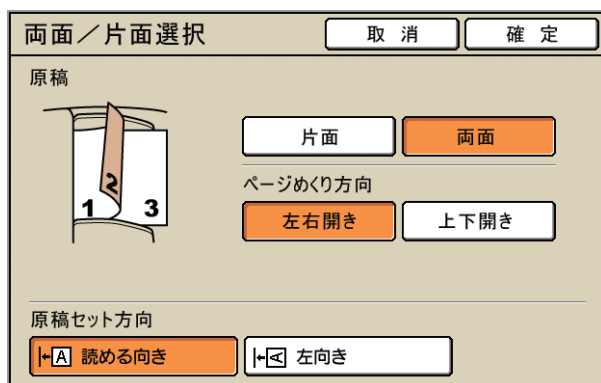
［左右開き］ ／ ［上下開き］

■ 原稿セット方向

［読める向き］
原稿の上部を、原稿台ガラスまたはオートフィーダーに向かって奥側にセットする場合に選択します。

［左向き］
原稿の上部を、原稿台ガラスまたはオートフィーダーに向かって左側（原稿の文字が横向き）にセットする場合に選択します。

1 スキャナーモード画面で、［両面／片面選択］を押す

［両面／片面選択］画面が表示されます。

2 原稿の読み取り面を設定する

・［両面］を選択した場合は、原稿のページめくり方向を選択してください。

3 原稿のセット方向を選択する

4 ［確定］を押す

設定が確定されて、元の画面が表示されます。

いろいろなスキャナー機能

設定確認

スキャナーモードの設定値を確認／登録でき、設定内容のプリントもできます。
操作方法については、「コピー」の「設定確認」(p. 2-18) を参照してください。

設定登録／呼出

よく使う設定内容を10件まで登録しておくことができます。
操作方法については、「コピー」の「設定登録／呼出」(p. 2-19) を参照してください。
スキャナーモードでは、以下の設定が登録できます。

「保存先／宛先」(p. 3-5)
「保存形式」(p. 3-9)
「変倍」(p. 3-10)
「保存サイズ」(p. 3-10)
「カラーモード」(p. 3-11)
「読取濃度」(p. 3-12)
「両面／片面選択」(p. 3-12)
「原稿」(p. 3-13)
「ブック原稿」(p. 3-14)
「原稿サイズ指定」(p. 3-14)
「原稿サイズ混在」(p. 3-14)
「ガンマ調整」(p. 3-14)
「画像詳細設定」(p. 3-14)
「下地カット」(p. 3-14)

原稿

適切な画像処理をして保存するために、原稿の種類を以下から選択します。

[文字写真]
文字と写真が混在している場合に選択します。
[文字]
書類やイラストなどの場合に選択します。
[写真]
写真などの場合に選択します。

1 スキャナーモード画面で［機能一覧］を押す

2 ［原稿］を押す

［原稿］画面が表示されます。

3 原稿の種類を選択する

4 ［確定］を押す

設定が確定されて、元の画面が表示されます。

ブック原稿

本などの中央（とじ部分）にできる影を消去します。
操作方法については、「コピー」の「ブック原稿」
（p. 2-29）を参照してください。

原稿サイズ指定

スキャンする原稿のサイズを設定します。
操作方法については、「コピー」の「原稿サイズ指定」（p. 2-27）を参照してください。

原稿サイズ混在

原稿データに複数の原稿サイズが混在する場合に設定します。混在させられるサイズは「A3 と A4 横」、「B4 と B5 横」です。
操作方法については、「コピー」の「原稿サイズ混在」（p. 2-28）を参照してください。

異なるサイズの原稿を 1 つのサイズの PDF にはできません。[原稿サイズ混在] を設定している場合は、[保存サイズ] を [オート] に設定してください。

ガンマ調整

原稿を読み取るときの色バランスを調整します。
操作方法については、「コピー」の「ガンマ調整」
（p. 2-34）を参照してください。

カラーモードに [グレースケール] または [白黒] が選択されている場合、ガンマ値を調整できるのは K のみです。C ～ R、M ～ G、Y ～ B の調整はできません。（p. 3-11「カラーモード」）

画像詳細設定

原稿に適した画像処理を設定します。
操作方法については、「コピー」の「画像詳細設定」
（p. 2-35）を参照してください。

下地カット

背景に色の付いた文字原稿や色紙など、スキャンすると文字が読みにくい場合に、背景色（地色）だけを薄くします。
操作方法については、「コピー」の「下地カット」
（p. 2-35）を参照してください。

暗証番号をつける

スキャンジョブを本機内蔵ハードディスクに保存するときに、暗証番号をつけます。ここで設定した暗証番号は、RISO コンソールを使用してパソコンにダウンロードするときに必要です。

1 スキャナーモード画面で［機能一覧］を押す

2 ［暗証番号をつける］を押す

［暗証番号をつける］画面が表示されます。

3 ［ON］を押す

4 暗証番号を入力する

暗証番号（8 桁以内の数字）をテンキーで入力してください。

- 入力した暗証番号は［＊］で表示されます。
- 入力し直すときは、［クリア］キーを押してください。

5 ［確定］を押す

設定が確定されて、元の画面が表示されます。

前扉ロック解除

本機は、通常時には前カバーを開けることはできません。用紙がつまったり、インクが無くなったり、前カバーを開ける必要がある場合には、ロックが解除され、開けることができるようになります。

通常時に前カバーを開けたい場合は、このボタンを押します。ロックが解除され、前カバーを開けることができます。

前カバーを閉めると、本機は動作開始時にロックをかけます。

プリンター

プリンターモードでの操作の概要

プリンターが処理しているジョブのリストが表示されます。
データが本機に送信され、まだ出力されていないジョブは、このモード画面から操作します。

- プリント、コピーなどの各モードにおいて、本機が行う処理の単位を「ジョブ」と呼びます。
- 本機から出力しないデータ（スキャンデータ）は、この画面から操作することはできません。
（スキャンデータの作成は「スキャナー」の「スキャン操作の概要」(p. 3-2)、スキャンデータのダウンロードは「RISO コンソール」の「スキャンジョブをパソコンに ダウンロードする」(p. 5-14) を参照してください。）

手順

ジョブを操作する流れは、次のとおりです。

1　プリンターモードを選択する

2　画面切り替えボタンを押す

3　ジョブを選択する

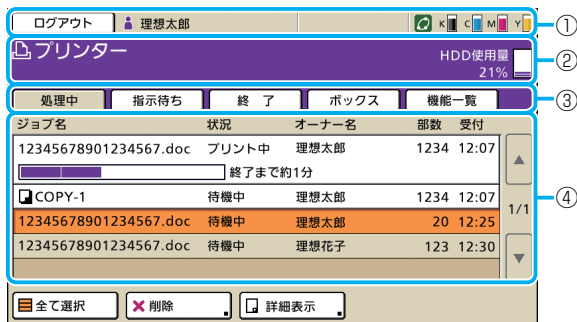
4　プリントする

1 プリンターモードを選択する

プリンターモード画面が表示されます。

- 表示されるモードは、接続しているオプションにより異なります。
- [プリンター] モードにログインするためには、パスワード認証が必要な場合があります。

2 画面切り替えボタンを押す

目的に応じて、操作するジョブが保存されているボタンを押します。

①ステータスバー
ログインボタンまたはログアウトボタン、ユーザー名、インク残量が表示されます。

②メッセージエリア
メッセージ、HDD 使用量が表示されます。

③画面切り替えボタン
処理中画面、指示待ち画面、終了画面、ボックス画面、機能一覧画面を切り替えます。

④ジョブリスト
ジョブ名と処理状況、オーナー名、部数、受付時間が表示されます。

HDD 使用量
メッセージエリアには、本機内蔵ハードディスクの使用量が 10 段階で表示されます。
ハードディスク使用量が91%を超えて表示が点滅し始めたときは、不要なデータを削除して、使用可能なハードディスクの容量を確保してください。

使用量 20%未満

51%以上

91%以上

3 ジョブを選択する

ジョブ名に表示されるアイコン

コピージョブ

暗証番号付きのジョブ

なし
上記以外のジョブ（プリンタドライバで送られたジョブ、ボックスから呼び出されたジョブなど）

操作ボタンについて

ボタンがグレーアウトしている場合は、使用できません。

[全て選択]
リストに表示されているすべてのジョブ（暗証番号付きジョブは除く）を選択します。

[削除]
選択したジョブを削除します。

[詳細表示]
選択したジョブの詳細を表示します。
詳細表示には、2 画面あります。[処理中]［指示待ち］［終了］［ボックス］で、使用できるボタンが異なります。
ボタンがグレーアウトしている場合は、現在の設定を確認するだけで、設定変更はできません。

［このリストをプリント］を押すと、設定一覧をプリント（A4 サイズ）します。

● 4 プリントする

［プリント］を押すと、選択したジョブがプリントされます。

ジョブによっては、暗証番号の入力を求める画面が表示される場合がありますので、画面の指示に従ってください。

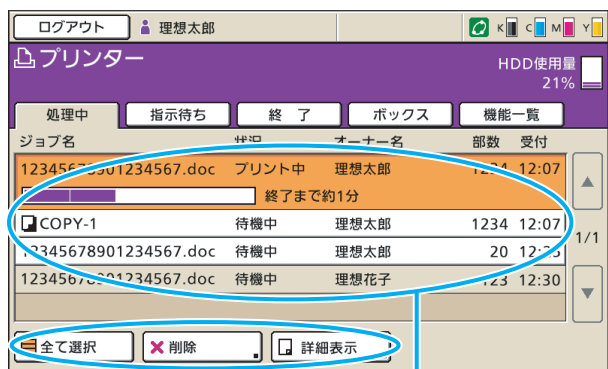
設定項目一覧

	設定項目	説明	参照ページ
[処理中]	削除、プリント、詳細表示	処理中ジョブの詳細確認、プリント、削除などの操作をします。	p. 4-6
[指示待ち]		指示待ちジョブの詳細確認、プリント、削除などの操作をします。	p. 4-7
[終了]		終了ジョブの詳細確認、プリント、削除などの操作をします。	p. 4-8
[ボックス]		ボックスジョブの詳細確認、プリント、コピーなどの操作をします。	p. 4-9
[機能一覧]	オンライン	オンライン／オフラインを切り替えます。	p. 4-14
	用紙トレイ設定	各用紙トレイについて、用紙種類、用紙サイズ、給紙設定、重送検知を設定します。	p. 4-14
	ヘッドクリーニング	インクヘッドのクリーニングをします。	p. 4-15
	排紙フェンス調整	オート排紙台の排紙フェンス位置を調整します。（オプションの RISO オートフェンス排紙台接続時）	p. 4-15
	排紙ウイング特殊	排紙ウィングの位置を調整します。（オプションの排紙台接続時）	p. 4-15
	前扉ロック解除	本機の前扉ロックを解除します。	p. 4-15

ジョブの操作

ここでは、各画面のジョブリストから詳細確認、プリント、削除などを行う方法を説明しています。

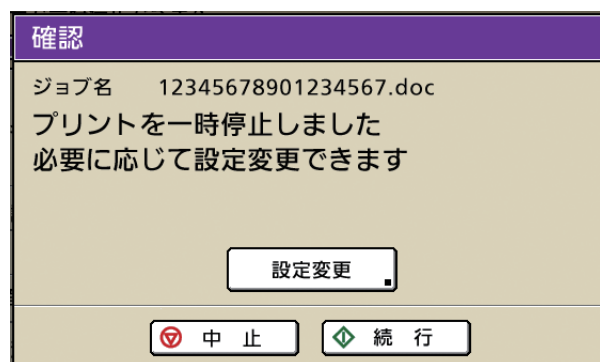
[処理中] 画面

[処理中] を押すと、[処理中] 画面が表示されます。

現在プリント中のジョブと、これからプリントされるジョブが表示されています。
ここに表示されているジョブは、上から順番に自動的にプリントされます。

- ジョブリストには、プリント中、展開中、待機中のジョブ名と処理状況、オーナー名、部数、受付時間が表示されます。
- プリント中のジョブの進捗状況は、プログレスバーで表示されます。
- プリント中のジョブは、設定変更することができます。(p. 4-6「プリント中に設定を変更する」)
- 操作ボタンについては、「操作ボタンについて」(p. 4-4)を参照してください。

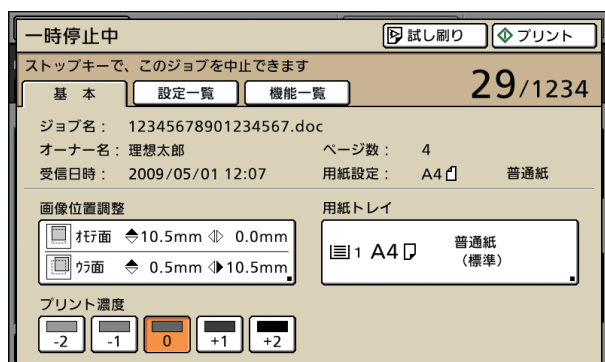
「処理中リスト」の出力順(ジョブの優先順位)について

ログインせずにパソコンからプリントしたジョブよりも、本機で直接プリント指示したジョブが優先されます。プリンタドライバからジョブを送信していても、本機でコピーを実行した場合、コピージョブが優先されます。次に、指示待ちリストで選択したジョブが優先されます。

● プリント中に設定を変更する

[確認] 画面が表示されます。

- [中止] を押すと、プリントを中止して、ジョブを削除します。
- [続行] を押すと、プリントを続けます。

2 ［設定変更］を押す

［一時停止中］画面が表示されます。

［一時停止中］画面の［基本］画面では、次の設定を変更できます。

- 「画像位置調整」（p. 4-12）
- 「用紙トレイ」（p. 4-13）
- 「プリント濃度」（p. 4-13）

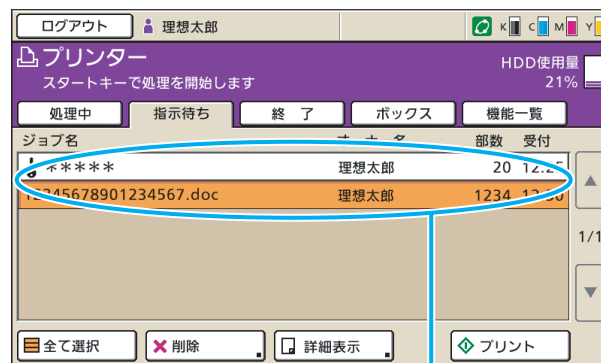
- ［設定一覧］を押すと、設定内容を確認できます。
- 設定一覧に表示されるジョブコメントは、プリンタドライバの設定で入力できます。（p. 1-10「プリンタドライバ」の「出力方法と保存先」）

3 必要に応じて設定を変更し、［プリント］を押す

設定を変更したジョブのプリントが開始されます。

- ［試し刷り］を押すと、直前にプリントした1枚を変更した設定でプリントすることができます。

［指示待ち］画面

［指示待ち］を押すと、［指示待ち］画面が表示されます。

指示待ちジョブリスト

プリントするために、本機操作パネルからの指示が必要なジョブは、このリストに表示されます。

- ジョブリストには、ジョブ名とオーナー名、部数、受付時間が表示されます。

指示が必要なジョブとは

- 暗証番号付き（マークつき）のジョブ（暗証番号の入力が必要）
- プリンターモードでログインが必要な環境の場合は、パソコンから送信したすべてのジョブ *（ログインが必要）
  ＊管理者の設定によっては、ログインしただけでプリントされます。
  （その場合、指示待ちリストには表示されません。）

- ジョブ名が表示文字数の上限を超える場合は、前半を省略して「・・・いろはにほへと.doc」と表示されます。
- 以下の場合は、すべてのジョブ名が表示されます。
  - ユーザーのログインが不要な場合
  - 管理者権限を持つユーザーがログインしている場合
- 以下の場合は、ジョブ名が「＊＊＊＊＊」で表示されます。
  - プリンタドライバで［ジョブ名を隠す］にチェックマークをつけられたジョブ（p. 1-28「コピー」の「暗証番号をつける」）
  - ログインが必要で、ジョブ名を公開していない場合のジョブ

4

ジョブ名に表示されるアイコンの意味
（p. 4-3「ジョブ名に表示されるアイコン」）

操作ボタンについて

ボタンがグレーアウトしている場合は、使用できません。

［全て選択］
リストに表示されているすべてのジョブ（暗証番号付きジョブは除く）を選択します。

［削除］
選択したジョブを削除します。

［詳細表示］
選択したジョブの詳細を表示します。
（p. 4-4「［詳細表示］」）

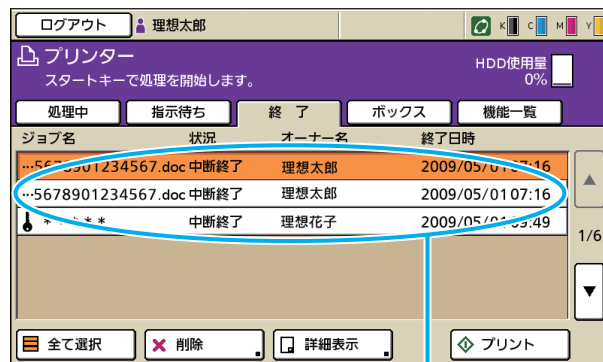
［プリント］
選択したジョブをプリントします。（処理中のジョブリストに表示されます。）

指示待ちリストから［プリント］指示されたジョブは、処理中リストの処理中、展開中の次に表示されます。プリンタドライバで送信されたジョブが待機していても、処理中、展開中のジョブがなければすぐにプリントされます。

■暗証番号付きジョブについて

暗証番号付きジョブを選択して［プリント］を押すと、暗証番号入力画面が表示されます。暗証番号を入力して［確定］を押してください。

［終了］画面

［終了］を押すと、［終了］画面が表示されます。

終了ジョブリスト

プリントが終了したジョブは、このリストに表示されます。
このリストは、本機が処理したジョブの履歴を兼ねていますが、リストに表示されるジョブの保管期間や数は、管理者によって設定されています。

- ジョブリストには、プリントを終了したジョブとエラーにより終了したジョブの、ジョブ名、状況、オーナー名、プリント終了日時が表示されます。

操作ボタンについて

管理者の設定により、使用できない機能があります。（その場合、ボタンはグレーアウトします。）

［全て選択］
リストに表示されているすべてのジョブ（暗証番号付きジョブは除く）を選択します。

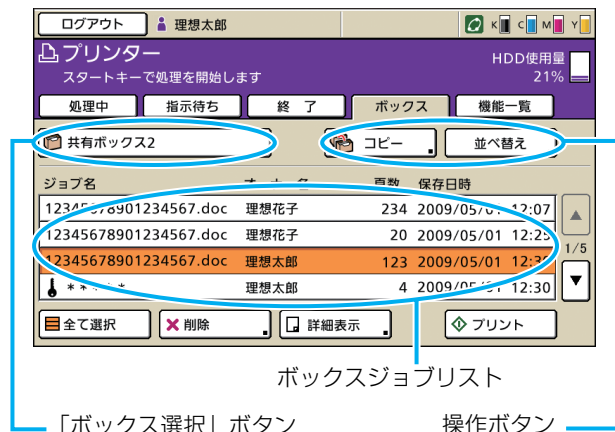
［削除］
選択したジョブを削除します。

［詳細表示］
選択したジョブの詳細を表示します。
（p. 4-4「［詳細表示］」）

［プリント］
選択したジョブを再度プリントします。（処理中のジョブリストに並びます。）

- 終了ジョブリストにあるコピージョブは、再プリントできません。
- 管理者によって、プリントが禁止されている場合があります。（リストとプリントボタンがグレーアウトされます。）

[ボックス] 画面

[ボックス] を押すと、[ボックス] 画面が表示されます。

ボックス保存されたジョブが表示されます。
「ボックス選択」を押して、表示させたいリストのボックスを選択してください。

- ジョブリストには、共有ボックスと個人ボックスに保存されているジョブのジョブ名、オーナー名、頁数、保存日時が表示されます。

ボックス保存されるジョブとは

- プリンタドライバの出力方法で [ボックス保存] を選択したジョブ
- コピーモードでボックス保存したジョブ
- スキャナーモードの [確認] 画面で、[本機でプリントできる形式（ボックスに保存)] を選択したジョブ

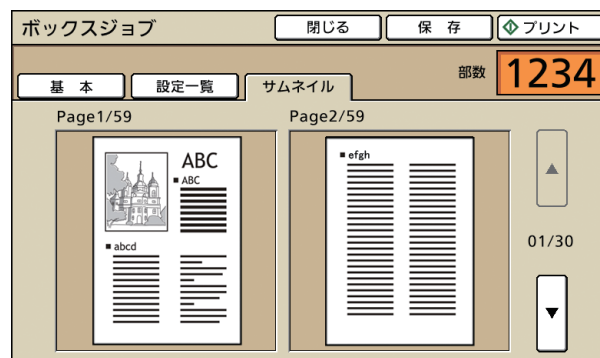
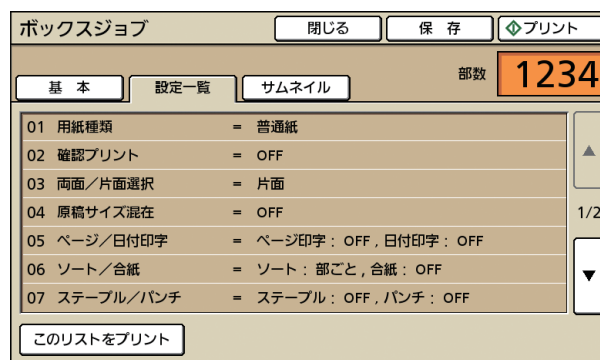
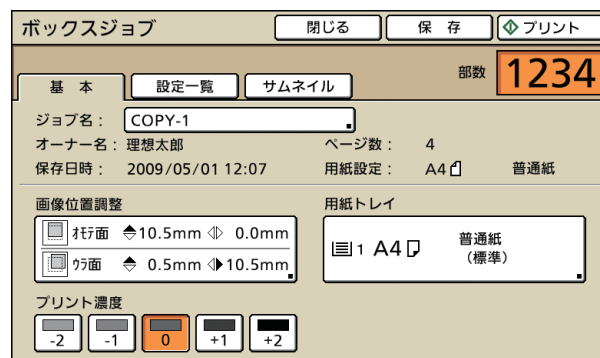
- ボックス機能は、管理者の設定により利用できない場合があります。
- 個人ボックスは、ログインが必要な環境の場合に表示されます。
- 共有ボックスは、管理者によって登録されています。

操作ボタンについて

管理者の設定により、使用できない機能があります。（その場合、ボタンはグレーアウトします。）

[全て選択]
リストに表示されているすべてのジョブ（暗証番号付きジョブは除く）を選択します。

[削除]
選択したジョブを削除します。

[詳細表示]
選択したジョブの詳細を表示します。

設定一覧に表示されるジョブコメントは、プリンタドライバの設定で入力できます。(p. 1-10「プリンタドライバ」の「出力方法と保存先」)

[プリント]
選択したジョブをプリントします。

[コピー]
選択したジョブを、他のボックスにコピーします。

[並べ替え]
現在表示されているリストの表示順を変更します。

4

ボックスジョブをプリントする

ジョブの保存されているボックスがすでに選ばれているときは、手順4から始めてください。

1 [ボックス]画面で、「ボックス選択」ボタンを押す

[ボックス選択]画面が表示されます。

2 プリントするジョブが保存されているボックスを押す

3 [確定]を押す

[ボックス]画面に戻り、選択したボックス内のジョブリストが表示されます。

4 ジョブを選択する

プリントするジョブを押します。

・選択を解除するには、もう一度押してください。

ボックスに保存したジョブは、設定内容とともにデータ化されています。プリントする時は、ボックス保存時と同じ用紙種類でプリントしてください。用紙種類が異なると、プリントの仕上がりが異なります。

[詳細表示]を押して、サムネイル画面を表示させると、印刷イメージを確認することができます。

5 [プリント]を押す

選択したジョブが処理中ジョブリストに移動して、プリントされます。

・暗証番号が設定されたジョブをプリントするときは、【暗証番号をテンキーで入力してください。】と表示される画面で、ジョブに設定した暗証番号（数字8桁以内）をテンキーで入力し、[確定]を押してください。

ジョブを他のボックスへコピーする

ジョブリストに表示されているジョブをコピーするときは、手順4から始めてください。

1 [ボックス]画面で、「ボックス選択」ボタンを押す

[ボックス選択]画面が表示されます。

2 コピーするジョブが保存されているボックスを選択する

3 [確定]を押す

[ボックス]画面に戻り、選択したボックス内のジョブリストが表示されます。

4 ジョブを選択する

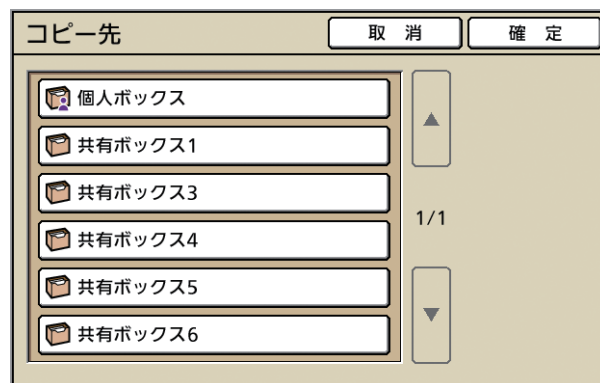
コピーするジョブを押します。

・選択を解除するには、もう一度押してください。

[詳細表示]を押して、サムネイル画面を表示させると、印刷イメージを確認することができます。

5 [コピー]を押す

[コピー先]画面が表示されます。コピー先のボックスを選択してください。

・コピー先に表示されるのは、ログインしているユーザーが利用できるボックスのみです。

6 [確定]を押す

選択したジョブがコピー（保存）されます。

● ジョブリストを並べ替える

1 ［ボックス］画面で［並び替え］を押す

［並び替え］画面が表示されます。

2 ［ジョブ名］、［オーナー名］、［頁数］、［保存日時］のうちのどれによって並び替えるかを決め、その下にある［昇順］または［降順］を押す

3 ［確定］を押す

表示されているリストが並び替えられます。

終了ジョブ、ボックスジョブの設定を変更する

1 ジョブリストを表示させる

表示したいジョブリストの画面切り替えボタンを押します。

2 設定を変更するジョブを選択する

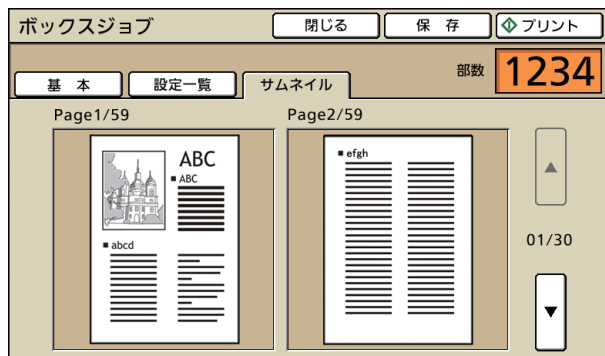
- 複数のジョブを選択すると、［詳細表示］を押せません。
- 選択を解除するには、もう一度押してください。

3 ［詳細表示］を押して設定を変更する

ジョブの詳細表示画面が表示されます。
以下の設定を変更できます。

- 「画像位置調整」（p. 4-12）
- 「用紙トレイ」（p. 4-13）
- 「プリント濃度」（p. 4-13）

ボックスジョブの詳細表示では、ジョブ名を変更して保存することができます。

- ［設定一覧］を押すと、現在の設定が確認できます。
- ボックスジョブの場合、［サムネイル］を押すと、印刷イメージを確認することができます。

4 ［プリント］／［保存］などの指示を行う

指示した内容が実行されます。

画像位置調整

画像をプリントする位置を調整します。上下左右方向に± 20mm まで移動できます。両面プリントの場合は、表面と裏面を別々に調整できます。

画像位置を調整すると、画像位置のイメージが表示されます。

［▲］
押すたびに 0.5mm ずつ上側に移動します。

［▼］
押すたびに 0.5mm ずつ下側に移動します。

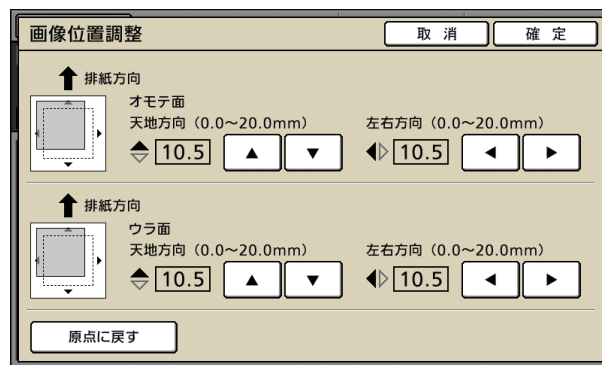
［▶］
押すたびに 0.5mm ずつ右側に移動します。

［◀］
押すたびに 0.5mm ずつ左側に移動します。

［原点に戻す］
すべての調整位置を 0mm に戻します。

1 ジョブの詳細表示画面（または［一時停止中］画面）で、［画像位置調整］を押す

［画像位置調整］画面が表示されます。

2 ［▲］［▼］［◀］［▶］を押して、画像位置を調整する

3 ［確定］を押す

設定が確定されて、元の画面が表示されます。

用紙トレイ

使用する用紙トレイの選択や、用紙サイズ、用紙種類の設定ができます。
操作方法については、「コピー」の「用紙トレイ」(p. 2-9)を参照してください。

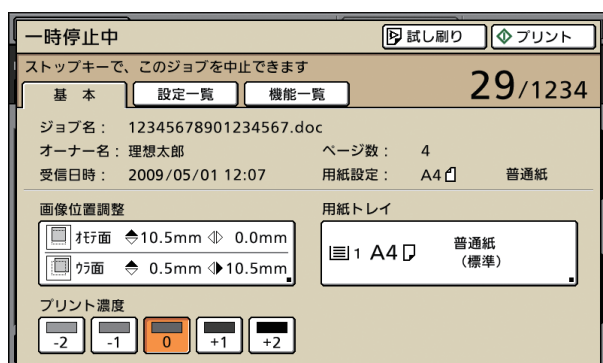
プリント濃度

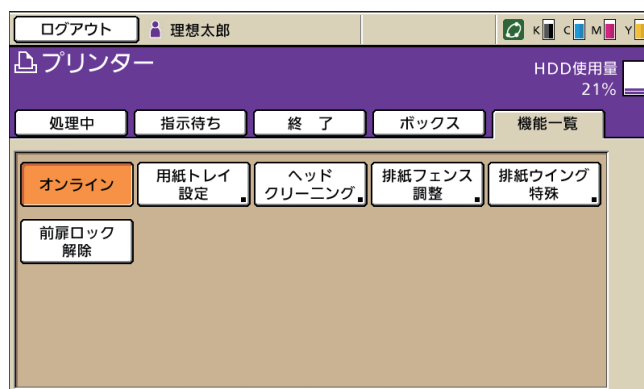
プリント濃度の調整をします。

[− 2]	薄く
[− 1]	やや薄く
[0]	標準
[+ 1]	やや濃く
[+ 2]	濃く

1 ジョブの詳細表示画面、(または[一時停止中]画面)で、[プリント濃度]を選択する

・ 小さい数値になるほど薄く、大きい数値になるほど濃くなります。

4

プリンター機能の設定

[機能一覧] 画面では、ユーザーが設定可能なプリンター本体（システム）に関する、各機能の設定ができます。

オンライン

オンライン／オフラインを切り替えます。オフラインに設定する（オンラインを OFF にする）と、パソコンからのプリント指示を受け付けません。
本機を専有して使用したい場合に設定します。

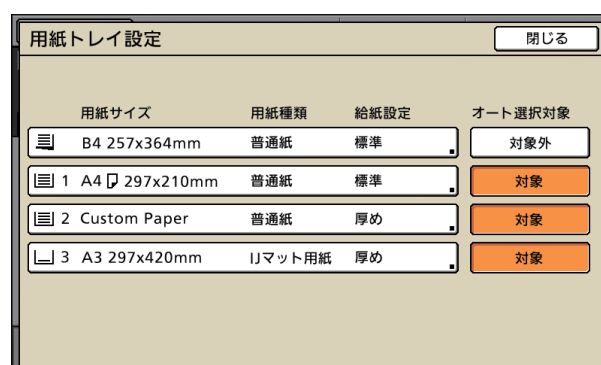
- オフライン状態では、ステータスボタンに「 オフライン」が表示されます。
- ユーザーが必要なジョブのプリントなどを行った後、この設定をオンラインに戻さないときは、次のタイミングでオンラインに戻ります。
  - ・オートリセットされたとき（オートリセットされるまでの時間は、管理者により設定されています。）
  - ・ログアウトしたとき

用紙トレイ設定

各用紙トレイの用紙サイズ、用紙種類、給紙設定、重送検知を設定します。

1 プリンターモード画面で、[機能一覧] を押す

[用紙トレイ設定] を押す

[用紙トレイ設定] 画面が表示されます。

3 **トレイを選択する**

給紙台（またはトレイ）の詳細設定画面が表示されます。
用紙サイズ、用紙種類を設定してください。

詳しくは、「コピー」の「用紙トレイ」(p. 2-9) を参照してください。

ヘッドクリーニング

プリントの一部がかすれる、白い線が出る、色が薄いなど、画質に問題があるときには、インクヘッドをクリーニングしてください。
操作方法については、「コピー」の「ヘッドクリーニング」（p. 2-51）を参照してください。

排紙フェンス調整

オプションの RISO オートフェンス排紙台の排紙フェンス位置を調整します。
操作方法については、「コピー」の「排紙フェンス調整」（p. 2-50）を参照してください。

排紙ウイング特殊

オプションの排紙台に印刷物を排出する場合、用紙の紙揃えをよくするために、排紙ウイングの位置を調整することができます。
通常、排紙ウイングの位置は、用紙の種類、サイズから自動的に調整されますが、使用する用紙によって、紙揃えが悪くなる場合があります。この場合、排紙ウイング特殊を設定します。
操作方法については、「コピー」の「排紙ウイング特殊」（p. 2-51）を参照してください。

前扉ロック解除

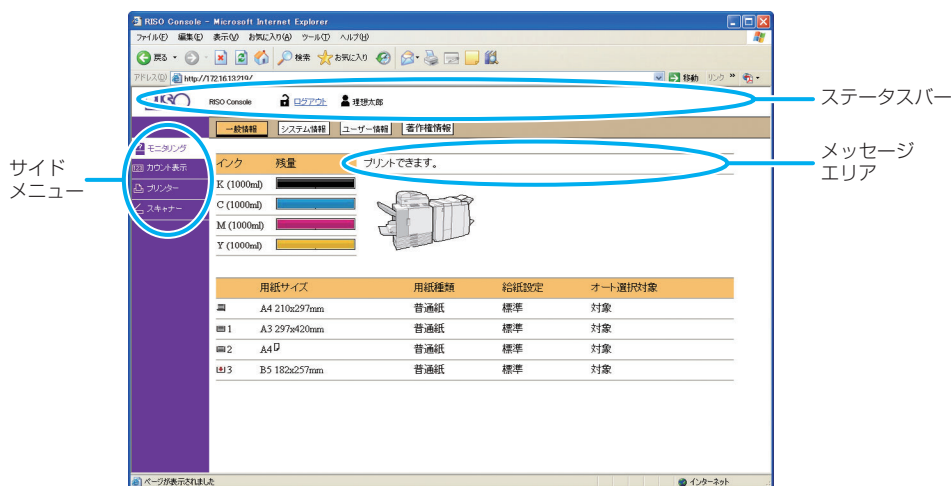
本機は、通常時には前カバーを開けることはできません。用紙がつまったり、インクが無くなったり、前カバーを開ける必要がある場合には、ロックが解除され、開けることができるようになります。

通常時に前カバーを開けたい場合は、このボタンを押します。ロックが解除され、前カバーを開けることができます。

前カバーを閉めると、本機は動作開始時にロックをかけます。

RISO コンソール

RISO コンソールの概要

RISO コンソールは、Web ブラウザーを利用して、本機を遠隔操作するソフトウェアです。プリンターとLAN 接続されたパソコンから、プリンターの状態確認や、ジョブの設定変更などを行うことができます。

- サイドメニューにが表示されている場合は、ログインが必要です。ログイン後にが表示される場合は、該当モードの使用が禁止されています。
- 本機がネットワークに接続されていることを確認してください。
- 対応ブラウザーは、Microsoft® Internet Explorer Ver6.0（SP1 以上）および Windows® Internet Explorer Ver7.0 です。
- 表示される画面は、ご使用の OS および接続されているオプションなどによって異なります。
- 管理者の設定によっては、表示内容が上記の画面と異なる場合があります。
  詳しくは、管理者にお問い合わせください。

RISO コンソールのサイドメニューを選択すると、次の操作ができます。

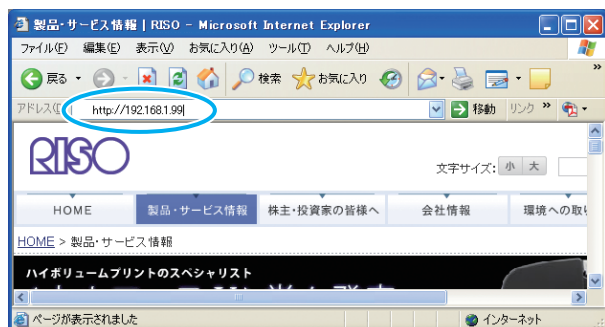
メニュー名	内容	参照ページ
モニタリング	・プリンター本体の状況の確認 ・インクや用紙の残量など、消耗品情報の確認。 ・プリンターの機種名、シリアル番号、IP アドレスなど、システム情報の確認。 ・ログイン中のユーザーについてのユーザー情報の確認。	p. 5-4
カウント表示	・ユーザーの使用状況、制限枚数、チャージカウントの確認。	p. 5-7
プリンター	・ジョブの確認と設定変更。	p. 5-9
スキャナー	・本機内蔵ハードディスクに保存されているスキャンジョブの確認とダウンロード。	p. 5-13

RISO コンソールの起動

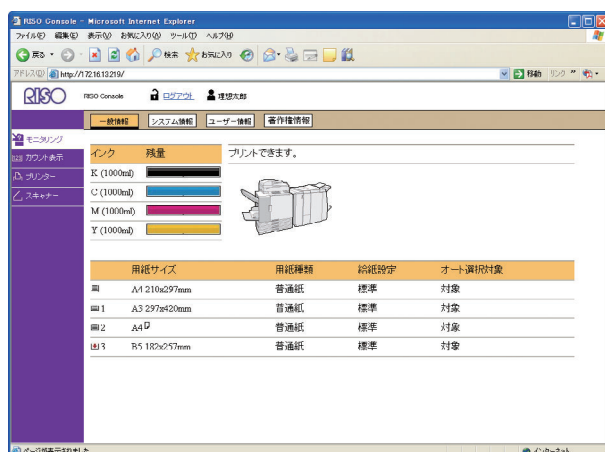
1 Web ブラウザーを起動する

2 アドレス入力ボックスにプリンターの IP アドレスを入力する

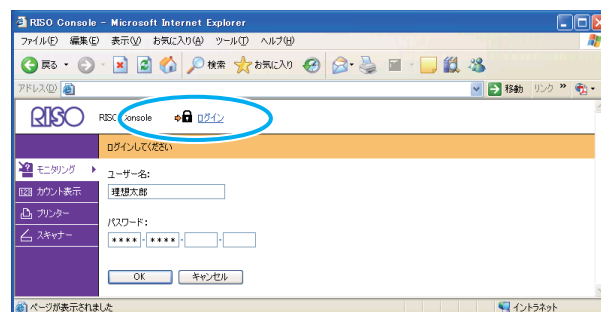
・ プリンターの IP アドレスは、管理者にご確認ください。

<IPアドレス入力例:「192.168.1.99」の場合>

パソコンとプリンターがLAN接続されていれば、RISO コンソールを呼び出すことができます。インターネットに接続されている必要はありません。

3 [Enter] キーを押す

RISO コンソールの [モニタリング] 画面が表示されます。

デスクトップにショートカットを作成しておくと、コンソール画面を簡単に表示させることができます。

● ログインが必要な場合

[ログイン] をクリックすると、RISO コンソールのログイン画面が表示されます。

ユーザー名とパスワードを入力して、[OK] をクリックすると、モニタリング画面が表示されます。

・ パスワードを 0 ～ 16 文字(数字または英小文字)で入力してください。入力した文字は「＊」で表示されます。

・ ログアウトするには、[ログアウト] をクリックしてください。

・ ログインしたユーザーが管理者権限を持っている場合は、ユーザー名の右側に [管理者ログイン] が表示されます。

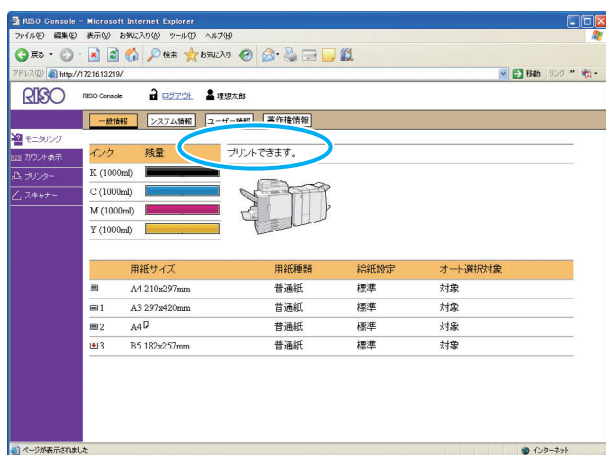
- パスワードを忘れてしまった場合は、管理者にお問い合わせください。
- ユーザーのパスワードは、モニタリングの「ユーザー情報」で変更できます。(p. 5-5「[ユーザー情報] 画面」)

5

[モニタリング] メニュー

サイドメニューの［モニタリング］をクリックすると、用紙やインクなどの情報、システム情報、ユーザー情報をパソコンから確認できます。

[一般情報] 画面

プリンタの状態が表示されます。一般情報画面では、インクや用紙に関する情報が表示されます。

● インク残量
インクの残量が、それぞれ 10 段階で表示されます。
インク残量が 9% 以下になると、表示が点滅します。
新しいインクカートリッジを準備してください。

シアンインク(1000ml ボトル)の場合(10段階):

アイコン	インク残量
	90～100%
	80～89%
	70～79%
	60～69%
	50～59%
	40～49%
	30～39%
	20～29%
	10～19%
(点滅)	0～9%

● インク残量は、ボトル容量（500ml ボトル、または 1000ml ボトル）により表示が異なります。

● 理想科学製ではないインクをご使用の場合、インク残量は表示されません。

● プリンターの状態
［プリントできます。］、［スリープ中です。］などのメッセージでプリンターの状態を示します。
またエラーが発生した場合には、この画面にエラーメッセージが表示されます。

● 用紙
トレイごとに用紙残量の目安（トレイ 1 ～ 3 では 3 段階、給紙台では 5 段階）、用紙サイズ、用紙種類、給紙設定、オート選択対象が表示されています。
またはが表示されるときは、用紙がありませんのでセットしてください。

給紙台の場合(5段階):

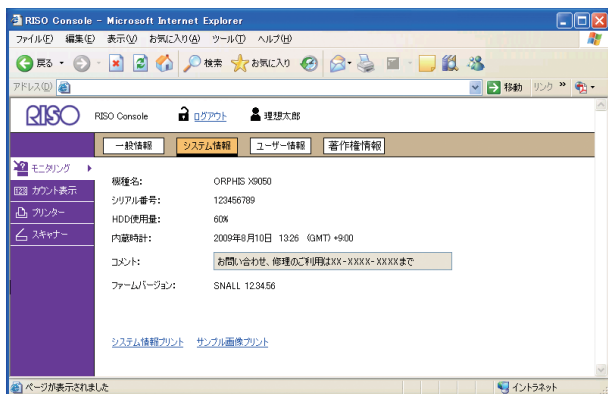
アイコン	用紙残量
	51%～100%
	31%～50%
	11%～30%
	1%～10%
	0%

トレイ1～3の場合(3段階):

アイコン	用紙残量
	51%～100%
	1%～50%
	0%

用紙設定については、「コピー」の「用紙トレイの設定変更」（p. 2-10）を参照してください。

［システム情報］画面

［システム情報］画面では、本機のシリアル番号や内蔵ハードディスクの使用量など、システム情報が表示されます。

● 機種名：本機の機種名です。
● シリアル番号：本機のシリアル番号です。
● HDD 使用量：使用中の内蔵ハードディスクの割合です。
● 内蔵時計：本機の内蔵時計の表示です。
● コメント：管理者が入力したコメントです。
● ファームバージョン：ファームウェアのバージョンです。

［コメント］に入力できるのは、管理者権限を持ったユーザーのみです。

・［システム情報プリント］
クリックすると、システム情報がプリントできます。

・［サンプル画像プリント］
クリックすると、サンプルページがプリントされ、プリント画像の状態が確認できます。

［ユーザー情報］画面

［ユーザー情報］画面では、現在ログインしているユーザーの情報が表示されます。

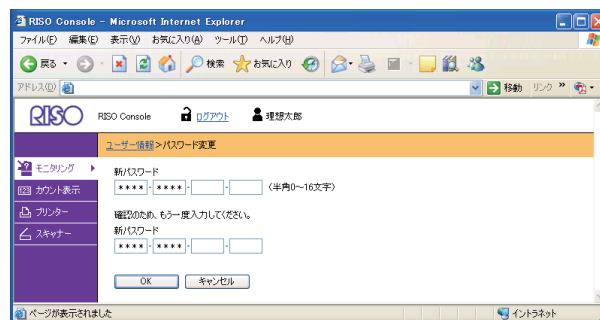
ログインが不要な場合、［ユーザー情報］は表示されません。

● ユーザー名
● 所属グループ

管理者によって登録された内容が表示されます。不都合がある場合は、管理者にお問い合わせください。

● ユーザーのログインパスワードの変更

ユーザーは、自分のログインパスワードを変更することができます。

1 ［パスワード変更］をクリックする

2 ［新パスワード］に、新しいパスワードを入力する

0 ～ 16 文字の数字または英小文字を入力してください。入力した文字は「＊」で表示されます。

5

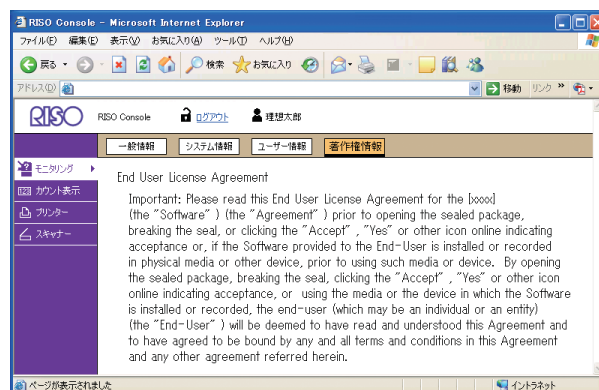
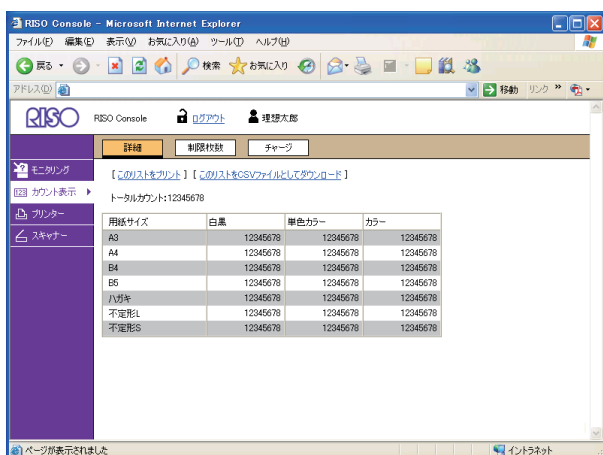
3 確認のため、もう一度新パスワードを入力する

4 ［OK］をクリックする

【設定内容を送信しました。】というメッセージが表示されます。

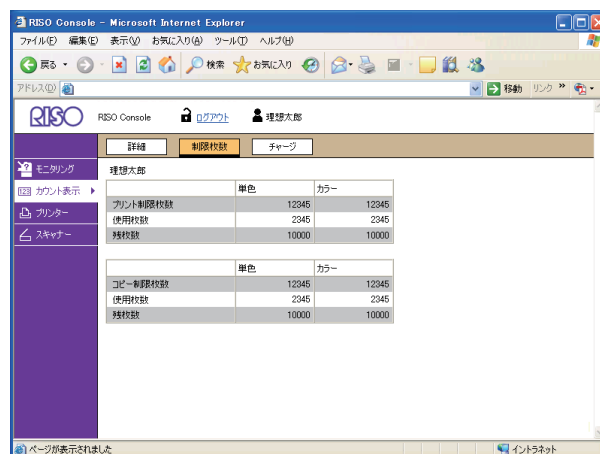
- 設定を中止するときは、［キャンセル］をクリックしてください。
- エラーメッセージが表示された場合は、入力し直してください。

［著作権情報］画面

［著作権情報］画面では、本製品で使用されているシステムの著作権情報が表示されます。

［カウント表示］メニュー

サイドメニューの［カウント表示］をクリックすると、本機でプリントした枚数が表示されます。

［詳細］画面

［詳細］画面では、本機のトータルカウント（プリント数とコピー数の合計）と、用紙サイズごとのカウントが表示されます。

・［このリストをプリント］
　クリックすると、最新の情報がプリントされます。

・［このリストを CSV ファイルとしてダウンロード］
　クリックすると、最新の情報を CSV 形式のファイルでパソコンに保存できます。

［このリストをプリント］や［このリストを CSV ファイルとしてダウンロード］は、クリックされた時点での最新の情報が取得されるため、画面に表示されている情報と異なる場合があります。

［制限枚数］画面

ログインしているユーザーに、使用制限が設定されている場合に表示される画面（ボタン）です。
管理者によって設定されている制限枚数と、現在の使用枚数を確認することができます。

[チャージ] 画面

[チャージ] 画面では、チャージカウント数が、単色とカラーに分けて表示されます。

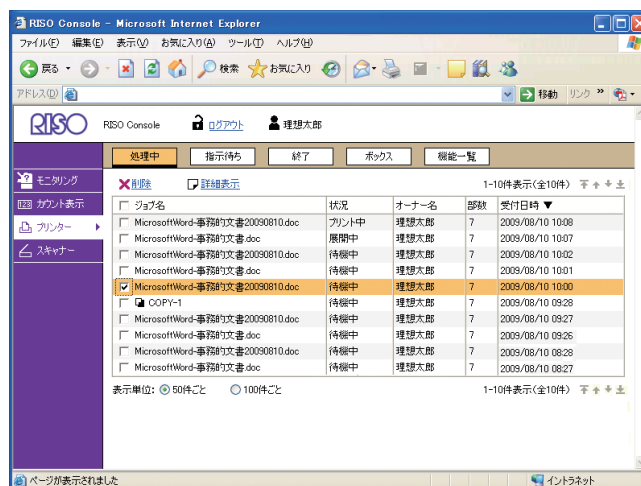
- [チャージ] は、ORPHIS X7250A をご使用の場合にのみ表示されます。
- チャージカウントについて詳しくは、お買い上げの販売会社 (あるいは、保守・サービス会社) にお問い合わせください。

・[このリストをプリント]
　クリックすると、最新の情報がプリントされます。

・[このリストを CSV ファイルとしてダウンロード]
　クリックすると、トータルカウントと詳細内容を CSV 形式のファイルでパソコンに保存できます。

[このリストをプリント] や [このリストを CSV ファイルとしてダウンロード] は、クリックされた時点での最新の情報が取得されるため、画面に表示されている情報と異なる場合があります。

［プリンター］メニュー

サイドメニューの［プリンター］をクリックすると、RISO コンソール画面にジョブリストが表示され、ジョブの状況が確認できます。また、プリンターを操作したり設定内容を変更したりすることができます。

サイドメニューに🔒が表示されている場合は、ログインが必要です。ログイン後に⊘が表示される場合は、該当モードの使用が禁止されています。

● ［50 件ごと］または［100 件ごと］をクリックすると、リストに表示されるジョブの数を切り替えられます。

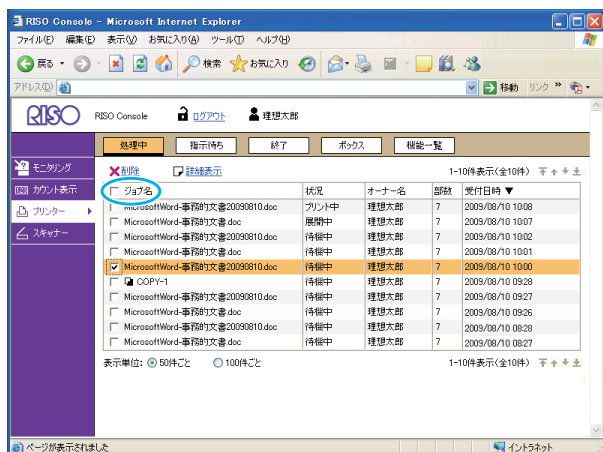
● 画面右の上下にある ⬆ ⬇ をクリックすると 1 ページ分スクロールされ、⤒ ⤓ をクリックすると先頭または最後のページが表示されます。

● ジョブ名が表示文字数の上限を超える場合は、前半を省略して「・・・いろはにほへと .doc」と表示されます。

● 以下の場合は、すべてのリストのジョブ名が表示されます。
 ・ ユーザーのログインが不要な場合
 ・ 管理者権限を持つユーザーがログインしている場合

● 以下の場合は、ジョブ名が「＊＊＊＊＊」で表示されます。
 ・ プリンタドライバで「ジョブ名を隠す」にチェックマークをつけられたジョブ
 （p. 1-28「プリンタドライバ」の「暗証番号をつける」）
 ・ ログインが必要で、ジョブ名を公開していない場合のジョブ

［処理中］画面

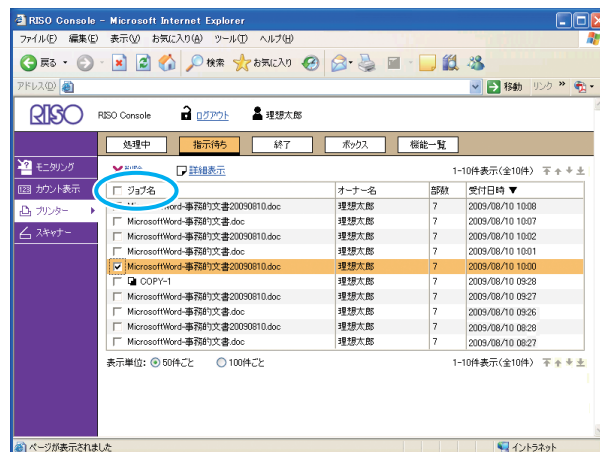
［処理中］画面では、現在プリント中のジョブと、これからプリントされるジョブが表示されます。

・ ジョブ名と処理状況、オーナー名、部数、受付日時が表示されます。
・ ジョブを選択するには、ジョブ名をクリックしてチェックマークをつけてください。
・ 見出し行の［ジョブ名］（上記の画面に青で示されている箇所）に、チェックマークを付けると、すべてのジョブ（暗証番号付きジョブは除く）が選択されます。
・ リストの見出し行（［ジョブ名］、［状況］、［オーナー名］、［部数］、［受付日時］）をクリックすると、その項目でジョブが並び替わります。

● 詳細表示
ジョブを選択して［詳細表示］をクリックすると、設定内容が表示されます。

ジョブコメントは、プリンタドライバの設定で入力できます。（p. 1-10「プリンタドライバ」の「出力方法と保存先」）

● 削除
ジョブを選択して、［削除］をクリックすると、そのジョブが削除されます。

［指示待ち］画面

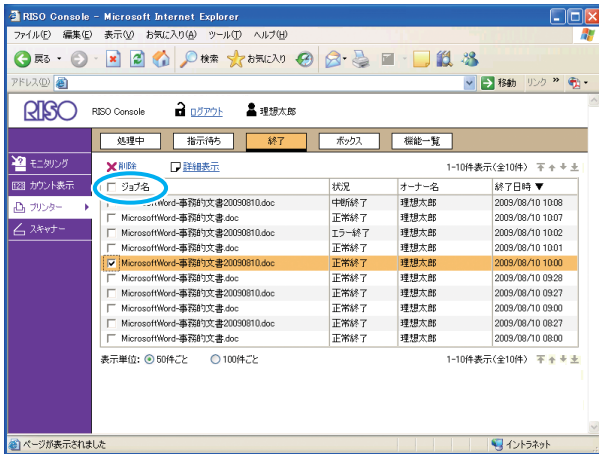
［指示待ち］画面では、指示待ちのジョブが表示されます。

指示待ちジョブを RISO コンソールからプリントすることはできません。本体操作パネルからプリントしてください。

・ ジョブ名とオーナー名、部数、受付日時が表示されます。
・ ジョブを選択するには、ジョブ名をクリックしてチェックマークをつけてください。
・ 見出し行の［ジョブ名］（上記の画面に青で示されている箇所）に、チェックマークを付けると、すべてのジョブ（暗証番号付きジョブは除く）が選択されます。
・ ジョブの保存期間は、管理者によって設定されています。
・ リストの見出し行（［ジョブ名］、［状況］、［オーナー名］、［部数］、［受付日時］）をクリックすると、その項目でジョブが並び替わります。

● 詳細表示
ジョブを選択して［詳細表示］をクリックすると、設定内容が表示されます。

● 削除
ジョブを選択して、［削除］をクリックすると、そのジョブが削除されます。

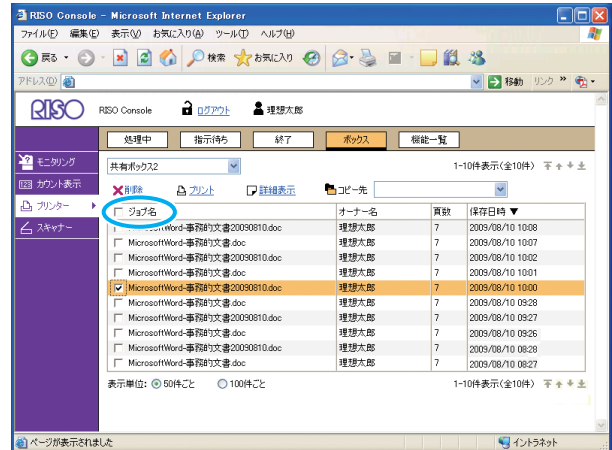
［終了］画面

［終了］画面では、プリントを終了したジョブとエラーになったジョブが表示されます。

・ジョブ名と状況、オーナー名、終了日時が表示されます。
・ジョブを選択するには、ジョブ名をクリックしてチェックマークをつけてください。
・見出し行の［ジョブ名］（上記の画面に青で示されている箇所）に、チェックマークを付けると、すべてのジョブ（暗証番号付きジョブは除く）が選択されます。
・ジョブの保存期間は、管理者によって設定されています。
・リストの見出し行（［ジョブ名］、［状況］、［オーナー名］、［部数］、［受付日時］）をクリックすると、その項目でジョブが並び替わります。

● 詳細表示
ジョブを選択して［詳細表示］をクリックすると、設定内容が表示されます。

● 削除
ジョブを選択して、［削除］をクリックすると、そのジョブが削除されます。

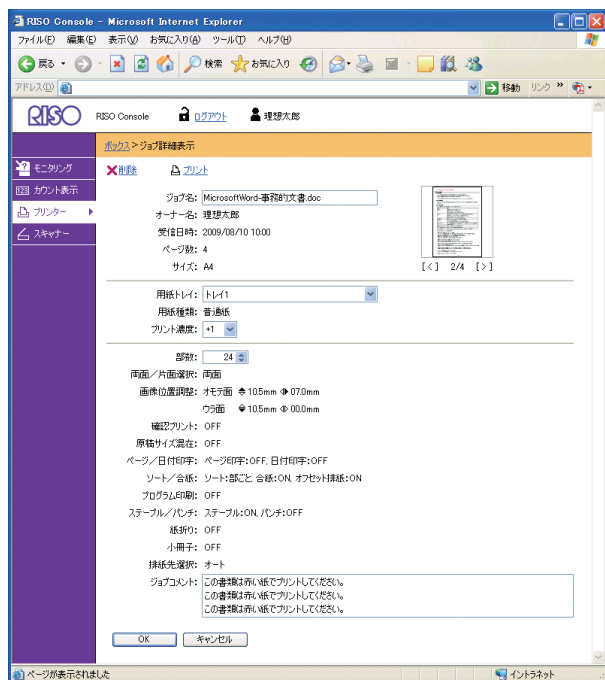
［ボックス］画面

［ボックス］画面では、共有ボックスと個人ボックスに保存されているジョブが表示されます。これらのジョブは、プリントや他のボックスへのコピーができます。

● ボックス機能は、管理者の設定により利用できない場合があります。
● 個人ボックスは、ログインが必要な環境の場合に表示されます。
● 共有ボックスは、管理者によって登録されています。

・リストの左上に表示されているボックス内のジョブが表示されますが、他のボックス名を選択してそのボックス内のジョブを表示することもできます。
・ジョブ名とオーナー名、頁数、保存日時が表示されます。
・ジョブを選択するには、ジョブ名をクリックしてチェックマークをつけてください。
・見出し行の［ジョブ名］（上記の画面に青で示されている箇所）に、チェックマークを付けると、すべてのジョブ（暗証番号付きジョブは除く）が選択されます。
・リストの見出し行（［ジョブ名］、［状況］、［オーナー名］、［部数］、［受付日時］）をクリックすると、その項目でジョブが並び替わります。

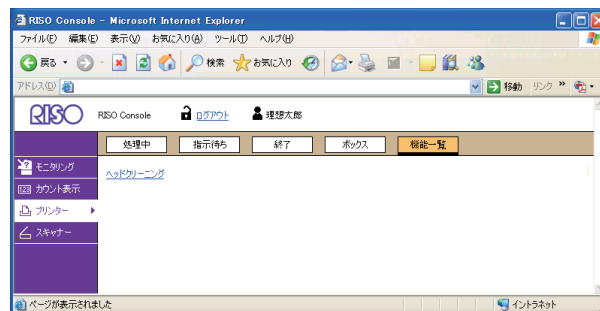
● プリント
ジョブを選択して［プリント］をクリックすると、そのジョブがプリントされます。プリント後もジョブは［ボックス］に残ります。

● 詳細表示
ジョブを選択して［詳細表示］をクリックすると、設定内容が表示されます。

以下の設定を変更することができます。
・ジョブ名
・用紙トレイ
・プリント濃度
・部数
・ジョブコメント

● 削除
ジョブを選択して、［削除］をクリックすると、そのジョブが削除されます。

● コピー先
ジョブを選択し、［コピー先］のプルダウンメニューでボックス名をクリックすると、そのボックスにジョブをコピーします。

［機能一覧］画面

［機能一覧］画面では、ユーザーが設定可能な、プリンター本体（システム）に関する機能を設定します。

● ヘッドクリーニング

インクヘッドをクリーニングして、つまりを防ぎます。プリントの一部がかすれる、白い線が出る、色が薄いなど画質に問題があるときには、ヘッドクリーニングを行ってください。

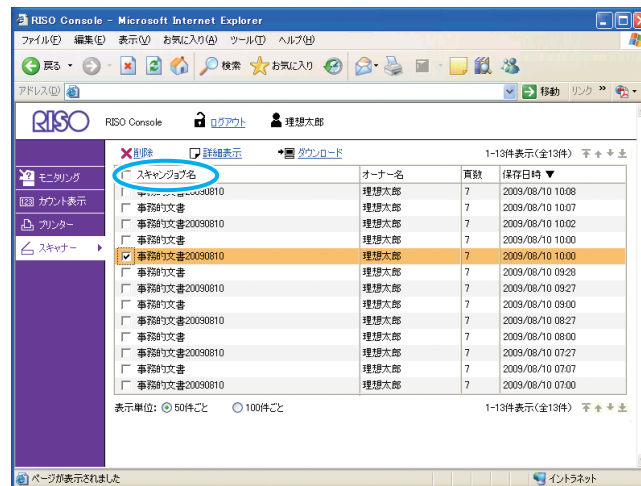
プリント中やコピー中など、プリンターが動作しているときは、動作終了後にヘッドクリーニングを行います。

1 ［ヘッドクリーニング］をクリックし、［OK］をクリックする

正常にクリーニングできるときは、【設定内容を送信しました。】というメッセージが表示されます。

・クリーニングを中止するときは［キャンセル］をクリックしてください。

［スキャナー］メニュー

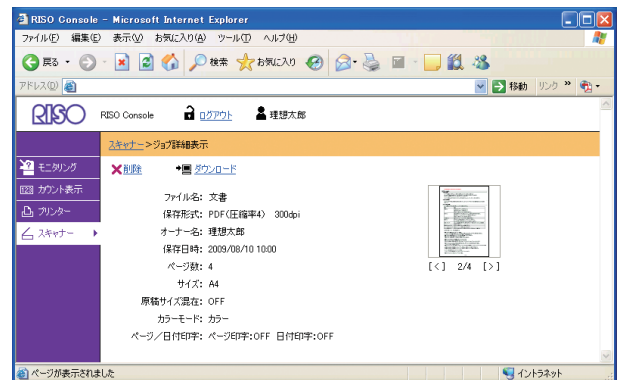
サイドメニューの［スキャナー］をクリックすると、RISO コンソールにジョブリストが表示され、
スキャンして本機の内蔵ハードディスクに保存したデータを、パソコンにダウンロードできます。

サイドメニューにが表示されている場合は、ログインが必要です。ログイン後にが表示される場合は、該当モードの使用が禁止されています。

· スキャンジョブ名とオーナー名、頁数、保存日時が表示されます。
· ジョブを選択するには、ジョブ名をクリックしてチェックマークをつけてください。
· 見出し行の［スキャンジョブ名］（上記の画面に青で示されている箇所）に、チェックマークを付けると、すべてのジョブ（暗証番号付きジョブは除く）が選択されます。
· リストの見出し行（［ジョブ名］、［オーナー名］、［頁数］、［保存日時］）をクリックすると、その項目でジョブが並び替わります。

スキャンジョブは、管理者が設定する「スキャンデータ保存設定」により、保存期間が設定されています。その期間を過ぎると自動的に削除されます。

● 詳細表示

ジョブを選択して［詳細表示］をクリックすると、設定内容が表示されます。

● 削除

ジョブを選択して、［削除］をクリックすると、そのジョブが削除されます。

● スキャンジョブをパソコンに ダウンロードする

1 ダウンロードするスキャンジョブにチェックマークをつける

・ ジョブを 1 つ選択します。

2 [ダウンロード] をクリックする

「ファイルのダウンロード」ダイアログボックスが表示されます。

3 [保存] をクリックする

「名前を付けて保存」ダイアログボックスが表示されます。

4 ダウンロード先のフォルダとファイル名を指定して、[保存] をクリックする

スキャンジョブのデータが、パソコン内に保存されます。

付録

仕様

■ORPHIS X9050 / X7250 / X7250A の仕様

基本機能・プリント機能

項目		仕様
モデル名称		ORPHIS X9050: SE-H301
		ORPHIS X7250 / X7250A: SE-M301
形式		コンソール式
カラープリント		4色（C/M/Y/K）
プリント方式		ライン型インクジェット方式
インク形式		油性顔料インク（C/M/Y/K）
解像度		標準設定時：300dpi（主走査方向）× 300dpi（副走査方向）
		高精細設定時：300dpi（主走査方向）× 600dpi（副走査方向）
階調数		CMYK 各色最大8階調
データ処理解像度		標準設定時：300dpi × 300dpi 高精細設定時：300dpi × 600dpi 文字スムージング処理時：600dpi × 600dpi
ウォームアップ時間		2分45秒以下 （室温20℃）
ファーストプリント*1		8秒以下（A4横）
同一原稿連続プリント速度*2*7	A4横	ORPHIS X9050： 片面：150枚/分　両面：75枚/分
		ORPHIS X7250 / X7250A： 片面：120枚/分　両面：60枚/分
	A4	ORPHIS X9050： 片面：110枚/分　両面：55枚/分
		ORPHIS X7250 / X7250A： 片面：90枚/分　両面：45枚/分
	B4	ORPHIS X9050： 片面：90枚/分　両面：42枚/分
		ORPHIS X7250 / X7250A： 片面：76枚/分　両面：38枚/分
	A3	ORPHIS X9050： 片面：80枚/分　両面：40枚/分
		ORPHIS X7250 / X7250A： 片面：66枚/分　両面：33枚/分
用紙サイズ	給紙台	最大：340mm × 550mm*8 最小：90mm × 148mm （ハガキサイズ相当）
	フロント給紙トレイ	最大：297mm × 420mm（A3） 最小：182mm × 182mm
最大プリント可能範囲		314mm × 548mm
プリント領域*3		標準：用紙サイズの周囲余白 3mm 最大：用紙サイズの周囲余白 1mm*8
用紙種類・重さ	給紙台	普通紙、再生紙、封筒、郵便事業会社製ハガキ 46g/m^2 ～ 210g/m^2
	フロント給紙トレイ	普通紙、再生紙 52g/m^2 ～ 104g/m^2

給紙最大積載量＊4	給紙台	1000枚（積載高さ 110mm以下）
	フロント給紙トレイ	500枚×3トレイ（積載高さ 50mm）
排紙最大積載量＊4		500枚（積載高さ 60mm）
PDL		RISORINC/CII
対応プロトコル		TCP/IP、HTTP、HTTPｓ（SSL）、DHCP、ftp、lpr、IPP、SNMP、Port9100（RAWポート）
対応OS		Microsoft® Windows® 2000 Microsoft® Windows® XP（32-bit） Microsoft® Windows Server® 2003（32-bit/64-bit） Microsoft® Windows Server® 2003 R2 (32-bit/64-bit) Microsoft® Windows® 2000 Server Microsoft® Windows Vista®（32-bit/64-bit） Microsoft® Windows Server® 2008 (32-bit/64-bit) Microsoft® Windows Server® 2008 R2 (64-bit) Microsoft® Windows® 7 (32-bit/64-bit)
内蔵フォント		なし
エミュレーション		なし
I/F		Ethernet 1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T
CPU		Intel® Celeron®-M440（1.86GHz）
本体メモリ		ORPHIS X9050：1GB ORPHIS X7250 / X7250A：512MB
HDD＊6		160GB（ユーザー使用領域　約140GB）
OS		Linux
電源		AC100-240V　10/5A、50/60Hz
消費電力		最大 1000W以下
		待機時　　Ready状態＊5：250W以下
		スリープ時：45W以下
		スタンバイ時：1W以下
稼動音		印刷時 68dB以下
使用環境		温度：15℃～30℃　　　湿度：40%～70%（非結露）
大きさ		使用時：1,220mm（W）× 705mm（D）× 1,030mm（H） 収納時：1,155mm（W）× 705mm（D）× 995mm（H）
質量		約168kg
安全性		IEC60950-1準拠　屋内　汚染度2＊　標高2000m以下 ＊空気中のちりやほこりなどによる使用環境の汚染度合いのこと「2」は、一般的な室内環境
機械専有寸法		前カバー、用紙トレイ引き出し時： 1,220mm（W）× 1,240mm（D）× 1,030mm（H）

＊1　最終プリント後、10分以内
＊2　理想用紙IJ（85g/m²）／プリント濃度標準
　　使用チャート：電子協標準パターンJ6/1
＊3　画像保証範囲は、用紙の周囲から3mm内側
　　封筒印刷時、余白は10mm
＊4　理想用紙IJ（85g/m²）使用時
＊5　プリントしていない状態
＊6　1GBを10億バイトで算出
＊7　排紙オプションによっては、連続プリント速度が異なります。
　　RISOフィニッシャーM/S：最高110枚/分（A4横　片面印刷時）
　　RISOオフセット排紙トレイ：最高120枚/分（ORPHIS X9050　（A4横　片面印刷時））
　　　　　　　　　　　　　　　最高110枚/分（ORPHIS X7250/7250A　（A4横　片面印刷時））
＊8　周囲余白を1mmにする場合の最大用紙サイズは、316mm × 550mm

6

■ORPHIS X7200 / X7200L の仕様

基本機能・プリント機能

モデル名称		ORPHIS X7200: SE-L301	ORPHIS X7200L: SE-LL301
形式		コンソール式	
カラープリント		ORPHIS X7200: 4色（C/M/Y/K）	ORPHIS X7200L: 2色(M/K)
プリント方式		ライン型インクジェット方式	
インク形式		ORPHIS X7200: 油性顔料インク（C/M/Y/K）	ORPHIS X7200L: 油性顔料インク（M/K）
解像度		標準設定時：300dpi（主走査方向）× 300dpi（副走査方向）	
		高精細設定時：300dpi（主走査方向）× 600dpi（副走査方向）	
階調数		CMYK 各色最大8階調	
データ処理解像度		標準設定時：300dpi × 300dpi 高精細設定時：300dpi × 600dpi 文字スムージング処理時：600dpi × 600dpi	
ウォームアップ時間		2分45秒以下 （室温20℃）	
ファーストプリント*1		8秒以下（A4横）	
同一原稿連続プリント速度*2 *7	A4横	片面：120枚/分	両面：60枚/分
	A4	片面：90枚/分	両面：45枚/分
	B4	片面：76枚/分	両面：38枚/分
	A3	片面：66枚/分	両面：33枚/分
用紙サイズ	給紙台	最大：340mm × 550mm *8 最小：90mm × 148mm （ハガキサイズ相当）	
最大プリント可能範囲		310mm × 544mm	
プリント領域*3		標準：用紙サイズの周囲余白 5mm 最大：用紙サイズの周囲余白 3mm *8	
用紙種類・重さ	給紙台	普通紙、再生紙、封筒、郵便事業会社製ハガキ 46g/m^2 ～ 210g/m^2	
給紙最大積載量*4	給紙台	1000枚（積載高さ 110mm以下）	
排紙最大積載量*4		500枚（積載高さ 60mm）	
PDL		RISORINC/CII	
対応プロトコル		TCP/IP、HTTP、HTTPｓ（SSL）、DHCP、ftp、lpr、IPP、SNMP、Port9100（RAWポート）	
対応OS		Microsoft® Windows® 2000 *9 Microsoft® Windows® XP（32-bit） Microsoft® Windows Server® 2003（32-bit/64-bit） Microsoft® Windows Server® 2003 R2 (32-bit/64-bit) Microsoft® Windows® 2000 Server *9 Microsoft® Windows Vista®（32-bit/64-bit） Microsoft® Windows Server® 2008 (32-bit/64-bit) Microsoft® Windows Server® 2008 R2 (64-bit) Microsoft® Windows® 7 (32-bit/64-bit)	
内蔵フォント		なし	
エミュレーション		なし	
I/F		Ethernet 1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T	
CPU		Intel® Celeron®-M440（1.86GHz）	
本体メモリ		512MB	
HDD *6		160GB（ユーザー使用領域　約140GB）	
OS		Linux	

電源	ORPHIS X7200: AC100-240V 10/5A、50/60Hz ORPHIS X7200L: AC100-240V 6/3A、50/60Hz	
消費電力	ORPHIS X7200: 最大 1000W 以下	ORPHIS X7200L: 最大 600W 以下
	待機時　Ready 状態＊5：250W 以下	
	スリープ時：45W 以下	
	スタンバイ時：1W 以下	
稼動音	印刷時 68dB 以下	
使用環境	温度：15 ℃～ 30 ℃　湿度：40%～ 70%（非結露）	
大きさ	使用時：1,220mm（W）× 705mm（D）× 1,030mm（H） 収納時：1,155mm（W）× 705mm（D）× 995mm（H）	
質量	ORPHIS X7200: 約 146kg	ORPHIS X7200L: 約 142kg
安全性	IEC60950-1 準拠　屋内　汚染度 2＊　標高 2000m 以下 ＊空気中のちりやほこりなどによる使用環境の汚染度合いのこと 「2」は、一般的な室内環境	
機械専有寸法	前カバー引き出し時： 1,220mm（W）× 1,240mm（D）× 1,030mm（H）	

＊1　最終プリント後、10 分以内
＊2　理想用紙 IJ（85g/m^2）／プリント濃度標準
　　使用チャート：電子協標準パターン J6/1
＊3　画像保証範囲は、用紙の周囲から 3mm 内側
　　封筒印刷時、余白は 10mm
＊4　理想用紙 IJ（85g/m^2）使用時
＊5　プリントしていない状態
＊6　1GB を 10 億バイトで算出
＊7　排紙オプションによっては、連続プリント速度が異なります。
　　RISO オフセットトレイ：最高 110 枚 / 分（A4 横　片面印刷時）
＊8　周囲余白を 3mm にする場合の最大用紙サイズは、316mm × 550mm
＊9　ORPHIS X7200L では対応していません。

■ ORPHIS X シリーズ付属品

- 保証書　1 部
- 取扱説明書　1 式
- RISO ソフトウェア CD-ROM　1 式
- 電源コード　1 本

■ RISO スキャナー HS4000（オプション）

コピー機能 / スキャン機能

項目		仕様
形式		原稿自動送り装置付きフラットベッドスキャナ
スキャニングモード		カラー・モノクロ・オート
最大読取範囲		303mm × 432mm （原稿台使用時） 295mm × 430mm （オートフィーダー使用時）
コピー機能	出力解像度	標準設定時：300dpi × 300dpi 高精細設定時：300dpi × 600dpi
	ファーストコピー・タイム	モノクロ / カラー：11.5 秒以下（A4 横、カラー優先モード時）
	ページ読み取り速度	片面時（A4 横オートフィーダー使用時）：40 頁 / 分　以上 両面時（A4 横オートフィーダー使用時）：18 頁 / 分　以上
	拡大・縮小	50%～ 200%
オートフィーダー	形式	原稿移動型 （スイッチバック方式により両面読み取り可能）
	原稿サイズ	最大：297mm × 432mm （A3 相当） 最小：100mm × 148mm
	原稿用紙重さ	52g/m^2 ～ 128g/m^2
	原稿最大積載量 B4 サイズ未満	80g/m^2 以下：100 枚以下 80g/m^2 を超える用紙：積載高さ　15mm 以下
	原稿最大積載量 B4 サイズ以上	80g/m^2 以下：60 枚以下 80g/m^2 を超える用紙：積載高さ　9mm 以下
スキャン機能	読み取り階調	RGB 各色 10 ビット入力、8 ビット出力
	読み取り解像度	600dpi、400dpi、300dpi、200dpi
	ページ読み取り速度	モノクロ / カラー：40 頁 / 分 ※当社標準原稿（A4 横）、200dpi、本体 HDD 保存時
	拡大・縮小	解像度　200dpi / 300dpi：50%～ 200% 解像度　400dpi / 600dpi：100%（等倍のみ）
	I/F ＊1	Ethernet 1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T
	データ保存方法＊1	本体 HDD 保存、サーバー保存、USB メモリ保存＊2、メール送信
	データ保存形式＊1	モノクロ：TIFF、PDF グレースケール / フルカラー ：TIFF、JPEG、PDF
電源		AC100-127V/AC200-240V　50/60Hz
消費電力		最大 120W
大きさ		650mm（W）× 560mm（D）× 255mm（H）
質量		約 28kg
本体接続時の専有寸法 （専用スキャナ台使用時）		使用時：1,225mm（W）× 810mm（D）× 1,220mm（H） カバー、トレイ引き出し時： 1,225mm（W）× 1,345mm（D）× 1,615mm（H）

＊1　本体内蔵コントローラ経由

＊2　ORPHIS X7200 / X7200L を除く

■ RISO フィニッシャー S/RISO フィニッシャー M（オプション）

形式	外付け式	
トレイ種類	RISO フィニッシャー S：トップトレイ、スタックトレイ RISO フィニッシャー M：トップトレイ、スタックトレイ、小冊子トレイ	
フィニッシング種類	RISO フィニッシャー S：オフセット排紙、ステープル、パンチ RISO フィニッシャー M：オフセット排紙、ステープル、パンチ、小冊子製本、二つ折り	
使用可能用紙サイズ	トップトレイ*1	最大：330mm × 488mm 最小：100mm × 148mm（ハガキサイズ相当）
	スタックトレイ*1	最大：330mm × 488mm 最小：182mm × 182mm
	ステープル時	最大：297mm × 432mm （A3 相当） 最小：203mm × 182mm
	小冊子トレイ*1	最大：330mm × 457mm 最小：210mm × 280mm （RISO フィニッシャー M のみ対応）
使用可能用紙・重さ	トップトレイ	52g/m^2 ～ 210g/m^2（普通紙、再生紙）
	スタックトレイ	52g/m^2 ～ 210g/m^2（普通紙、再生紙）
	小冊子トレイ	60g/m^2 ～ 90g/m^2 （表紙は 210g/m^2）
トレイ容量	トップトレイ	500 枚
	スタックトレイ	RISO フィニッシャー S：3,000 枚または 200 部*3 RISO フィニッシャー M：2,000 枚または 200 部*3
	小冊子トレイ	20 部（1 部最大 15 枚）
ステープル	ステープル可能枚数	100 枚*2 *4 *7
	ステープル可能 用紙サイズ	最大：297mm × 432mm（A3 相当） 最小：203mm × 182mm（B5 横相当）
	使用可能用紙・重さ	52g/m^2 ～ 210g/m^2（普通紙、再生紙） （ただし、162g/m^2 を超える用紙は、表紙として 1 枚のみ）
	ステープル位置	フロント側 1 ケ所（斜め打）、 リア側 1 ケ所（斜め打*5/ 平行打）、中央 2 ケ所（平行打）
パンチ	パンチ数	2 穴、4 穴
	パンチ可能用紙サイズ	2 穴時：A3/B4/A4 横 /A4/B5 横 4 穴時：A3/A4 横
	使用可能用紙・重さ	52g/m^2 ～ 200g/m^2（普通紙、再生紙）
小冊子製本、二つ折り	最大枚数*2 *6	中とじ：15 枚（60 ページ） 二つ折り：5 枚（20 ページ） （RISO フィニッシャー M のみ対応）
大きさ		RISO フィニッシャー S： 1,115mm（W）× 765mm（D）× 1,130mm（H） RISO フィニッシャー M： 1,120mm（W）× 765mm（D）× 1,130mm（H）
質量		RISO フィニッシャー S：約 106kg RISO フィニッシャー M：約 131kg
電源		AC100V-120/220-240V 50/60Hz・2.0/1.0A 以上
消費電力		最大 175W
稼働音		68dB 以下（フィニッシャー動作時）

本体接続時の専有寸法	紙折りあり	RISO フィニッシャー S 使用時： 2,515mm（W）× 765mm（D）× 1,130mm（H） RISO フィニッシャー M 使用時： 2,520mm（W）× 765mm（D）× 1,130mm（H）
		RISO フィニッシャー S　カバー、トレイ引き出し時 2,515mm（W）× 1,340mm（D）× 1,130mm（H） RISO フィニッシャー M　カバー、トレイ引き出し時 2,520mm（W）× 1,340mm（D）× 1,130mm（H）
	紙折りなし	RISO フィニッシャー S 使用時： 2,310mm（W）× 765mm（D）× 1,130mm（H） RISO フィニッシャー M 使用時： 2,315mm（W）× 765mm（D）× 1,130mm（H）
		RISO フィニッシャー S　カバー、トレイ引き出し時： 2,310mm（W）× 1,280mm（D）× 1,130mm（H） RISO フィニッシャー M　カバー、トレイ引き出し時： 2,315mm（W）× 1,280mm（D）× 1,130mm（H）

＊ 1　最大長さが 432mm を超える用紙でカラープリントをした場合、432mm を超えた部分のプリントは、画像が乱れる場合があります。
＊ 2　理想用紙 IJ（85g/m^2）使用時
＊ 3　A4、B5 横使用時、
A4、B5 横以外のサイズの場合は 1,500 枚（100 部）
＊ 4　A4 を超えるサイズの場合は 65 枚
＊ 5　A4 横、A3 のみリア側斜め打が可能
＊ 6　表紙付けした表紙を含む
＊ 7　Z 折りが混在した場合、A3 用紙 Z 折りは A4 横用紙 10 枚分、B4 用紙 Z 折りは B5 横用紙 20 枚分に相当します。

■ HC 紙折りユニット（RISO フィニッシャーのオプション）

紙折り 使用可能用紙サイズ 使用可能用紙・重さ	Z 折り＊1	用紙サイズ：A3、B4 用紙厚（重さ）：60g/m^2 ～ 90g/m^2（普通紙、再生紙）
	三つ折り （外三つ折り / 内三つ折り）	用紙サイズ：A4 用紙厚（重さ）：60g/m^2 ～ 90g/m^2（普通紙、再生紙）
三つ折りトレイ容量＊2		約 30 枚
折り可能枚数		1 枚
大きさ		210mm（W）× 622mm（D）× 1,002mm（H）
質量		約 40kg

＊ 1　スタックトレイに排出する場合、用紙サイズにより積載可能枚数が異なります。（A3：30 枚 /B4：20 枚）
＊ 2　理想用紙 IJ（85g/m^2）使用時

■ IC カード認証キット （オプション）

適用カード	ISO 14443 TypeA ／ FeliCa®
電波法区分	誘導式読み書き通信設備
電源	USB ポートより受電
大きさ	93mm（W）× 65mm（D）× 19mm（H）（突起部は除く）
質量	約 90g

消耗品

消耗品は当社指定の専用消耗品をお勧めしています。
消耗品の仕様・種類は予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
価格は本体お買い上げの販売会社（あるいは保守・サービス会社）にお問い合わせください。

インクカートリッジ

種類	色	分量	単位
RISO X インク F	シアン マゼンタ イエロー ブラック	1,000ml	1 個
RISO X インク H	シアン マゼンタ イエロー ブラック	500ml	
RISO X インク A	シアン マゼンタ イエロー ブラック	1,000ml	

推奨紙

種類	サイズ	単位	特長
理想用紙 IJ	A3	1 包 500 枚× 3 包	重さ 85g/m^2 のプリント用紙です。 両面プリントが可能な普通紙です。
	B4	1 包 500 枚× 5 包	
	A4		
	B5		
理想用紙 IJ マット（W）	A3	1 包 500 枚× 3 包	高品位のプリント向けにマット加工された重さ 85g/m^2 のプリント用紙です。両面プリントに適しています。
	B4		
	A4	1 包 500 枚× 4 包	
理想用紙 IJ マット	A3	1 包 500 枚× 3 包	高品位のプリント向けにマット加工された重さ 99g/m^2 のプリント用紙です。片面のみのプリントに適しています。
	B4		
	A4	1 包 500 枚× 4 包	

索引

き

く

け

こ

さ

し

す

せ

そ

た

ち

つ

て

と

な

ね

の

は

ひ

ふ

へ

ほ

ま

み

め

も

ゆ

よ

り

れ

ろ

わ

アフターサービスについて

この製品には保証書を別途添付しています。保証書の記載内容をご確認いただいた上、大切に保管してください。保証期間中の修理の場合は、必ず保証書をご提示ください。

保証期間
商品購入日より 6 カ月以内またはトータルカウントが 50 万カウント（50 万枚）に早期に達した場合
* 保証期間中の修理の場合は、必ず保証書をご提示ください。期間中において本書に従った正常な使用状態で故障した場合には、保証書に記載されている保証規定に則り無償修理をいたします。

有償修理
保証期間を過ぎた場合は有償となります。また、以下の場合は保証期間内であっても有償となりますので、ご了承ください。
・ 保証書の提示がない場合
・ 保証書の所定事項の無記入、または記載内容が書き換えられている場合
・ 本機取扱説明書に従った正常な使用が行われていない場合の故障や損傷
・ 当社認定の ORPHIS テクニカルスタッフ以外の者による修理に起因した故障
・ 当社が推奨した推奨消耗品や推奨部品以外の消耗品や部品の使用に起因した故障や損傷
・ 有償部品の交換
・ お客様による輸送、移動による落下および衝撃に起因する故障や損傷
・ 火災、地震、風水害、落雷その他の天災事変、公害、異常電圧等に起因する故障や損傷

有償部品
・ 給紙ローラー
・ サバキ板
・ 排紙ローラー
・ 搬送ローラー
・ クリーニングインクタンク

専用消耗品
・ RISO X インク（シアン、マゼンタ、イエロー、ブラック）

推奨消耗品
・ 理想用紙 IJ ／ 理想用紙 IJ マット（W）／理想用紙 IJ マット

修理不能の場合
天災または強度の衝撃その他で破損がひどく、正常の性能に復元できない場合および部品の入手が困難な場合など、修理ができない場合があります。その際は、お買い上げの販売会社（あるいは、保守・サービス会社）にお問い合わせください。

補修用性能部品の保有期間
本製品の補修用性能部品（機能維持のために必要な部品）は、本製品の製造終了後、最低 7 年間保有しています。

修理ご依頼に際しての注意事項
● 本機では、当社の定める研修を受講し、ORPHIS テクニカルスタッフと認定された者がメンテナンスを行うシステムを採用しております。修理を依頼される際には必ず ORPHIS テクニカルスタッフ認定証の提示を求め、該当する ORPHIS テクニカルスタッフであることをご確認ください。また、保証規定による修理には、必ず保証書を添付してください。
● 万一故障と思われる事態が生じた場合は、まず本書に記載されている処置（操作手順、トラブル処理、警告表示の処理、ご注意）をご確認ください。完全に処置できない場合は、販売会社（あるいは保守・サービス会社）にご連絡ください。ご連絡の際には、故障箇所、内容などをできるだけ詳しくご説明ください。
● 修理完了後は修理伝票にご捺印ください。
● アフターサービスについてご不明な点は、お買い上げの販売会社（あるいは保守・サービス会社）にお問い合わせください。